

PATTERN MAGIC

パターンマジック 伸縮素材

中道友子



文化出版局

この本の使い方

この本では、伸縮素材を使ったパターンを作るために、ほとんどの作品に“スローパー(ベースになるパターン)”を使っている。このスローパーの詳しい特徴は後で述べるが、ある程度の伸縮率の素材で製作すれば体にきれいにフィットするパターンになっている。

この本に記載した服のデザインの作図、パターン操作はMサイズのスローパー(バスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cm、背丈38cm、袖丈52cm)をベースに使っている。そして、立体のパターン操作の解説には $\frac{1}{2}$ のボディを使った。このボディはすべての寸法が $\frac{1}{2}$ になっていて、表面積は $\frac{1}{4}$ 、体積は $\frac{1}{8}$ になる。

実物大で作ったときと、素材の厚みや垂れ感が異なるため、

バランスなどが変わって見えることがあるが、 $\frac{1}{2}$ のボディを使うと、全体のバランスや雰囲気簡単に把握することができるという利点がある。

パターンの仕組みを学ぶ方法としては、少ない分量の布で時間の短縮にもなって便利なので、この方法をとっている。 $\frac{1}{2}$ の作図をするときは、作図内の数字も $\frac{1}{2}$ にすることを忘れないでほしい。

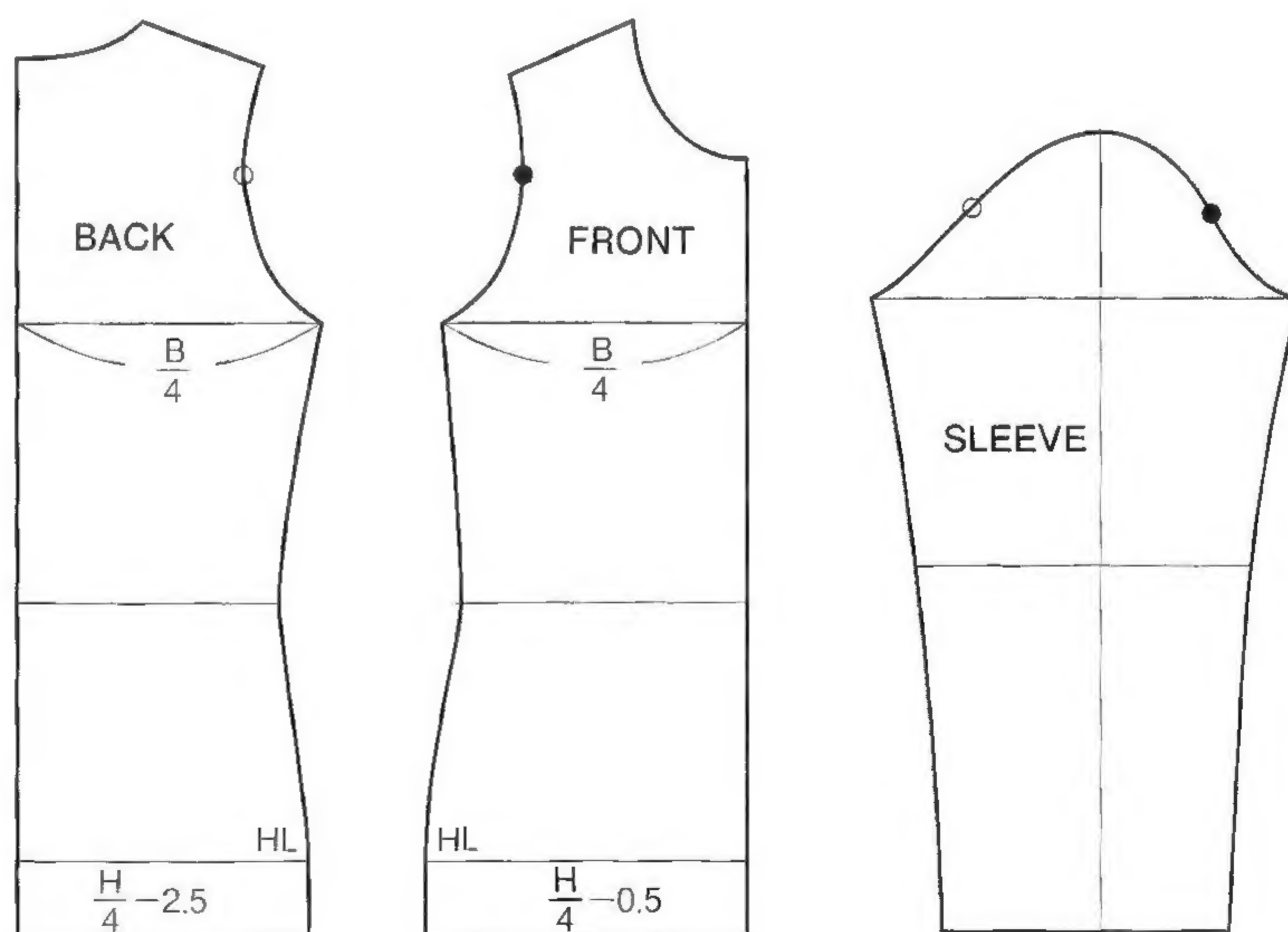
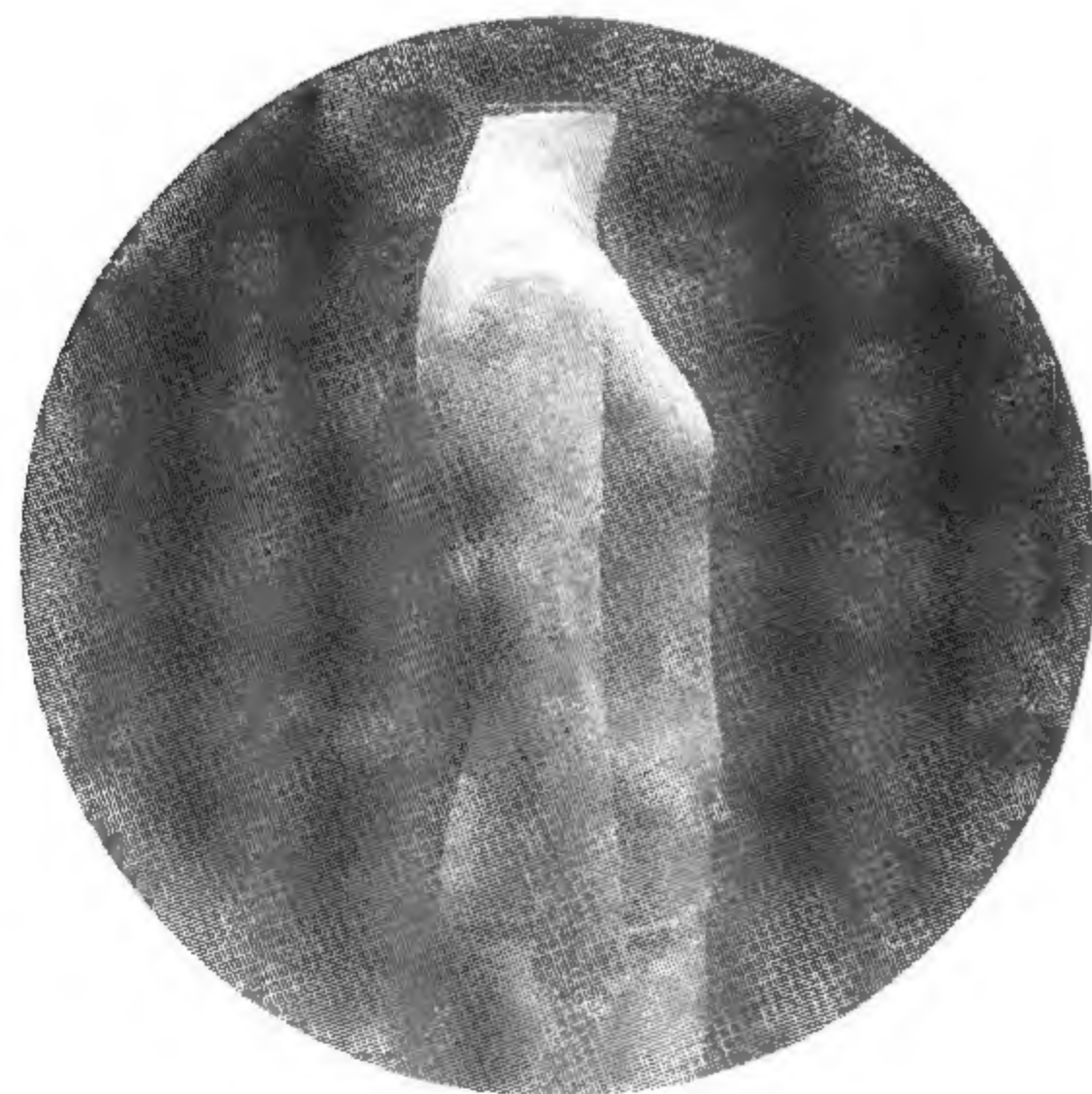
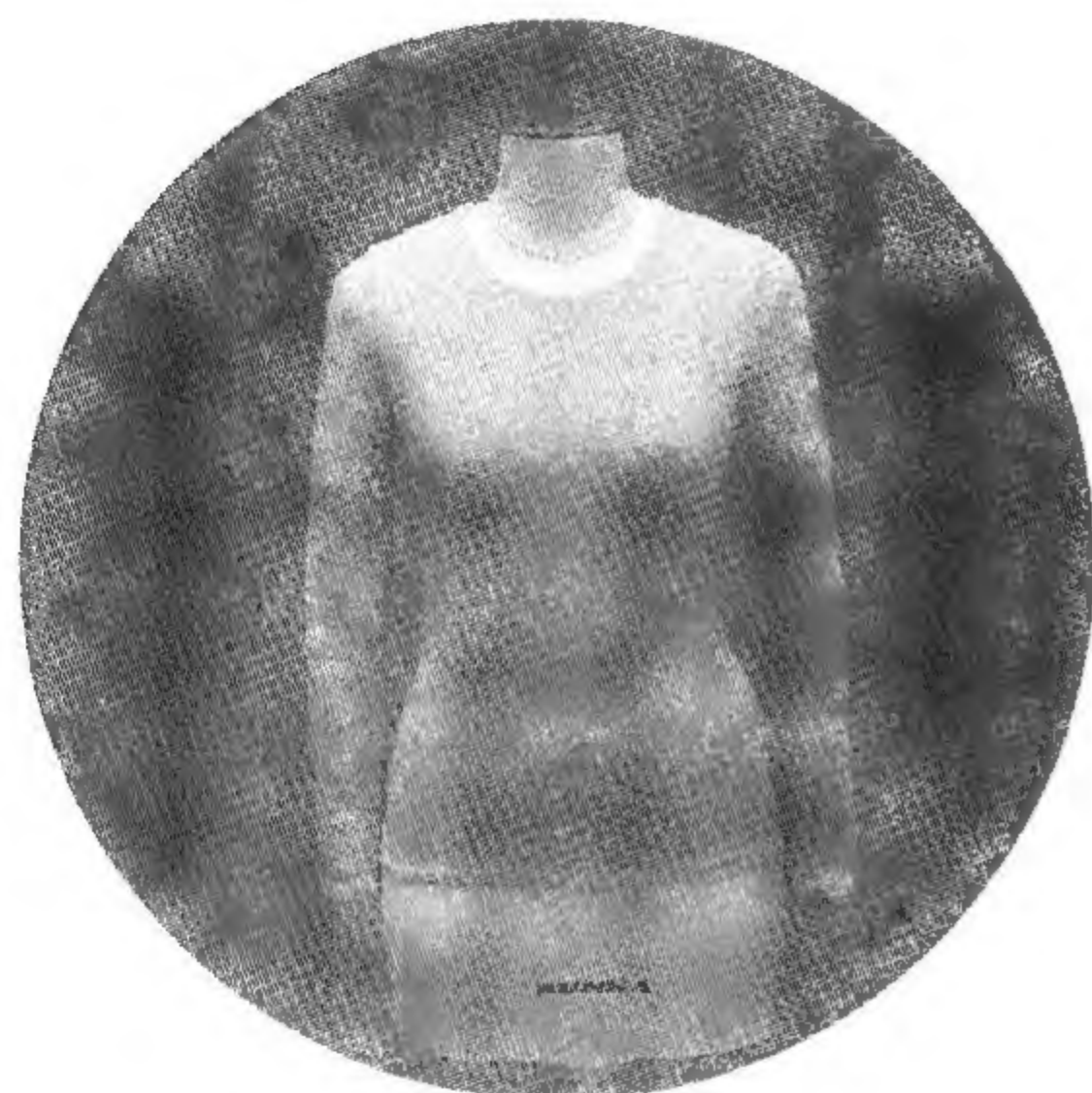
またパターンの成立ちをわかりやすく紹介することを目的としたため、パターンには、実際に仕立てるための見返しなどの表記、また、布の使用量の記載も省略してある。

●スローパーの実物大パターンと、その $\frac{1}{2}$ パターン(各S、M、L)を付録につけた。目的によって使い分けてほしい。

スローパーの特徴

布帛のスローパーとの大きな違いは、体にぴったりフィットさせていることである。それぞれ特徴のある部位をあげてみた。

- ・袖が肩にのるように、肩幅を狭くした。
- ・袖底を上げ、アームホールを小さくした。
- ・袖幅も狭くして、腕にフィットさせた。
- ・アームホールと袖山は同寸法。
- ・ヒップは実寸法より小さくしてぴったりさせた。
- ・腰のカーブは直線に近い線でかき、フィットさせた。
- ・衿ぐりはかぶって着られるように大きくあけた。



PATTERN MAGIC

Part 1

自由な素材で遊ぶ

自由に伸縮する素材はすでにマジックがかかっている。

縦、横、斜めに伸縮し、何もしなくても体にフィットする。

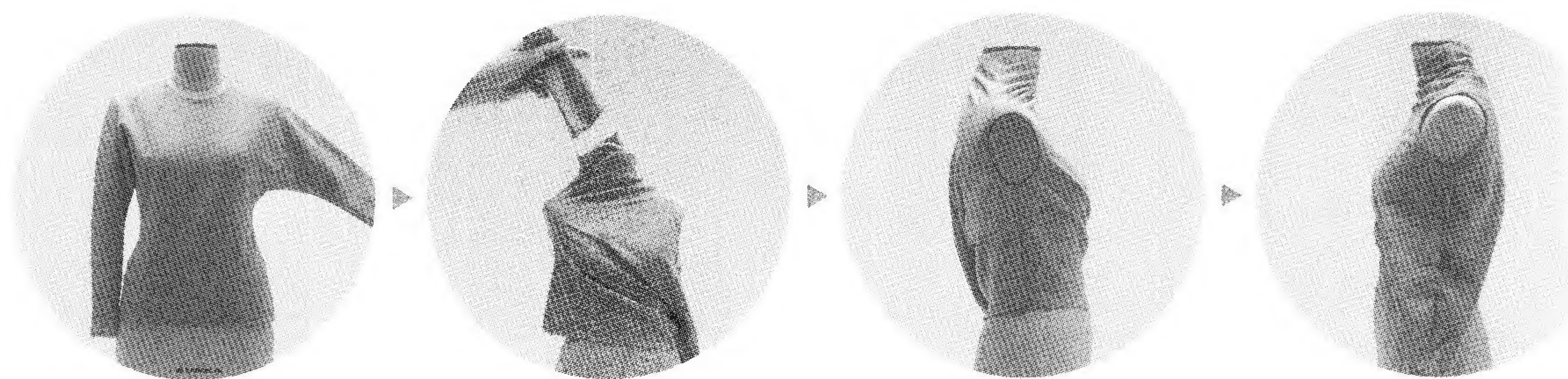
ゆとりはきれいなドレープに変化する。

着ることができればそれで完成という言い方もできるくらい。

この素材にしか通用しない自由なパターンの定義を見つけられたら、

布帛ではできないデザインも可能になる。

その自由さを服の定義に当てはめてパターンにしてみたい。





似たものどうし A 解説28ページ





似たものどうし B 解説30ページ





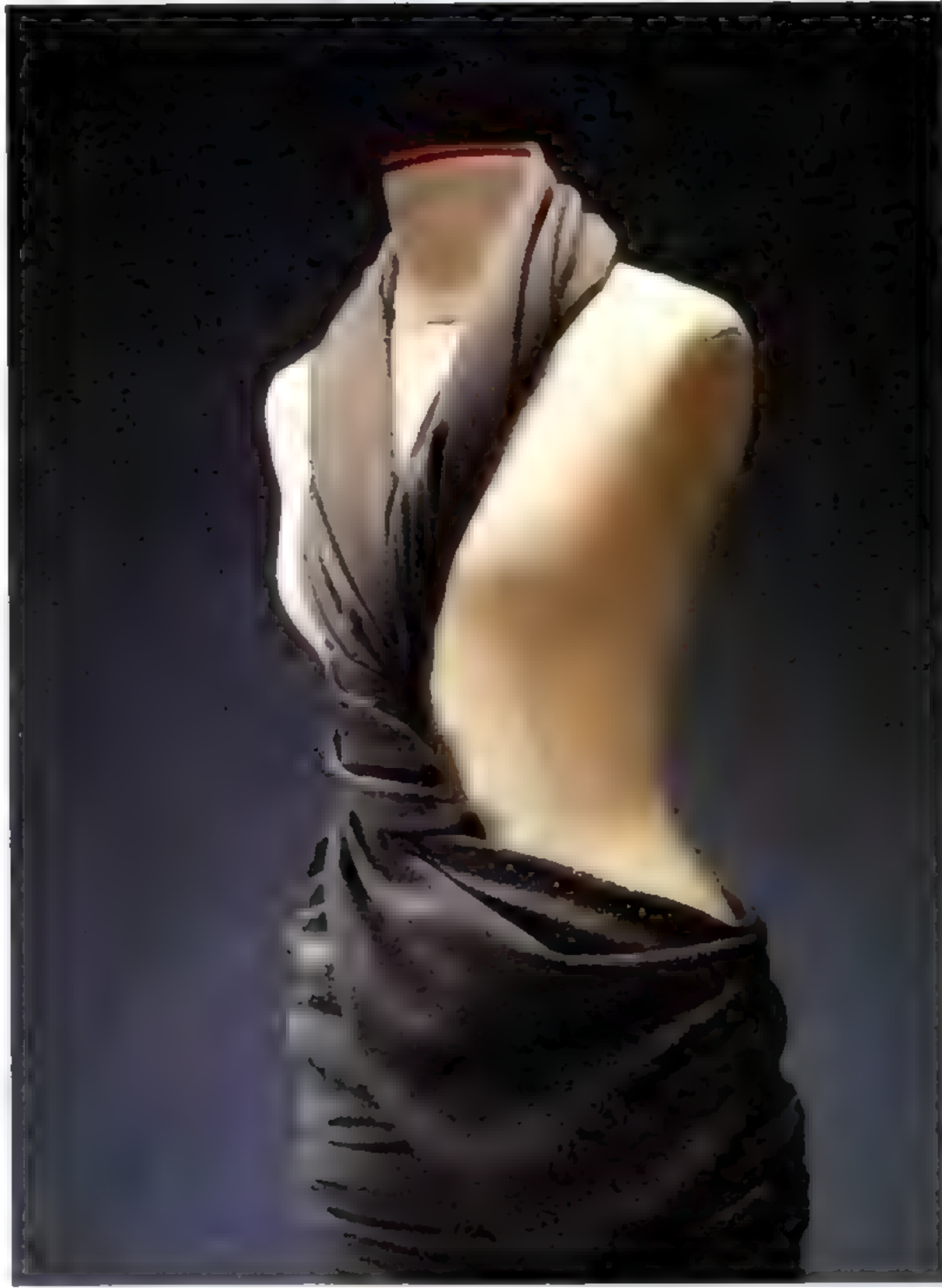
















フードシャツ

解説40ページ





パターンミステリー

解説42ページ







PATTERN MAGIC

“自由な素材で遊ぶ”の
パターンを作る



7ページ“着間違い”

遅刻しそうな朝は、

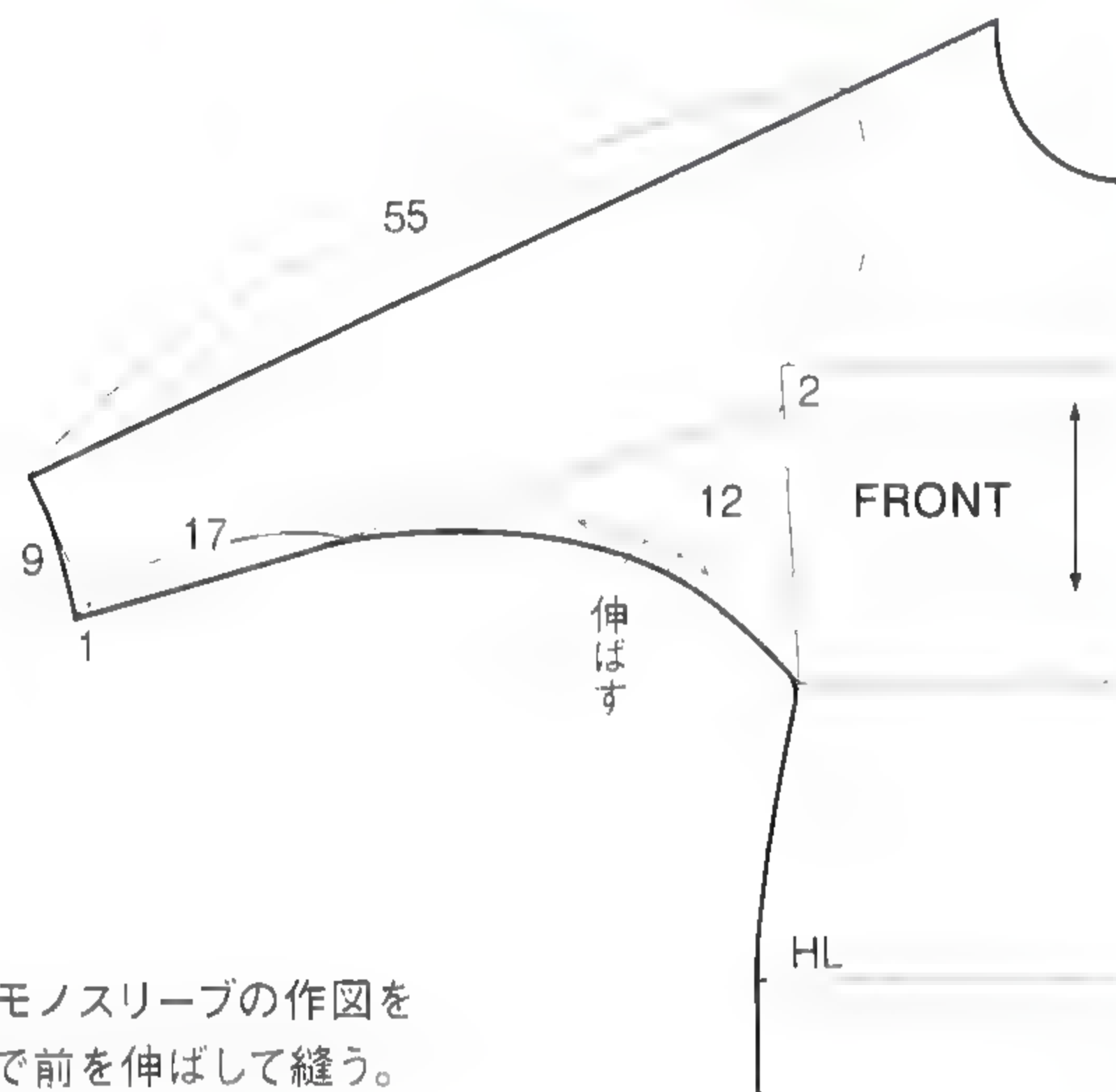
あわててボタンをかけ違えたり

袖に頭をつっこんだり……

でも、着間違いがけっこうおもしろかったりする。

キモノスリーブのシャツから、

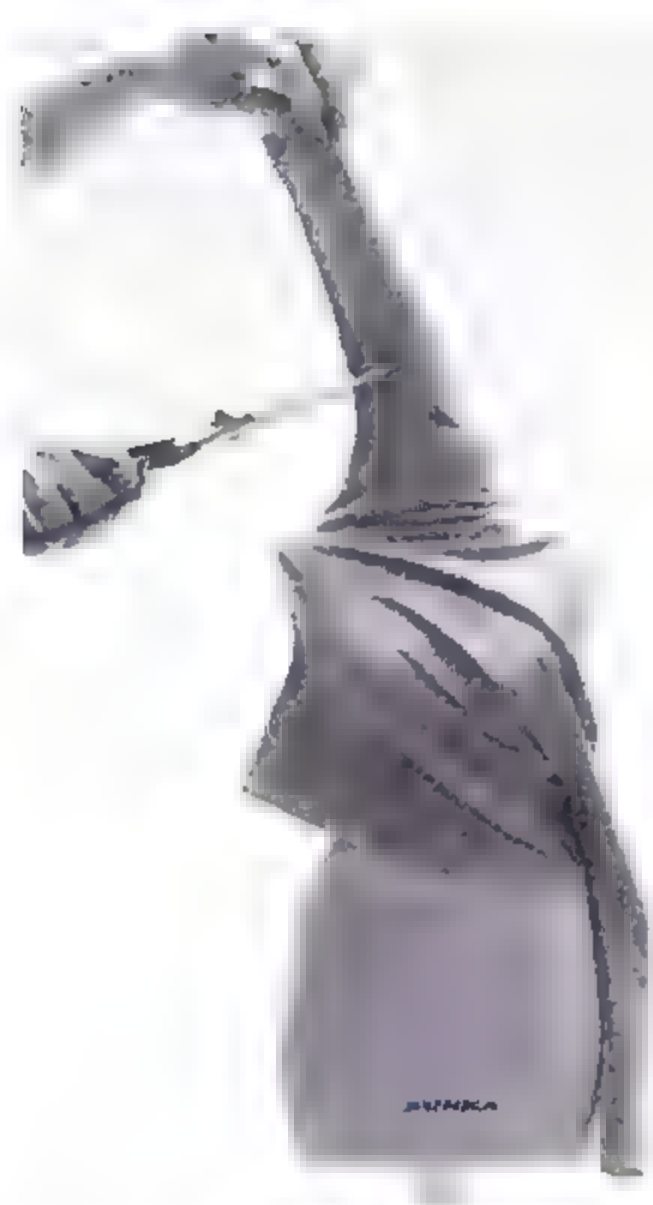
アバンギャルドなデザインにリメイク。



① 前後スローパーから、キモノスリーブの作図をする。袖下の長さが違うので前を伸ばして縫う。



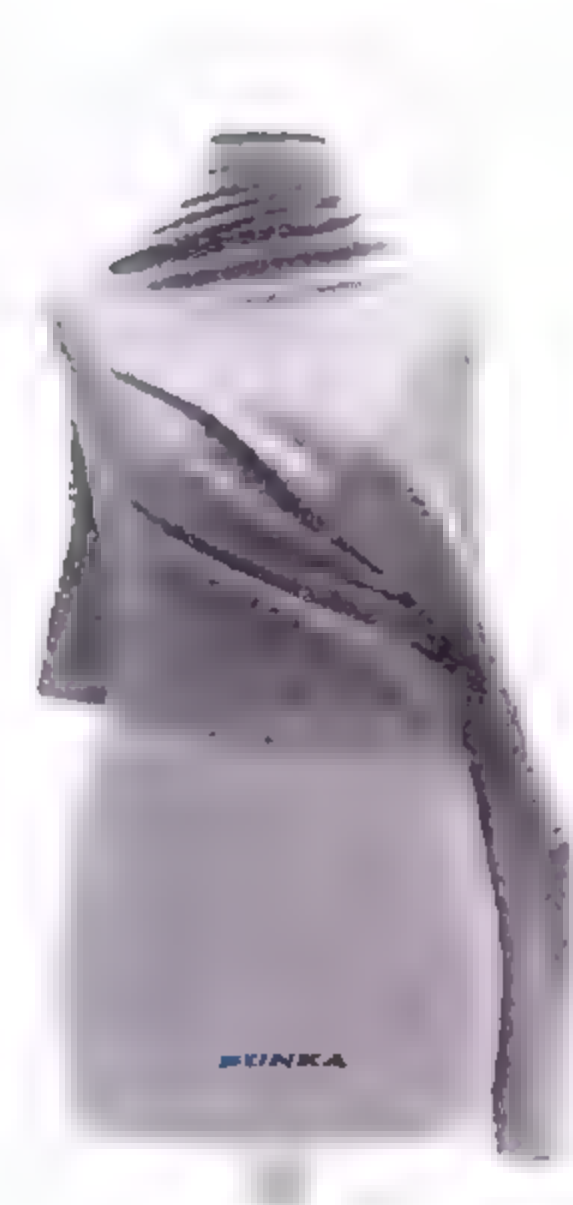
② でき上がったキモノスリーブのシャツをボディに着せる。



③ 右袖を頭にかぶせる。左肩に衿ぐりがきて肩先がのぞく袖になる。右脇が飛び出る。

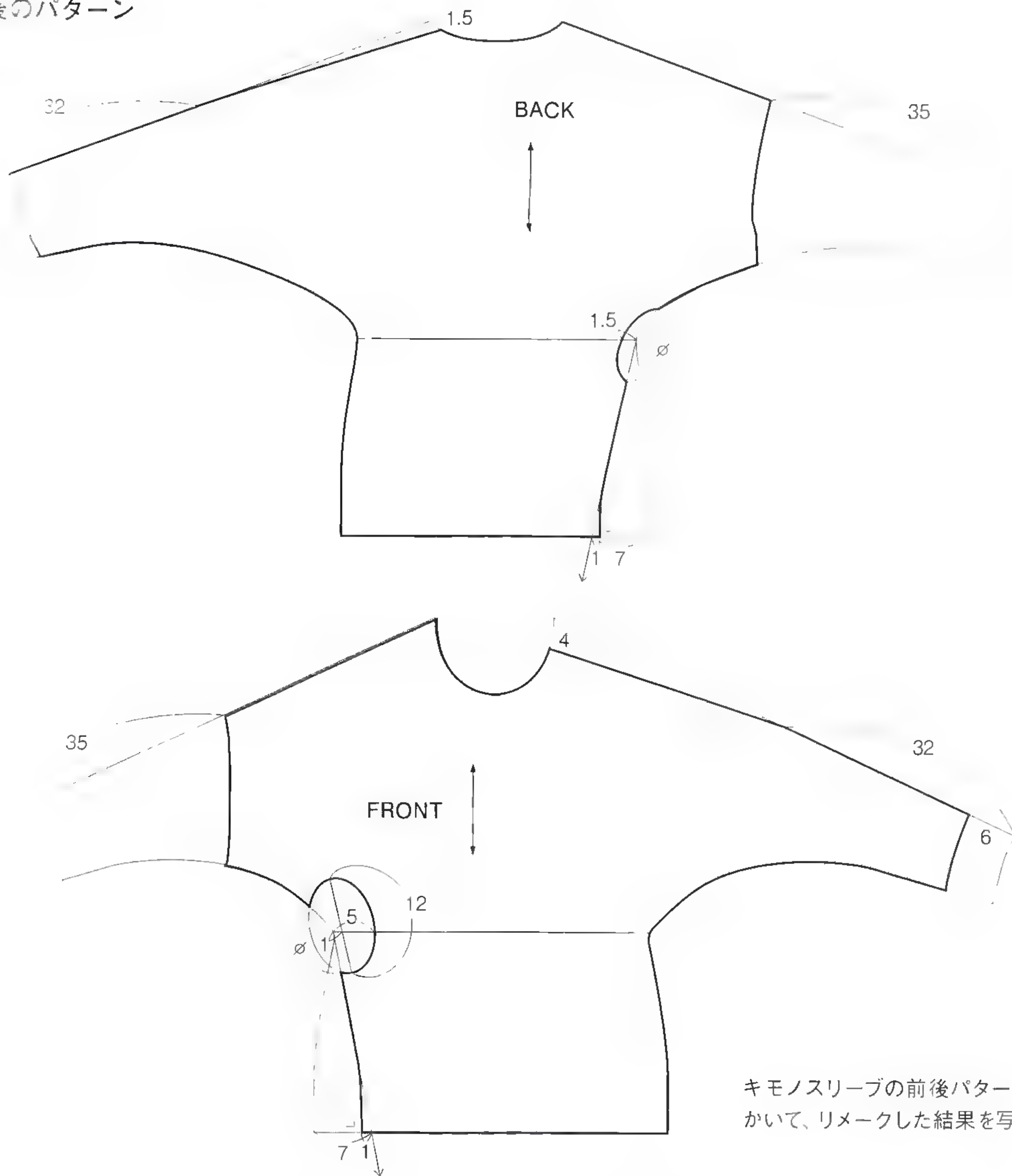


④ 頭が入る幅があるか確認し、余分な袖をカット。袖がハイネックになる。

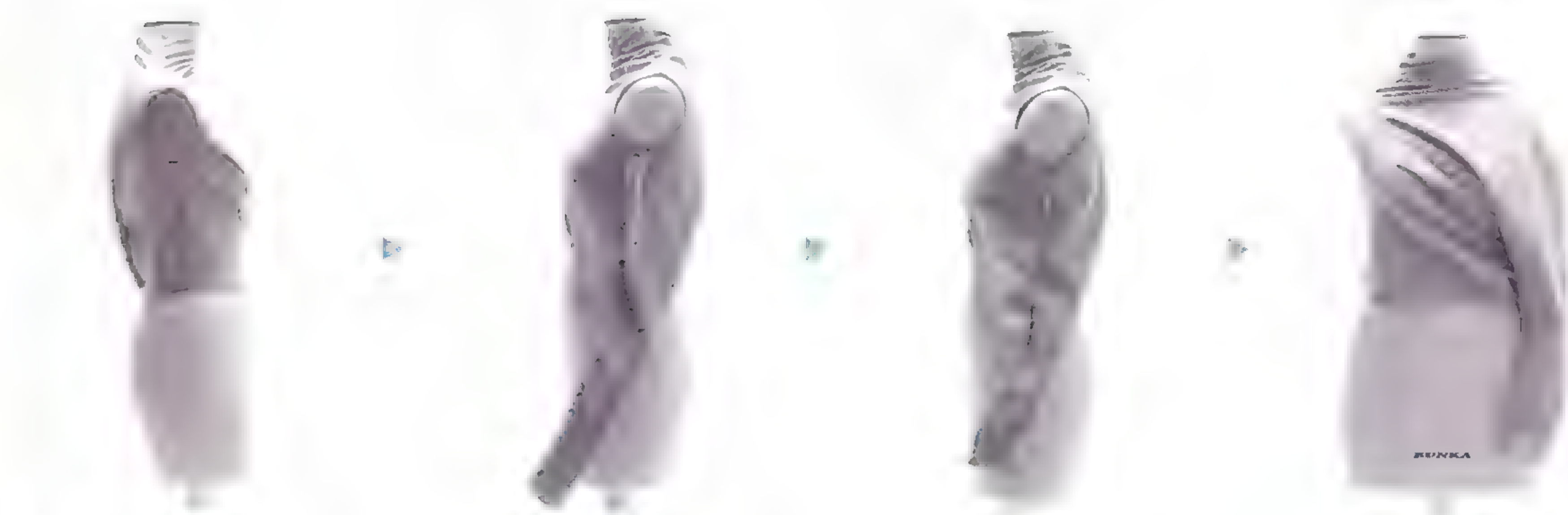


⑤ 飛び出た右脇をピンでつまむ。

完成後のパターン



キモノスリーブの前後パターンを左右
かいて、リメイクした結果を写す。



⑥ 三つ折を直し、袖ぐりになる
ようにスリーブをはる。袖ぐり
がすき、ので、少しずつ
袖ぐりの大きさを決める。

⑦ 左袖は太く、肩の穴も大き
い。左袖がすっきり見えるよう
に、ピンでつまんで袖幅を細
くする。

⑧ 左袖を整える。袖丈を短く
する。

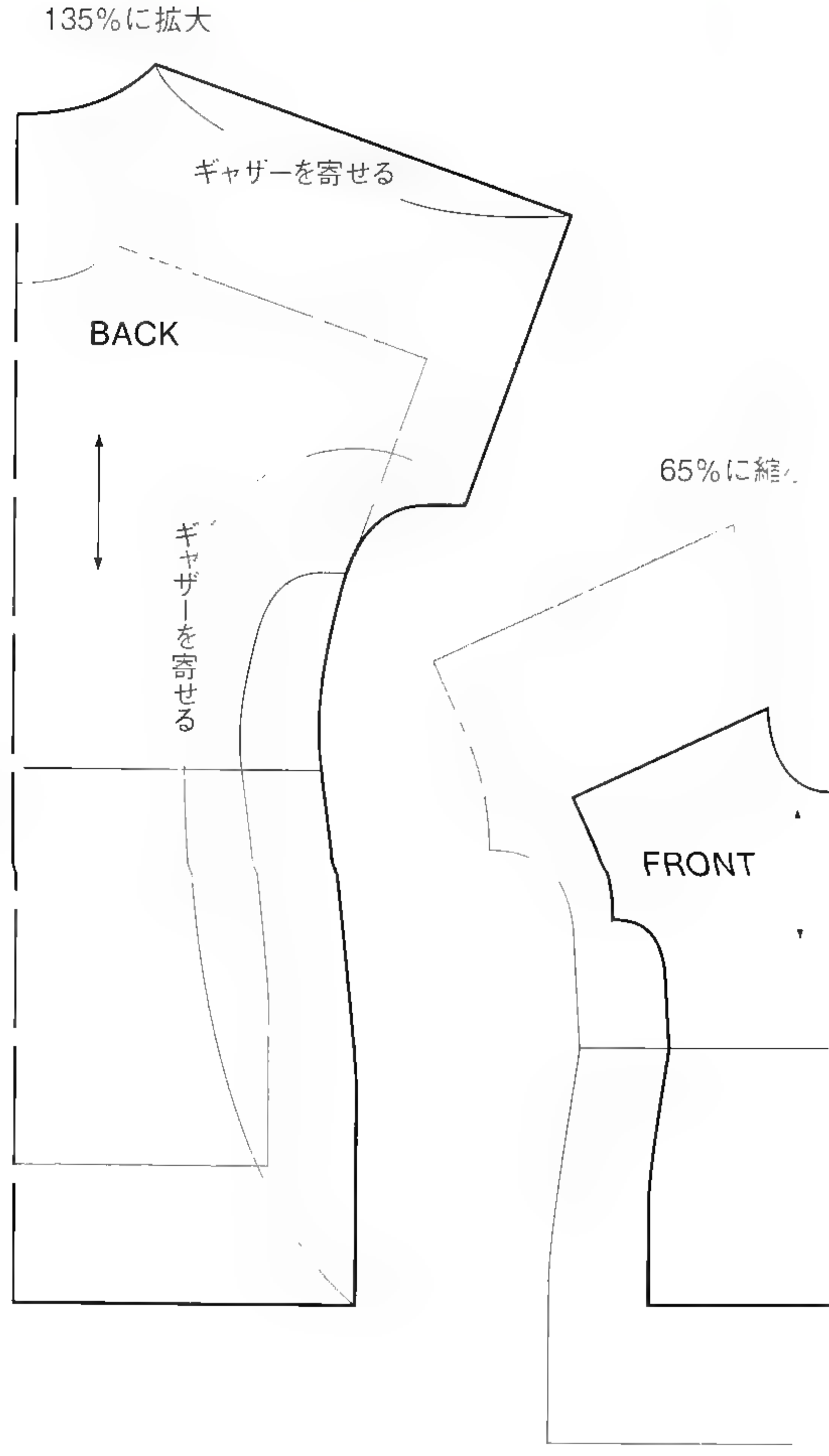
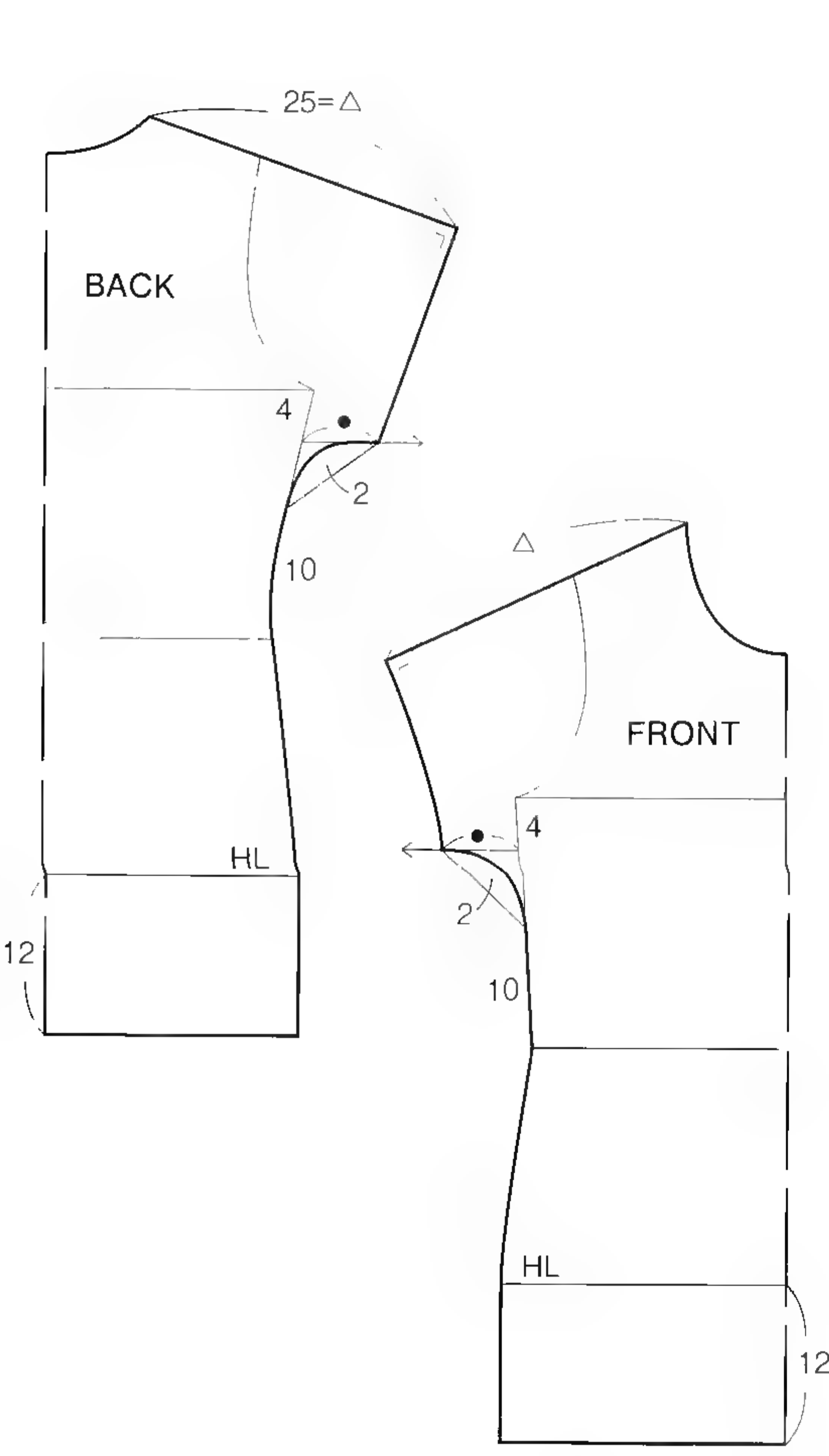
⑨ 縫い上げて完成。

8ページ“似たものどうしA”

チビなシャツとビッグなシャツ、
いっしょにしたら、普通サイズのシャツになり、
似たものどうし、仲よくおさまった。



パターンの拡大、縮小は、コピー機を使う。
使わない場合は98ページで解説した方法でできる。



- ① 前後スローパーのヒップラインから上をかく。キモノスリーブの作図をする。
- ② 後ろ身頃を135%に拡大コピーする。前身頃を65%に縮小コピーする。後ろ身頃の脇と肩にギャザーを寄せて前身頃と組み合わせる。



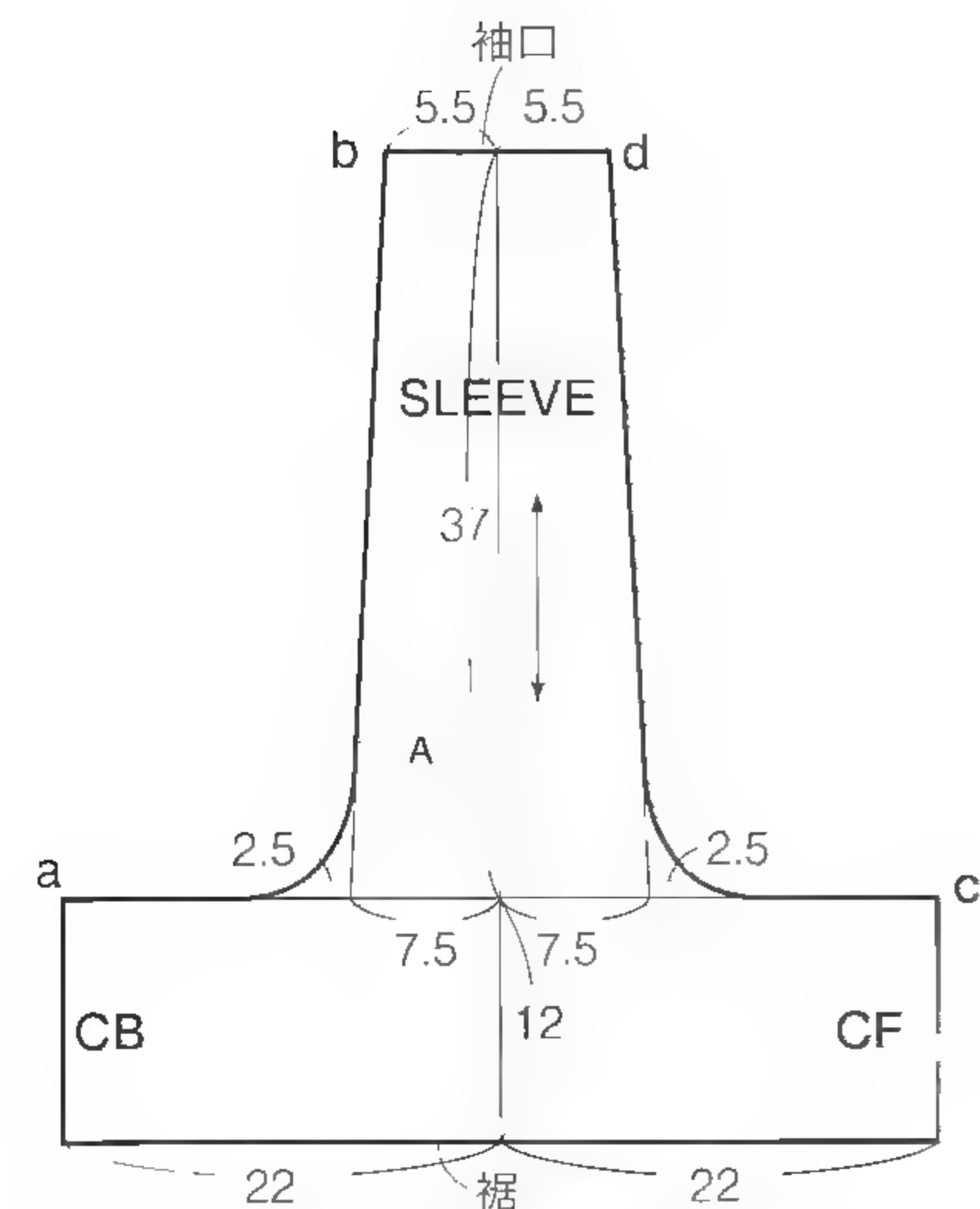
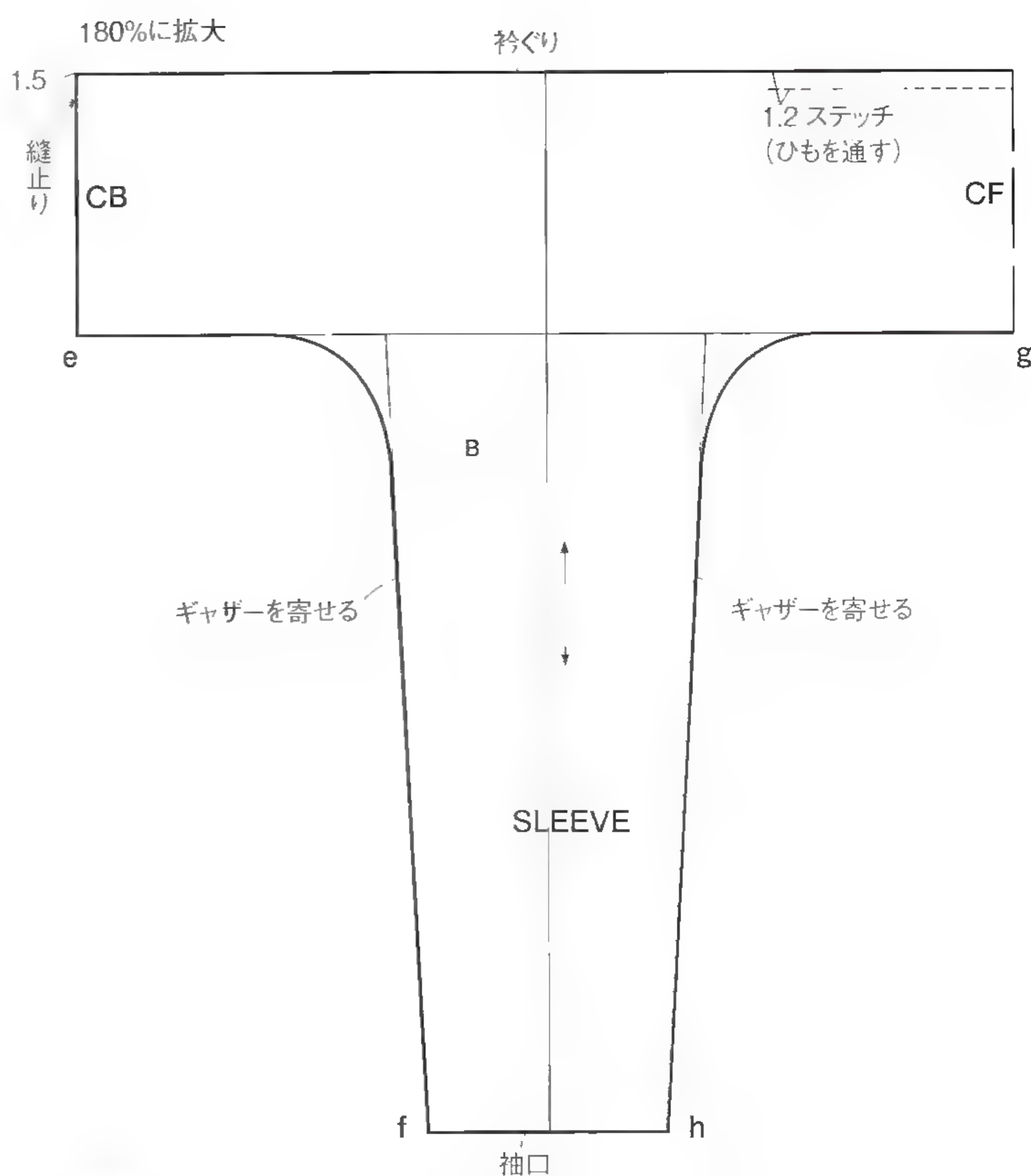
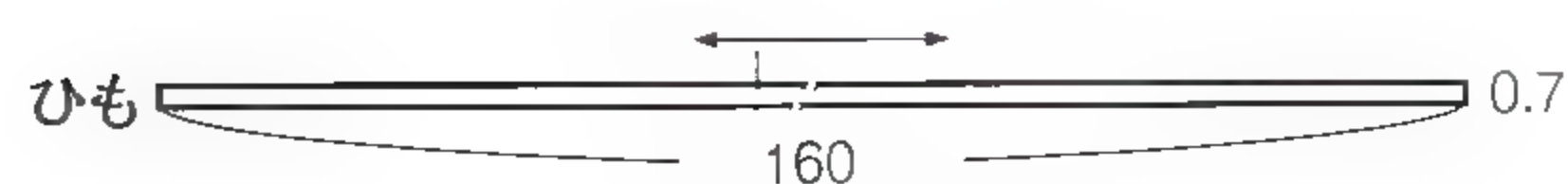
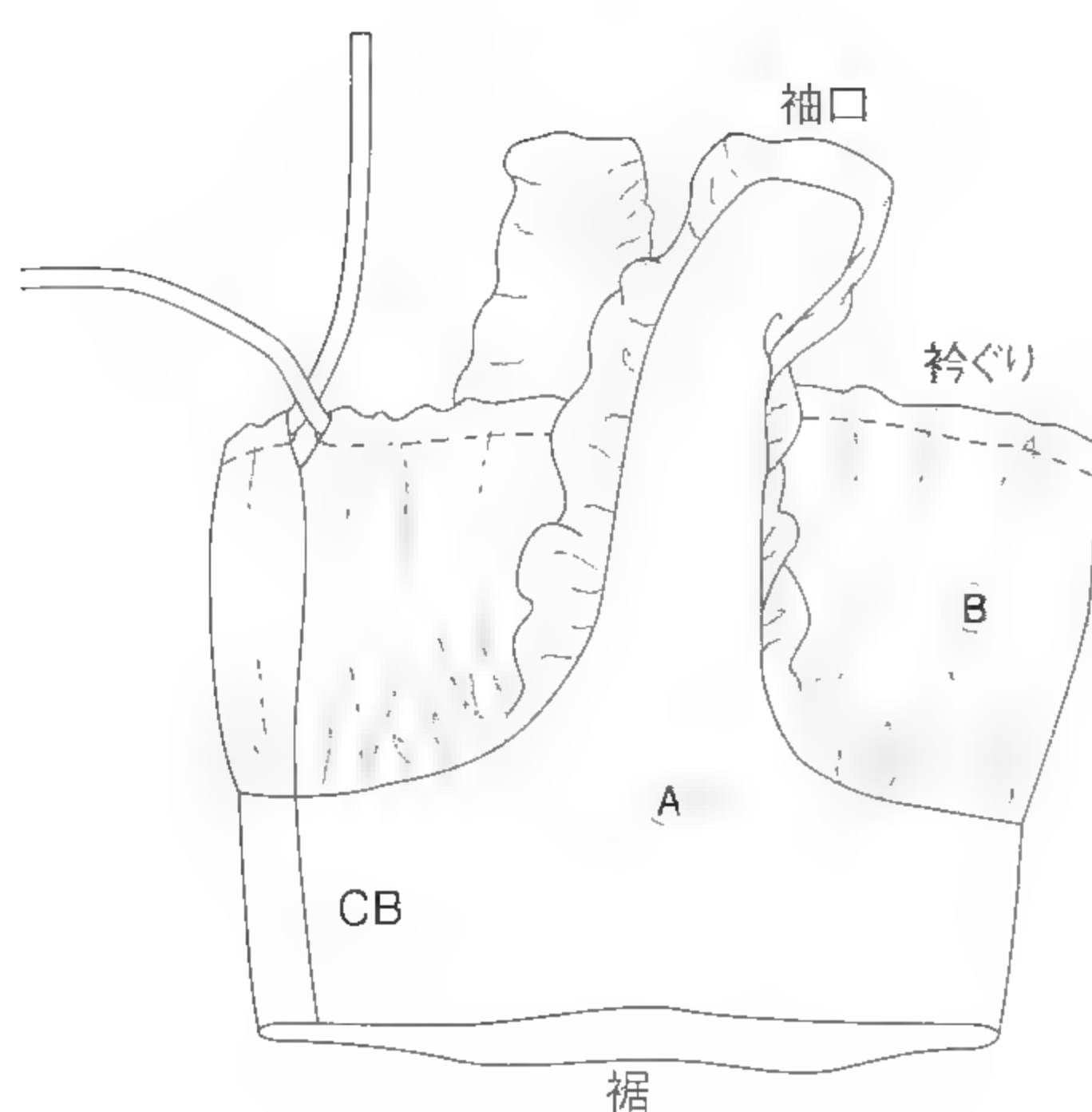


10ページ“似たものどうしB”

おもちゃのブロックを組み立てるように、
 大小のT字形のパターンを上下に組み合わせたら、
 それだけでフォークロア調のブラウスになった。



でき上り図

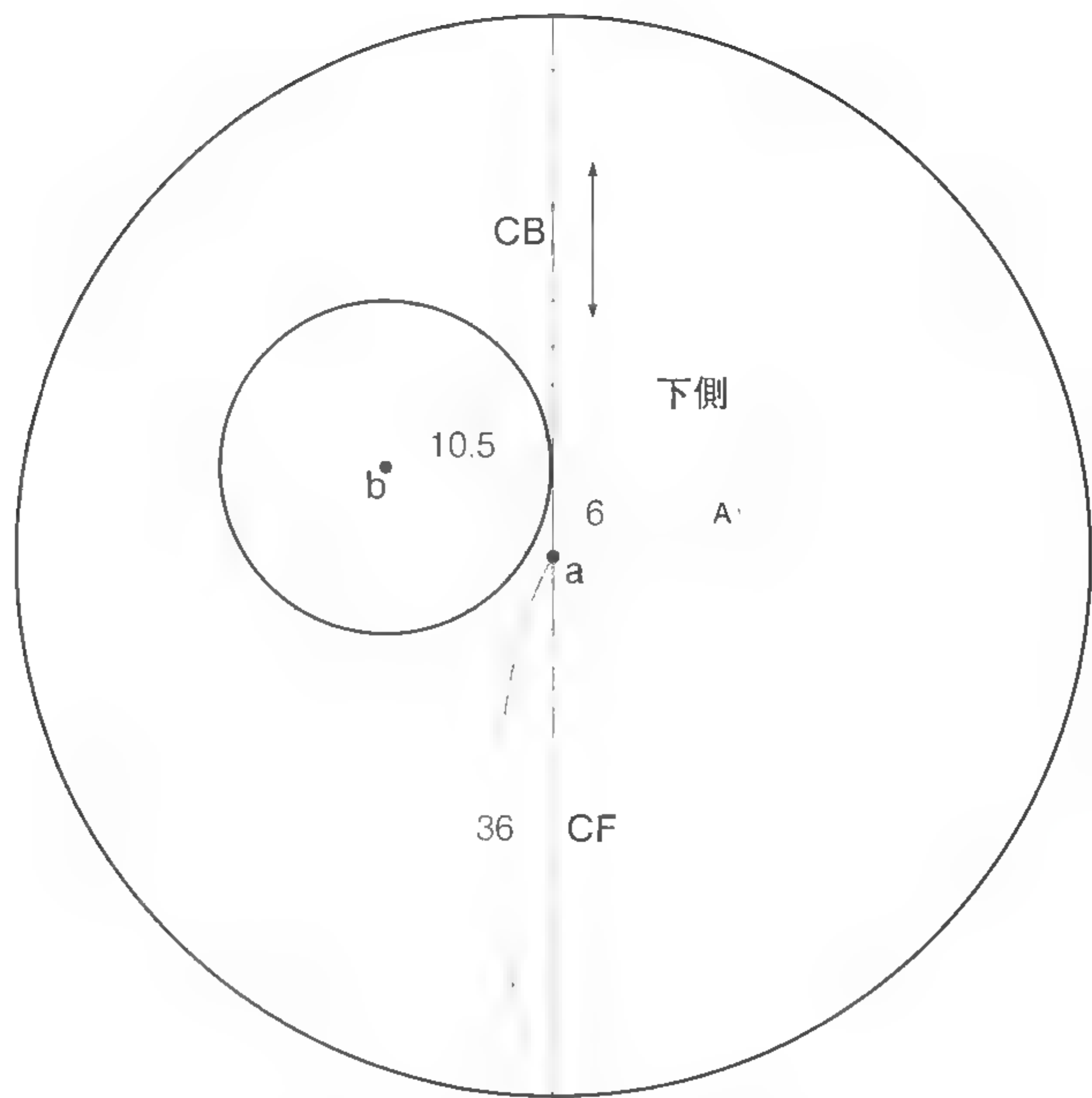


① バストから下の身頃と内袖がつながってできた
 逆さT字形をしたパターンの作図をし、①とする。

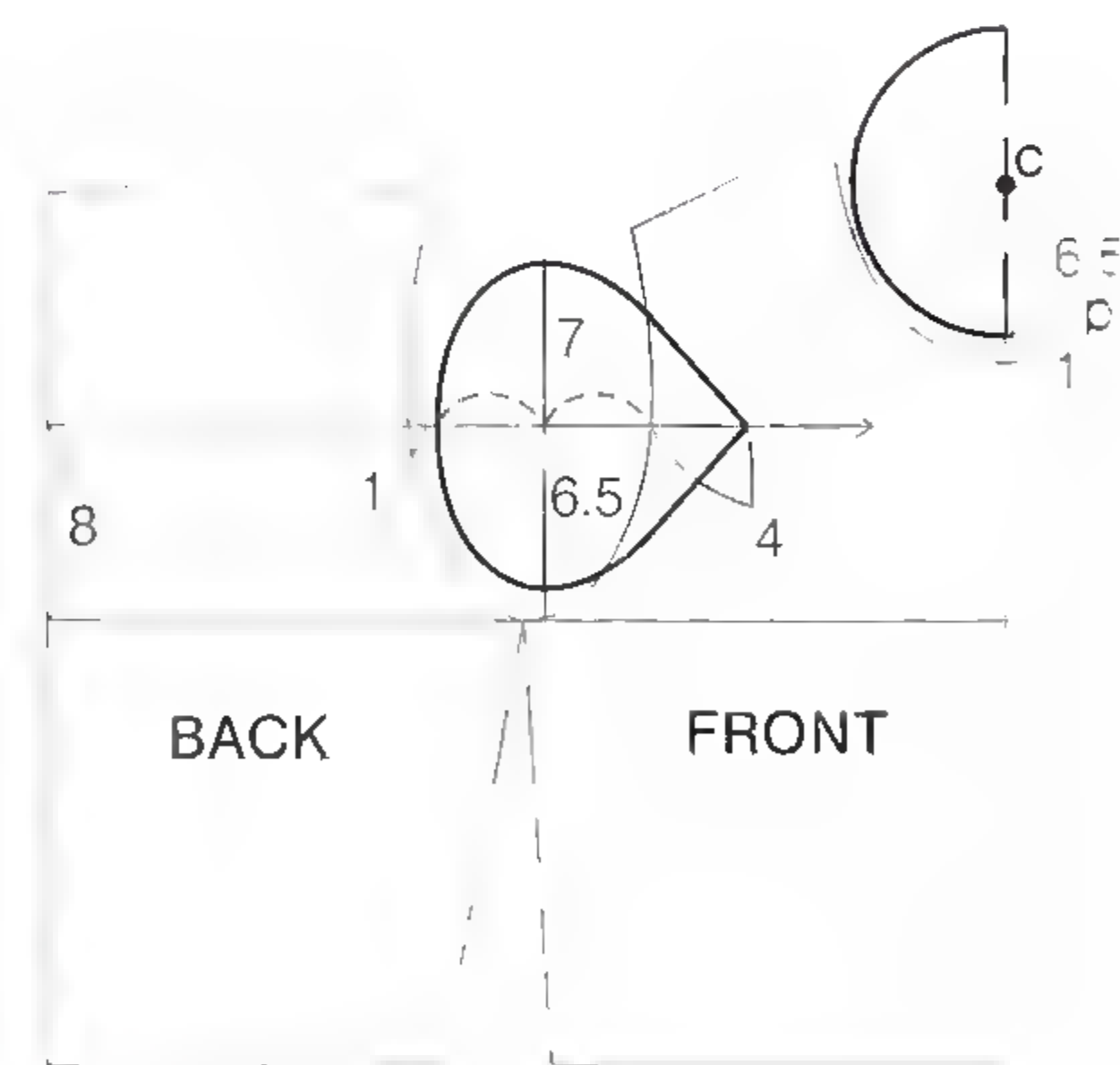
② バストから上の身頃と外袖がつながってできたパターンは、①を180%拡大したもので、上下に反転し②とする。a～bとe～f、c～dとg～hを縫い合わせる。衿ぐりはひもを通して調節する。

12ページ“満月”

表の顔しか見せない月は、
世界中のどこから見ても同じ模様。
うさぎに見えたり、女性の横顔だったり……
2枚の円を縫い合わせて作った満月は、
衿ぐり、袖ぐりの穴の位置を変えると
いろいろな表情の服になる。



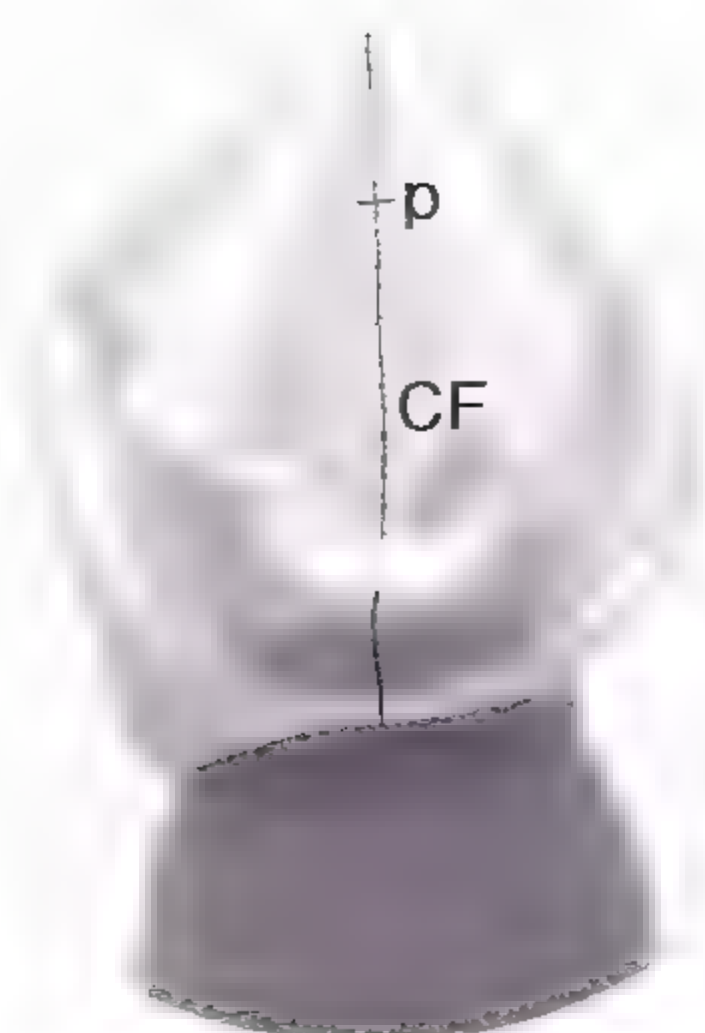
① aを中心にして半径36cmの円をかく。その円の中に、ウエスト回りになる、bを中心とする半径10.5cmの円をかく。ウエスト回りを通して体を入れるので、バストが入るか確認する。これを下側になる円①とする。



② 袖ぐりと衿ぐりの作図をする。前後スローパーのウエストから上を袖底を合わせて、袖ぐりをかく。前中心線上でcを中心とする半径6.5cmの円をかき衿ぐりを作る。



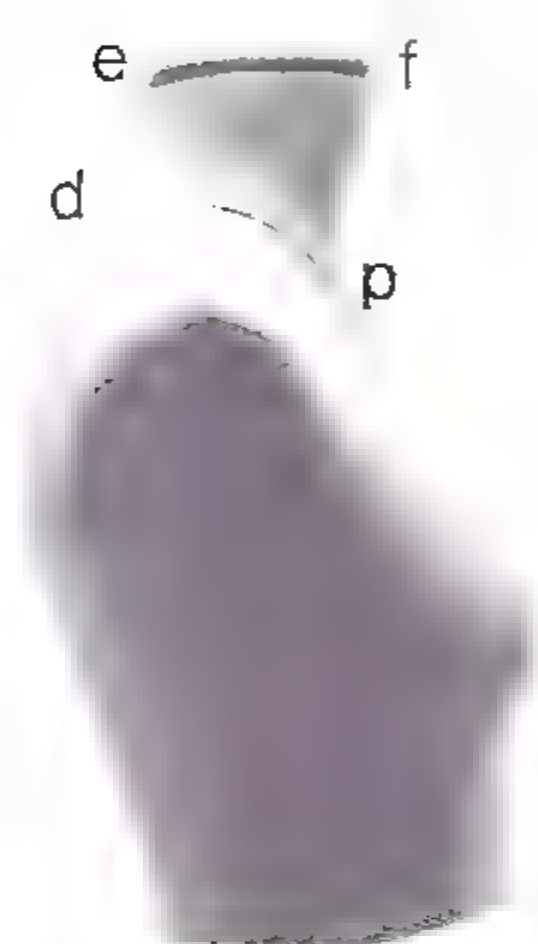
③ 同じ大きさの、穴のあいていない布を②にする。⑥は着たときに上側の円になる。AとBを縫い合わせる。



④ ボディに着せる。動かしながら、好みのシルエットを決める。前中心線とフロントネックポイントに印をつける。フロントネックポイントをpとする。



⑤ ボディの首で、後ろ身頃がつり上がる。



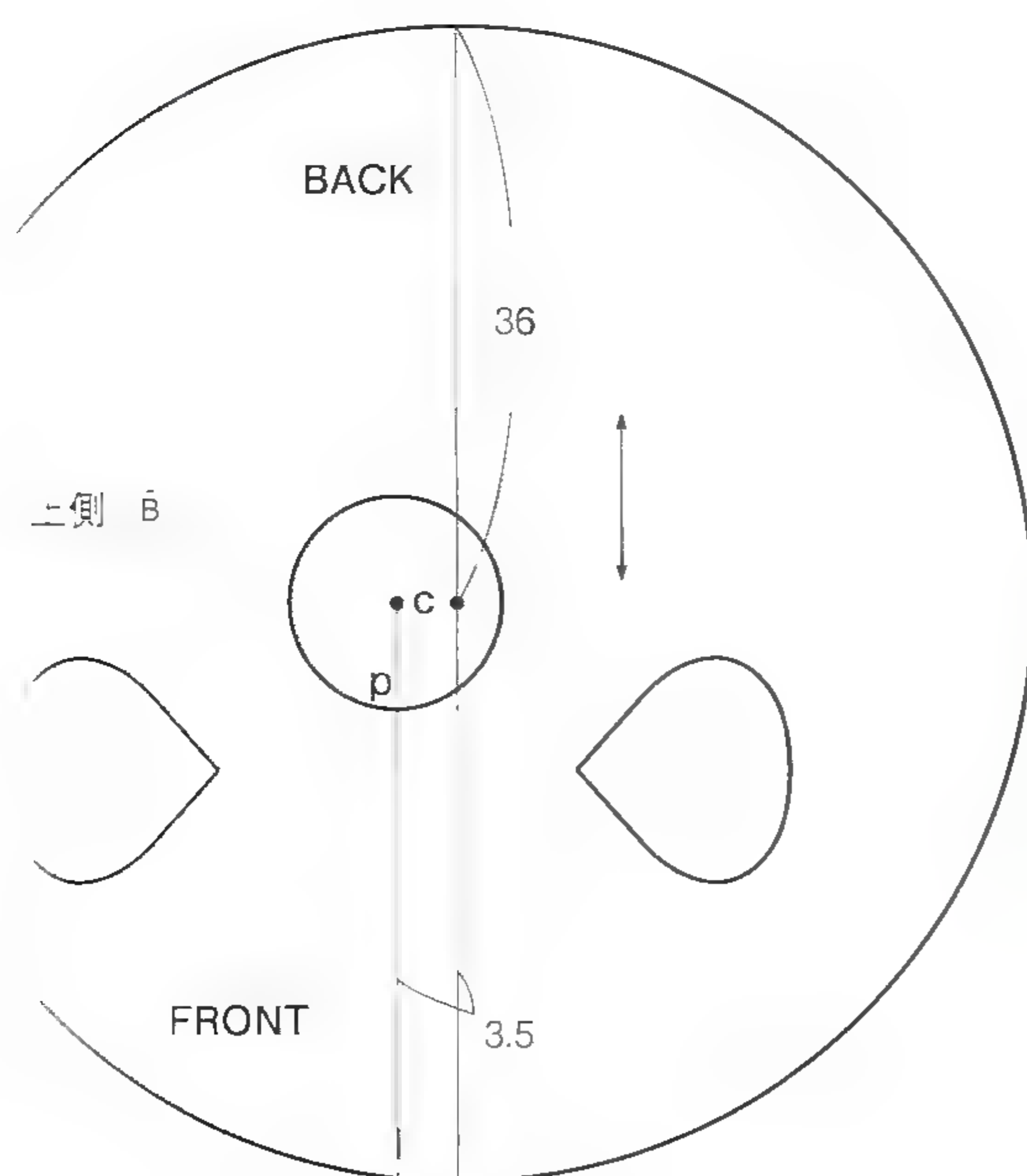
⑥ ⑤の首(d~e~f~p)の長さを△にする。



⑦ △の分の後ろ身頃を下げてシルエットの確認をする。シルエットが気に入らなければ④に戻って作業を繰り返す。



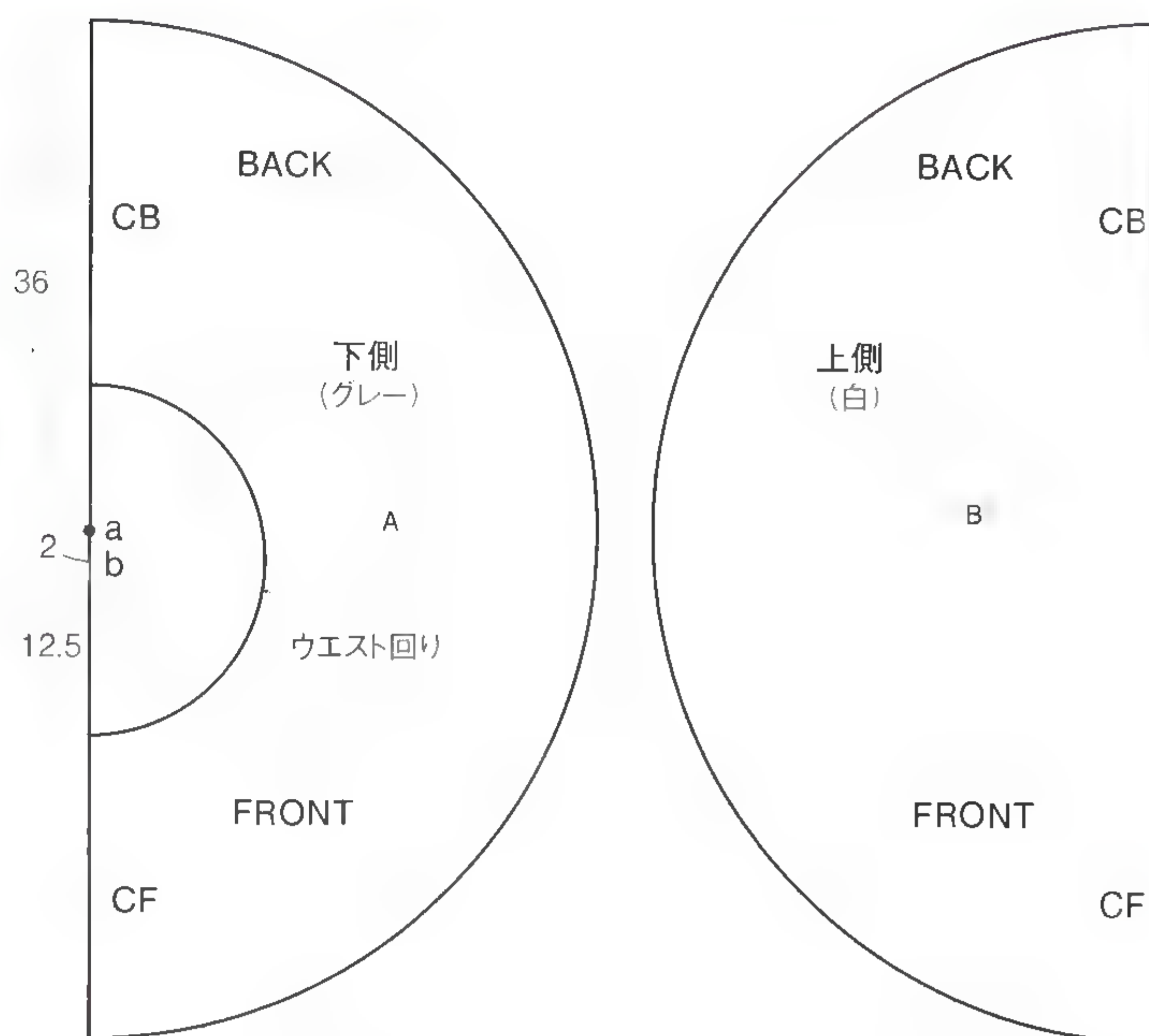
⑧ ⑧を上にして平らに置く。②でできたパターンを前中心とpで合わせてすえる。衿ぐり、袖ぐりを身頃に写す。



完成パターン。

13ページ“三日月”

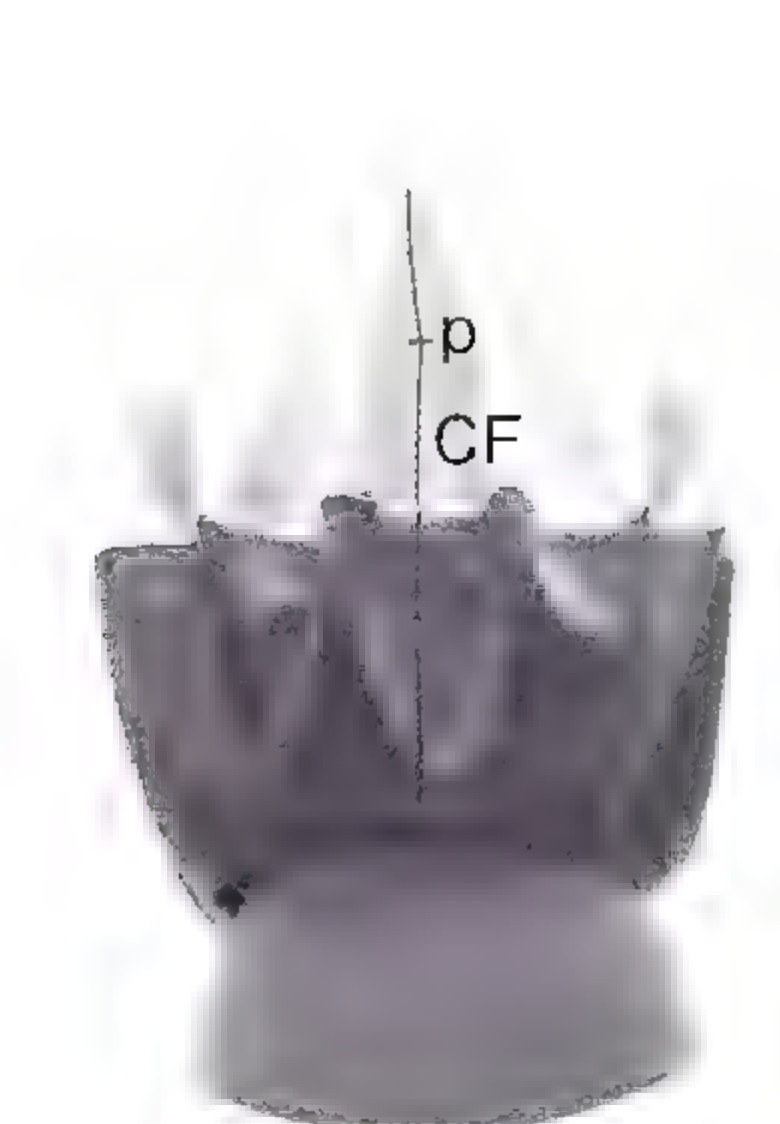
月は“満ち”“欠け”を
繰り返しながら見える姿を変化させる。
布でできた月は、
2枚の布の色を変えたら
背中にふんわり三日月が浮かんで見えた。



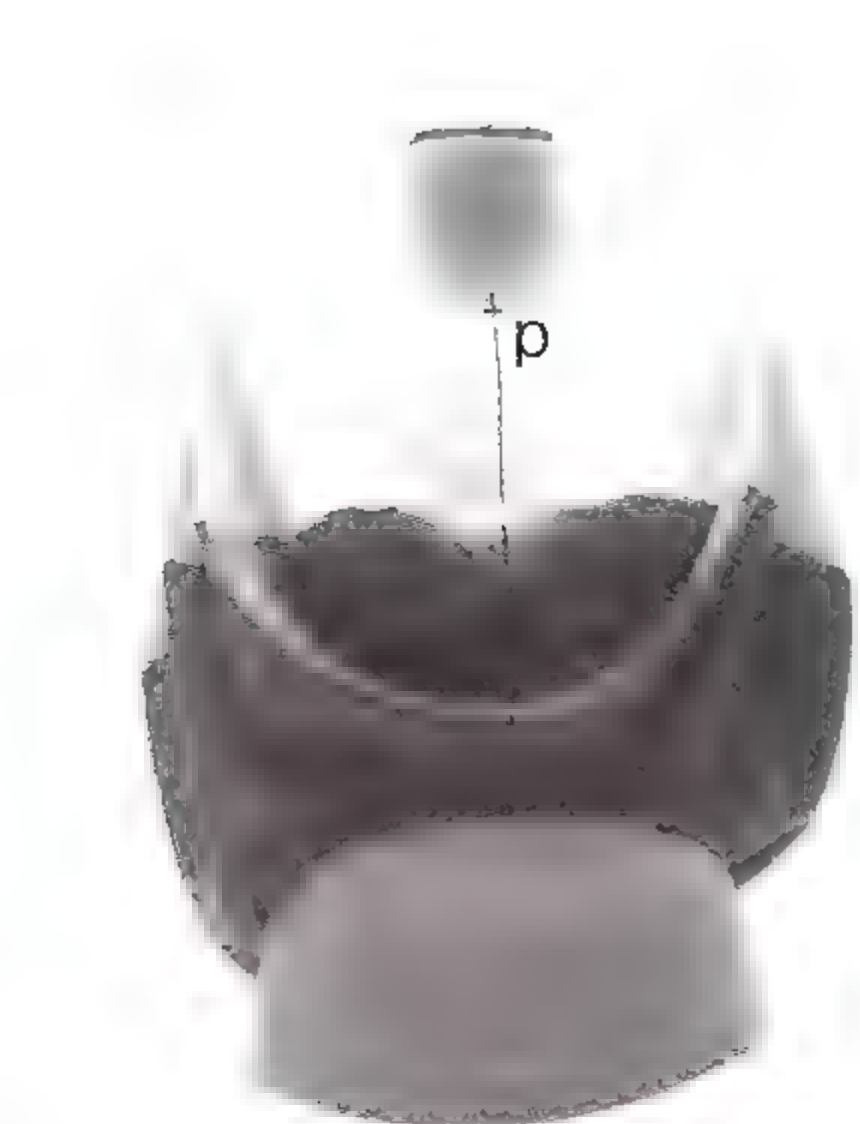
① aを中心とする半径36cmの円をかく。円の中に、bを中心とする半径12.5cmの円をかき、ウエスト回りとする。これが下側の円になり㊶とする。㊶の穴のあいていない状態の円を㊷とする。㊷は上側の円になる。



② \bar{A} と \bar{B} を縫い合わせ、ボディに着せ



③ 動かしながら、好みのシルエットを決める。前中心線とフロントネックポイントにpの印をつける。



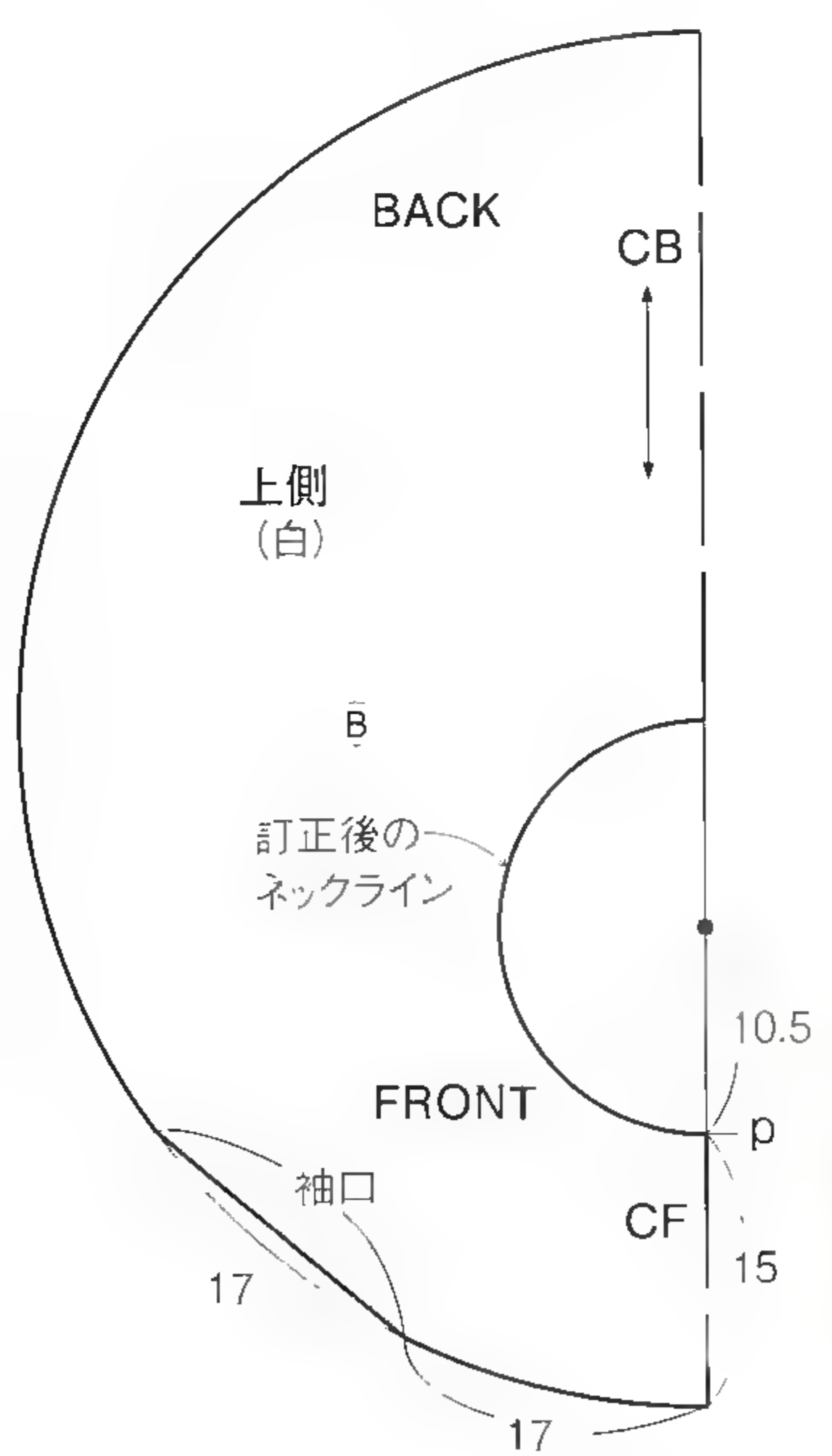
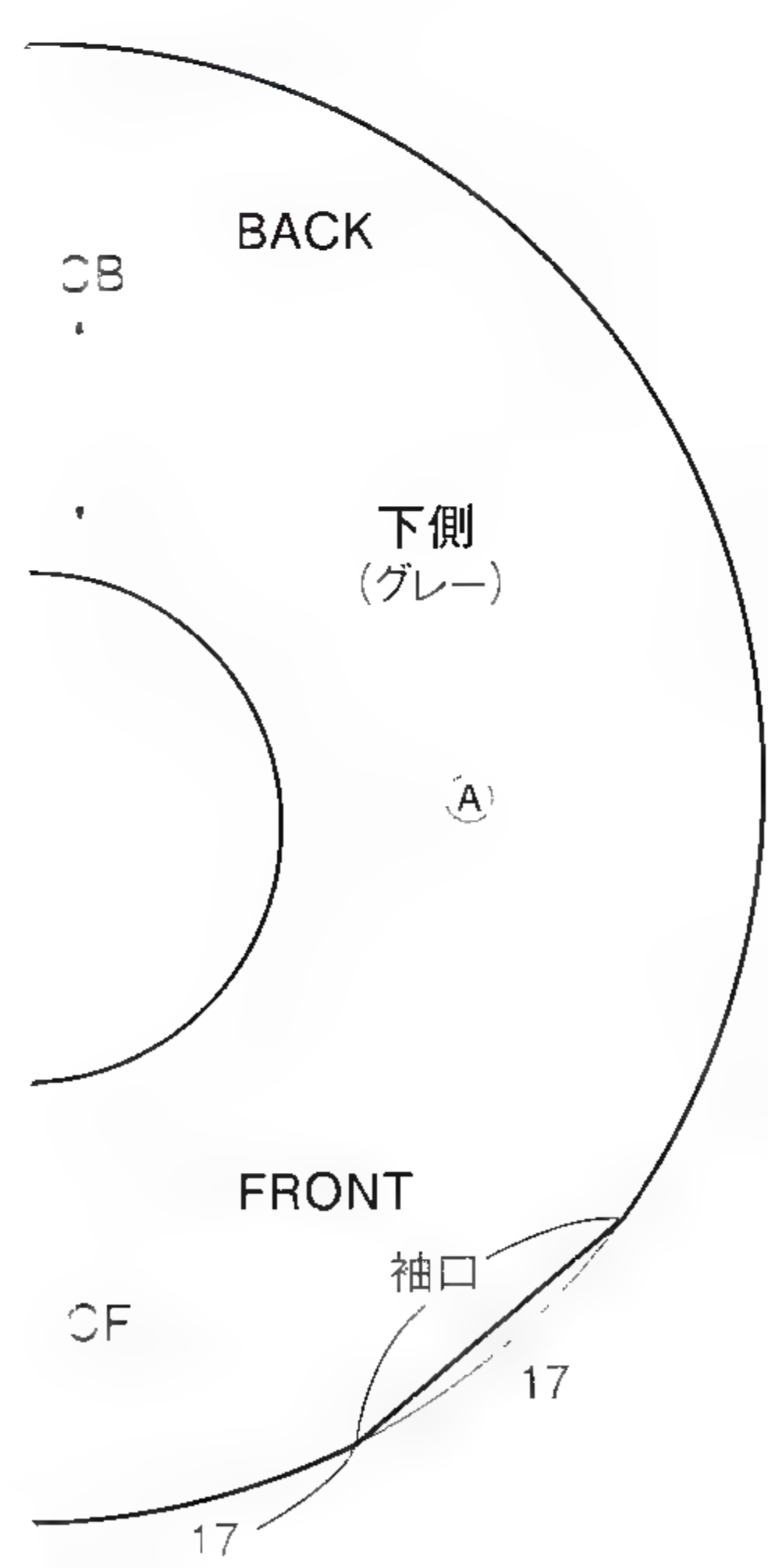
④ pを通りボディの首が入る大きさの円をくりぬいて着せる。



⑤ 衿ぐりは、好みのラインにテープで印をつける。



⑥ 袖ぐりは、縫い目を利用して袖口を決め、印をつける。

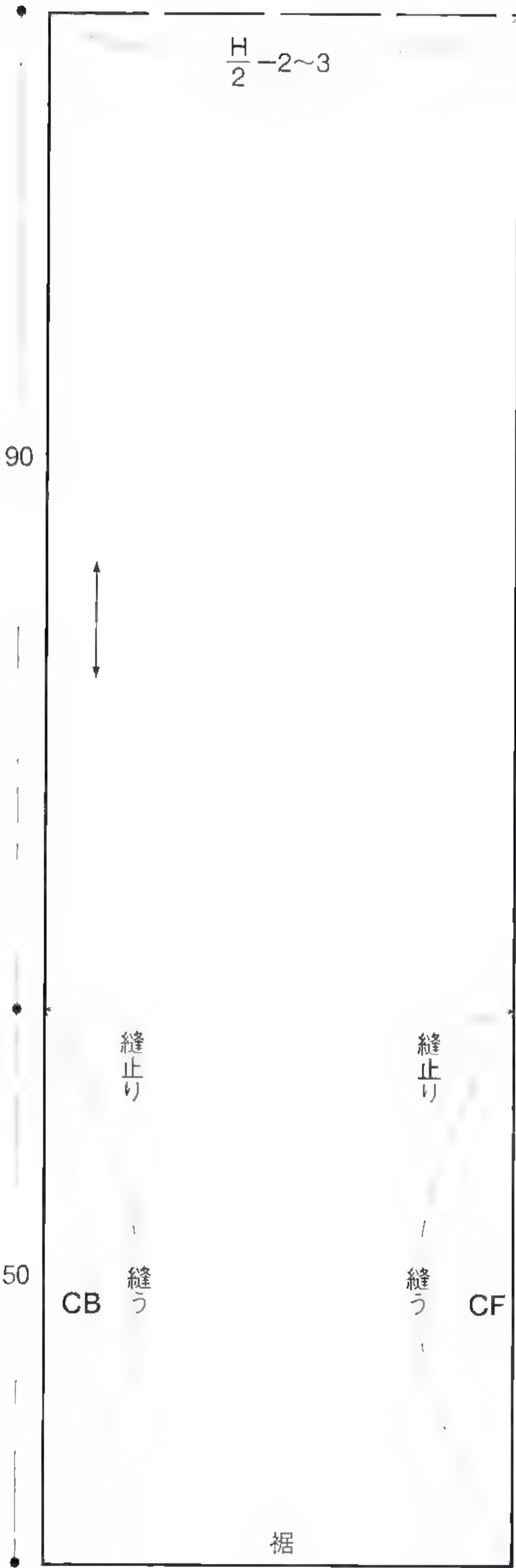


⑦ \bar{A} と \bar{B} に衿ぐり、袖口を写してかき込み、作図を完成する。



16ページ“着方のマジック”

マジックのかかった長方形は大人の雰囲気のパートップに。
ねじって、広げて、結んで、通して……
何通りの着方ができるのか、着る人がさらにマジックをかける。



作図をする。ヒップでフィットさせて着るのでマイナスのゆとりにする。



18ページ“もぐらたたき”

いろんなところから頭を出せるワンピースは、
たたいてもたたいても次々に頭を出すもぐらたたきのようだ。
たたいた爽快感はないけれど、
頭を出すところを移動するたびにシルエットが変わる楽しみがある。





② ③のハイネックに頭を入れ
④ ハイネックに腕を通す

フープができる。脇に穴が
ニクワンピースになる。



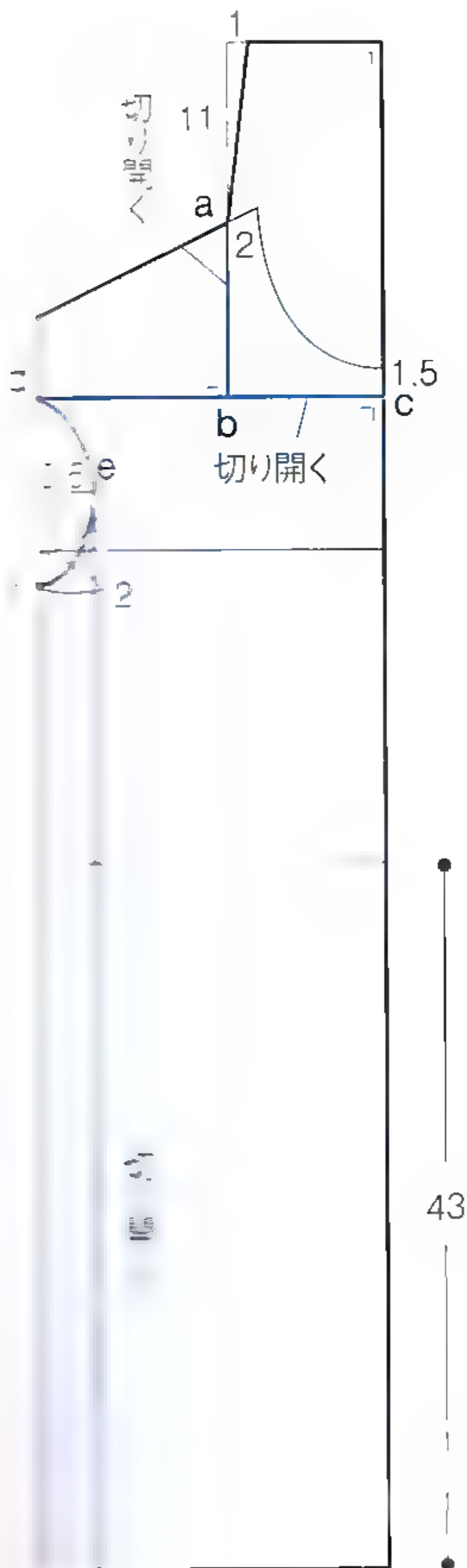
真ん中のハイネックに頭を入れ
脇の穴に腕を通す

肩に乗った両端のハイネックがいかり肩のシルエットを出し、胸もとにドレープができる。

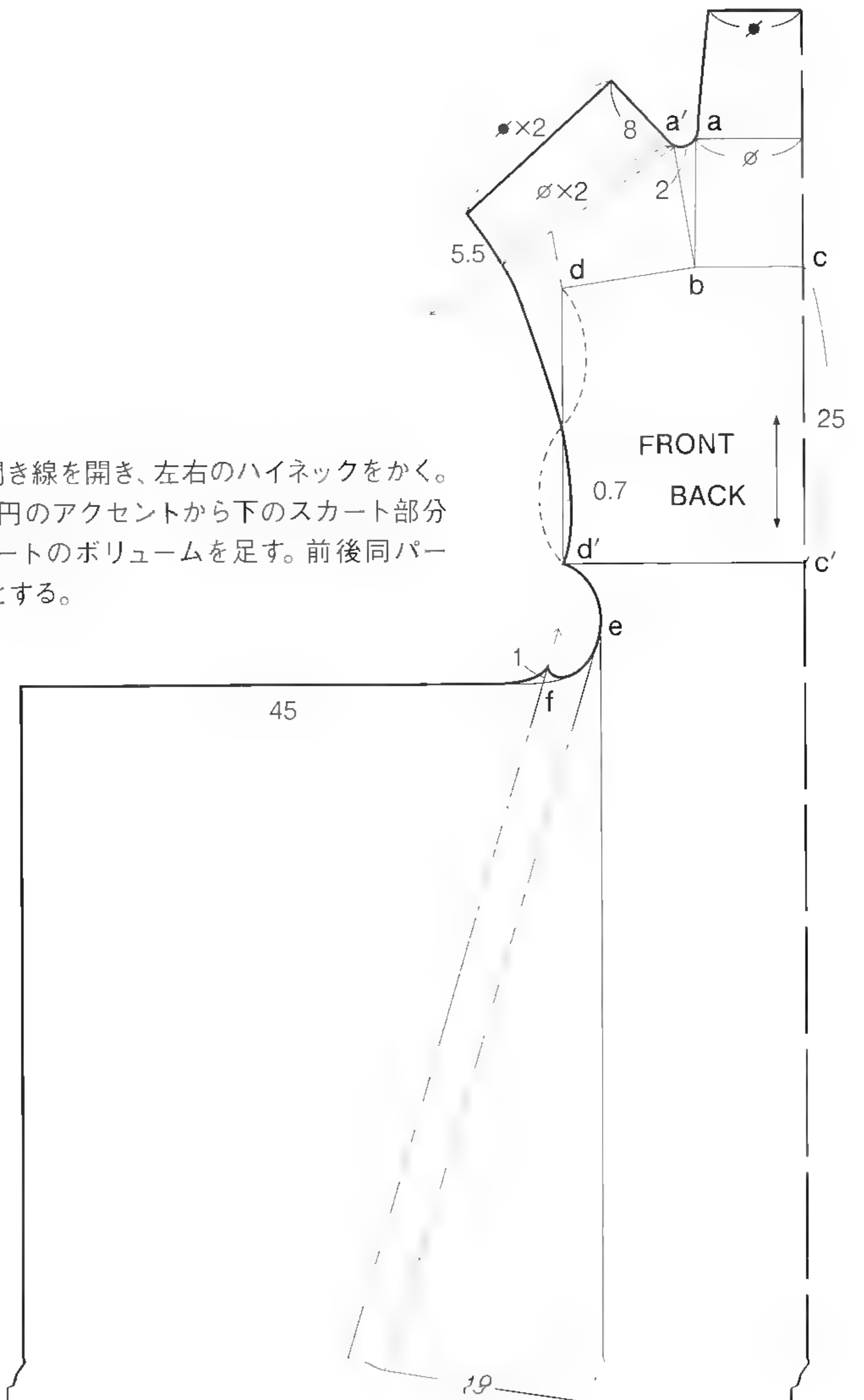


左端のハイネックに頭を入れ
脇の穴に腕を通す

アシメトリーになる。残ったハイネックが肩の上に乗り、胸のドレープと交わって、アバンギャルドな感じになる。



② 切開き線を開き、左右のハイネックをかく。脇の楕円のアクセントから下のスカート部分にスカートのボリュームを足す。前後同パターンとする。



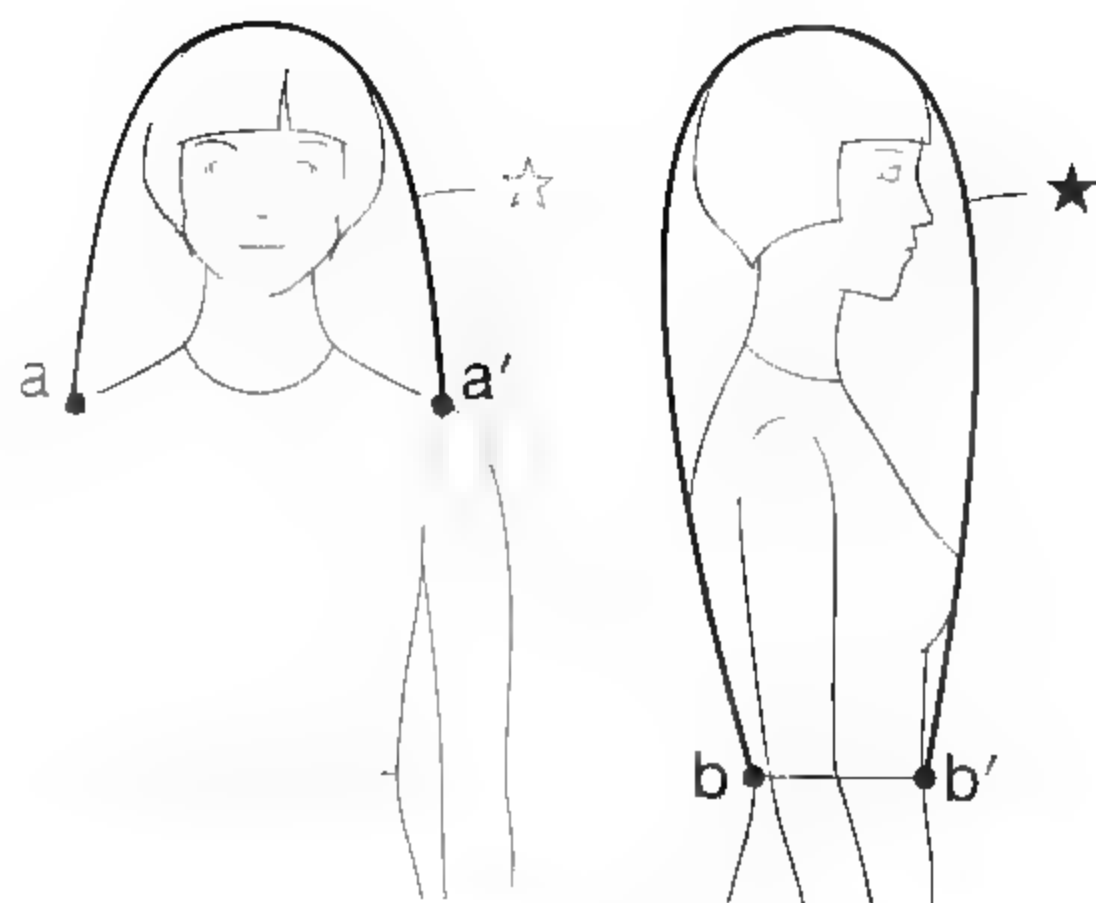
20ページ“フードシャツ”

フード？ シャツ？ どっちが主役なのか。

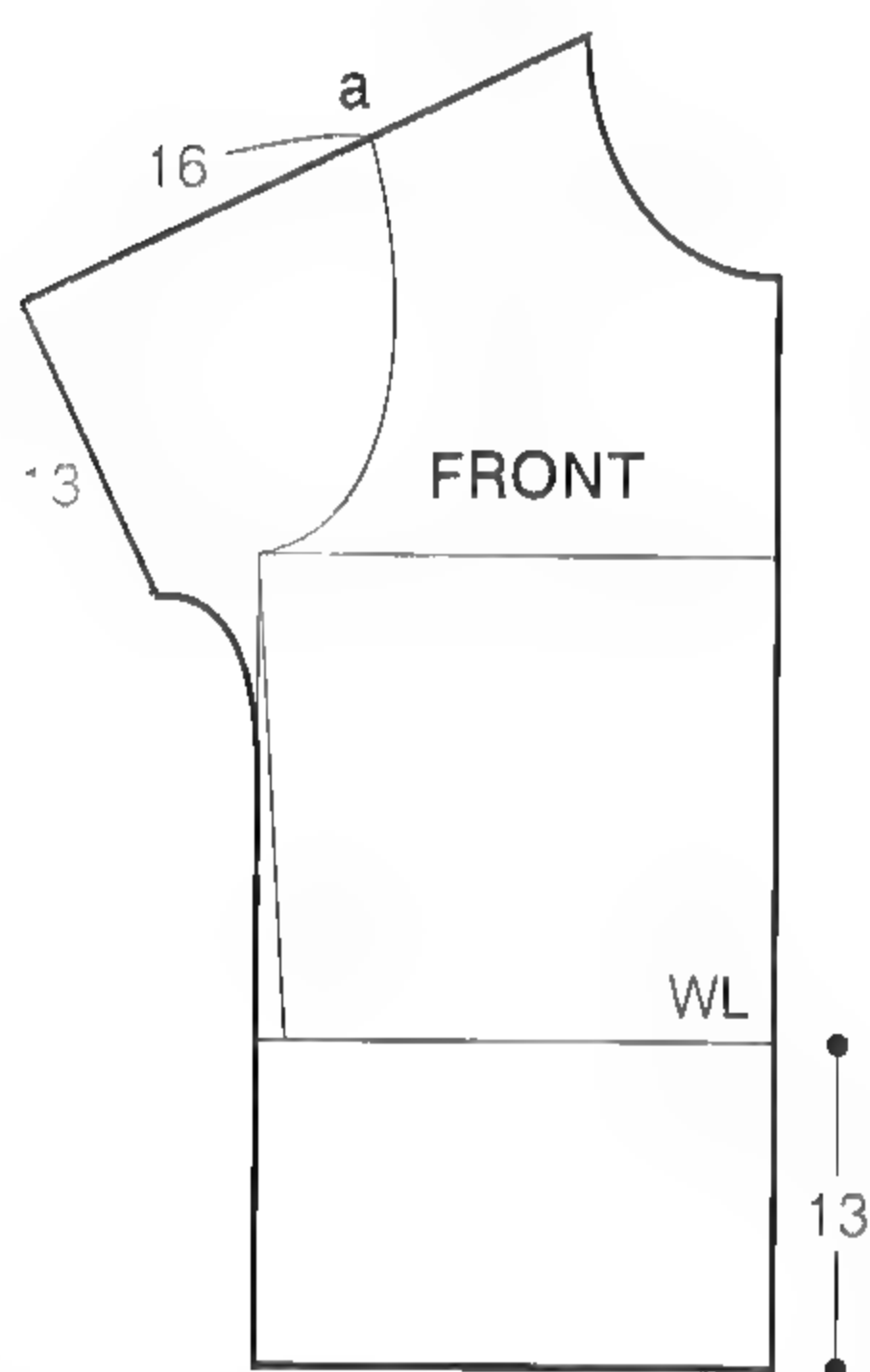
シャツと一体化したフードをかぶるとダルマさんみたいにユーモラス。

フードを脱ぐと後ろに袋のような衿ができる。

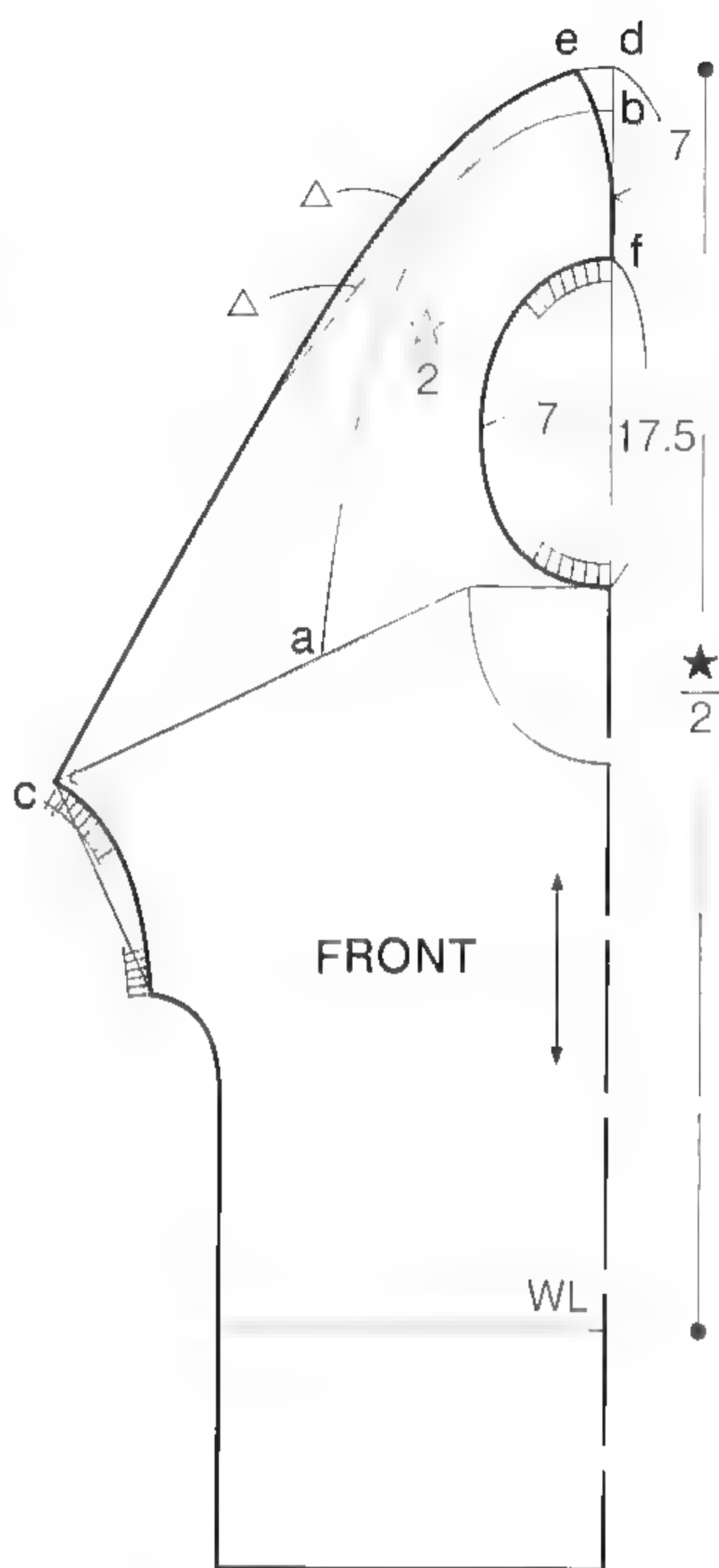




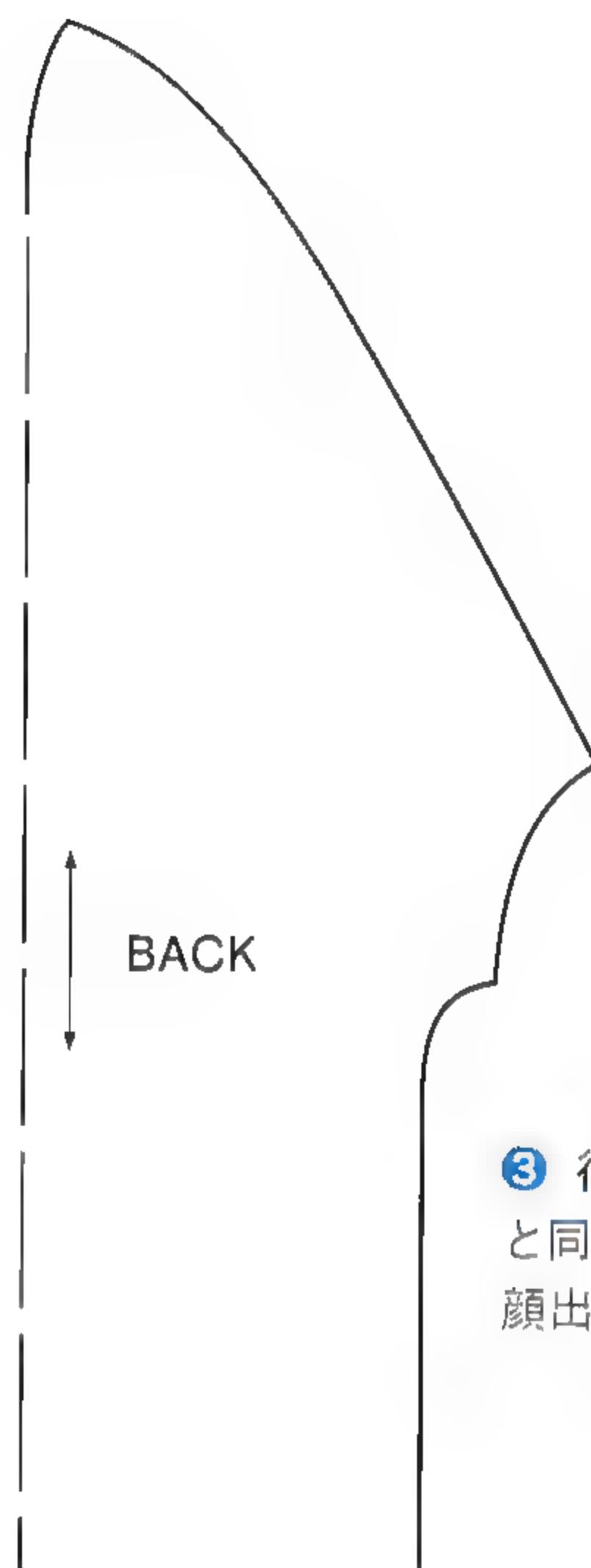
このように採寸をする。スローパーの肩
モヨから頭を通して反対の肩先a'までを
△寸法とする。ウエストライン上で後ろ中
心bから頭を通して前中心のウエストラ
インb'までを★寸法とする。



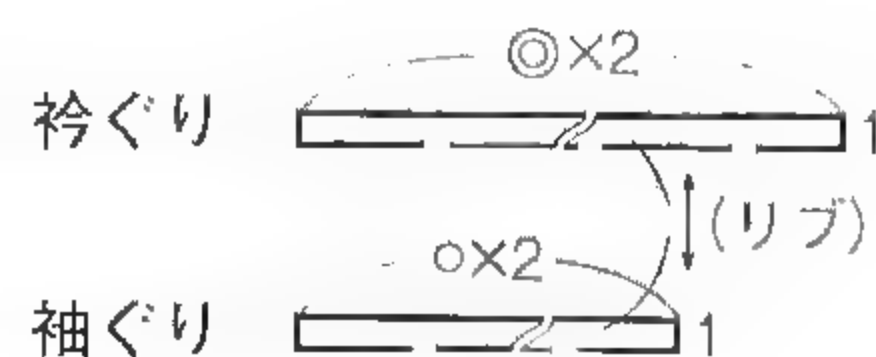
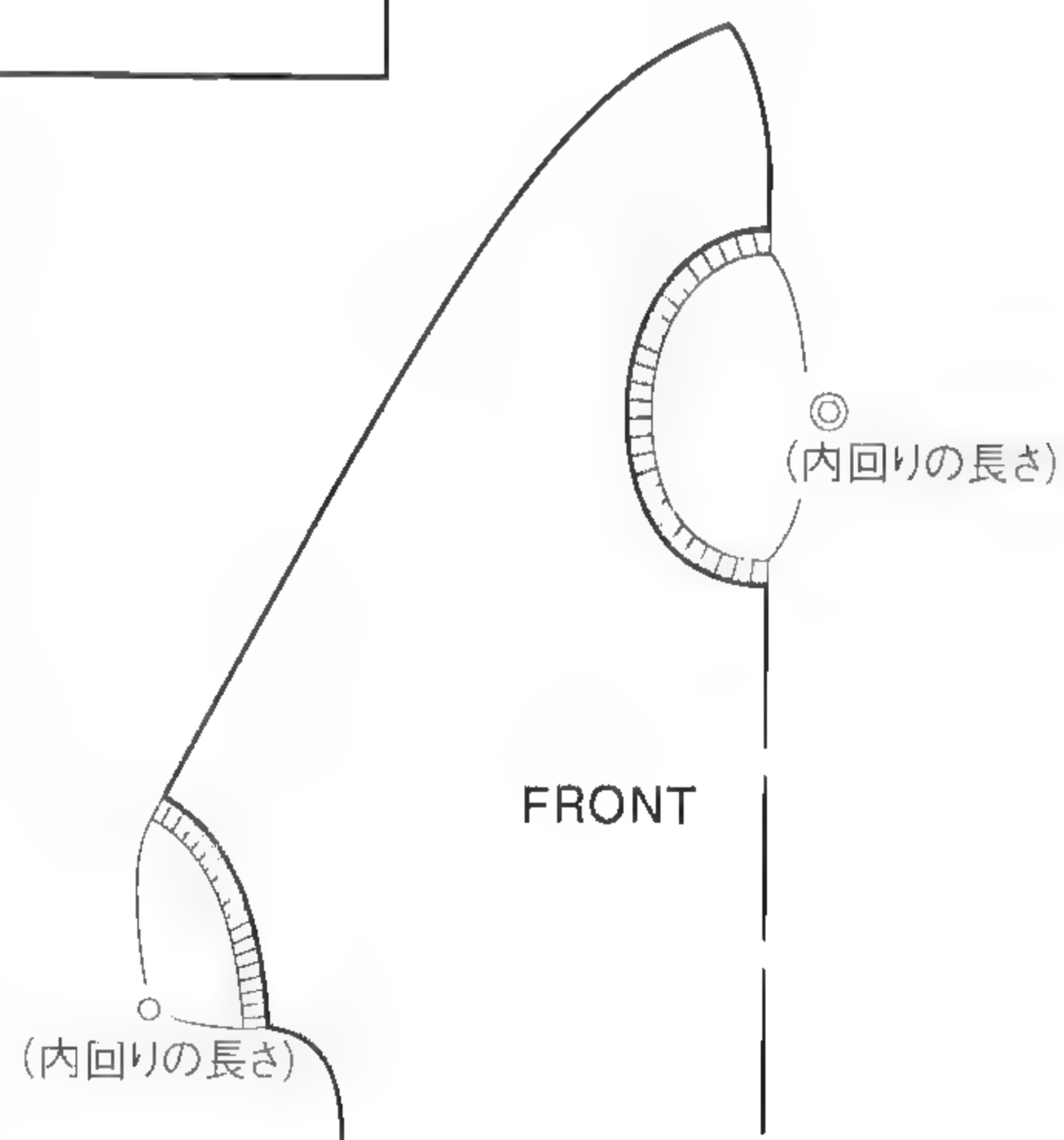
① シャツの作図をする。前スローパー
のウエストから上をかき、シャツの作図
をする。



② シャツの作図にフード部分が続けて
作図する。前中心を延長する。aから
カーブで★2寸法を前中心線にとり、
bとする。bからcに向かってカーブで
かく。b～cを△寸法とする。前中心線
上にウエストから★2寸法をとりdとす
る(b～dは約2.5cmになる)。dからカーブ
b～cにつながるようにかく。d～c線
上で、cから△寸法をとってeとする。e～
d～fはダーツとなる。顔出し口をかく。
位置や大きさは好みでよい。



③ 後ろ身頃は前身頃
と同パターンであるが、
顔出し口はない。



④ 袖口とフードの穴にリブをつける。
リブの長さは内回り寸法にする。

22ページ“パターンミステリー”

平らな布から指が生えてくる。そして指が動きだしたら……。

ミステリアスな出来事は、本や映画の世界だけじゃない、
長方形のシンプルな布からのパターンミステリー。

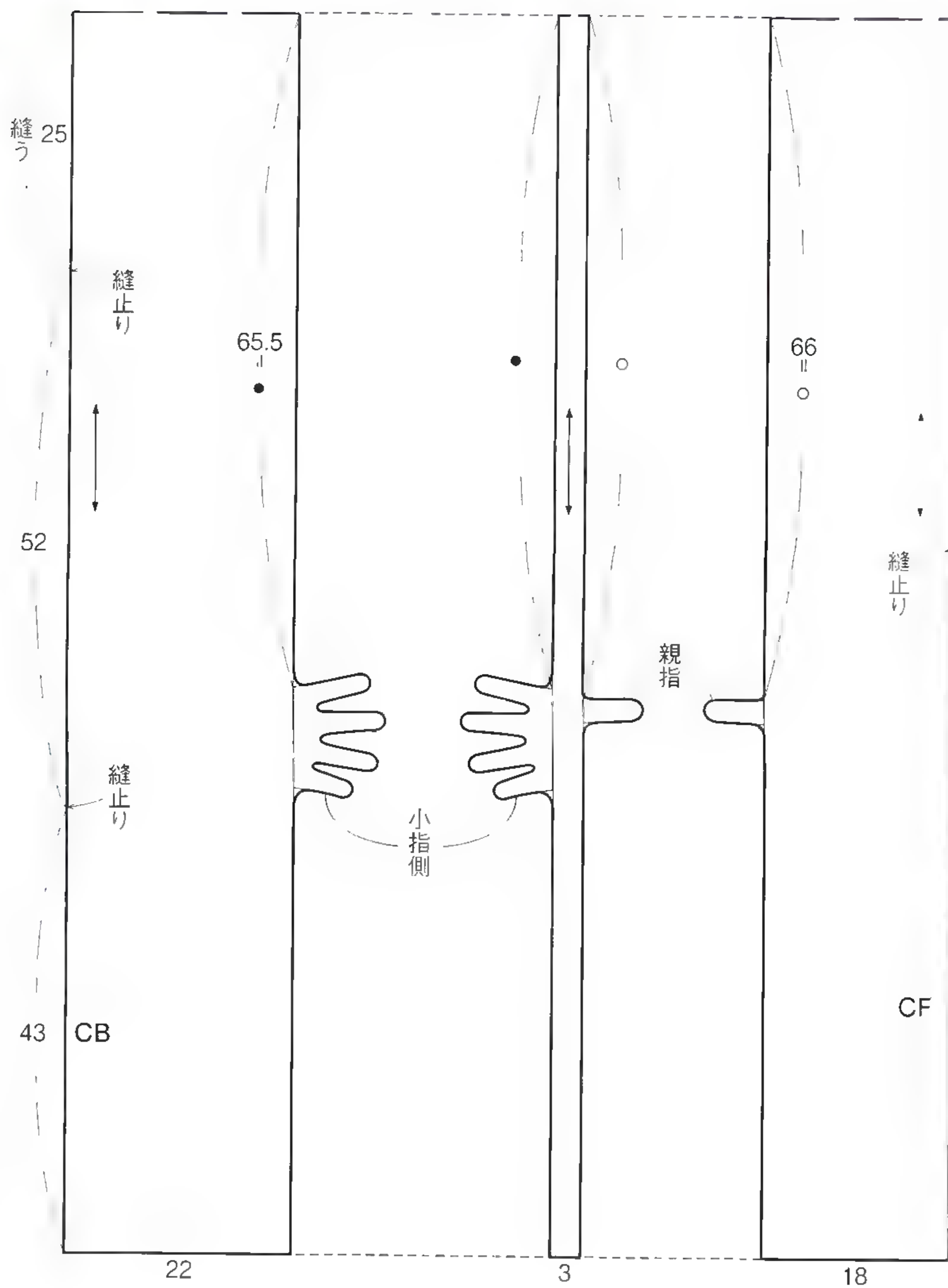


① 手の輪郭を写す。

② 手がリアルに表現できる位置でカット。

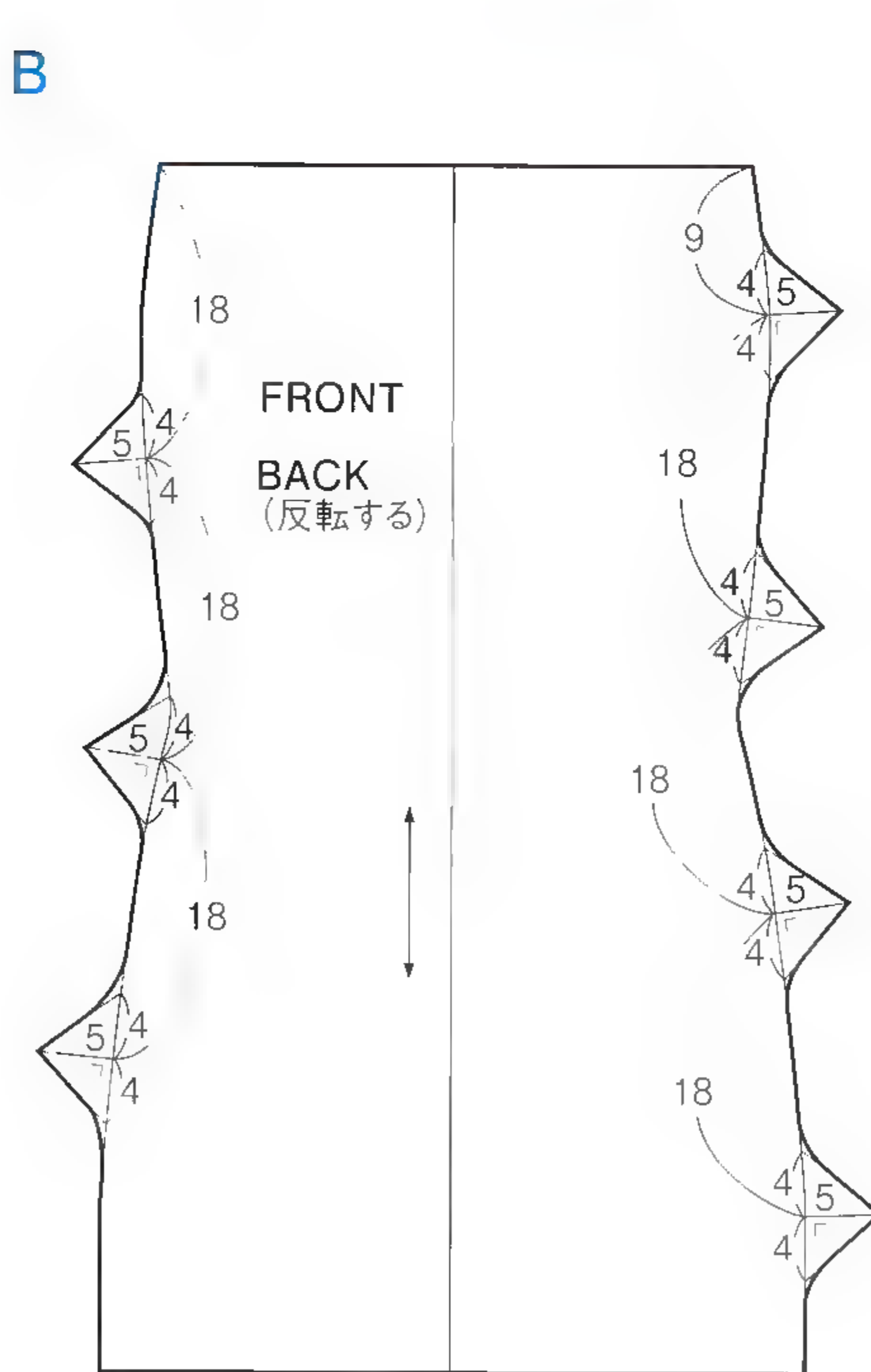
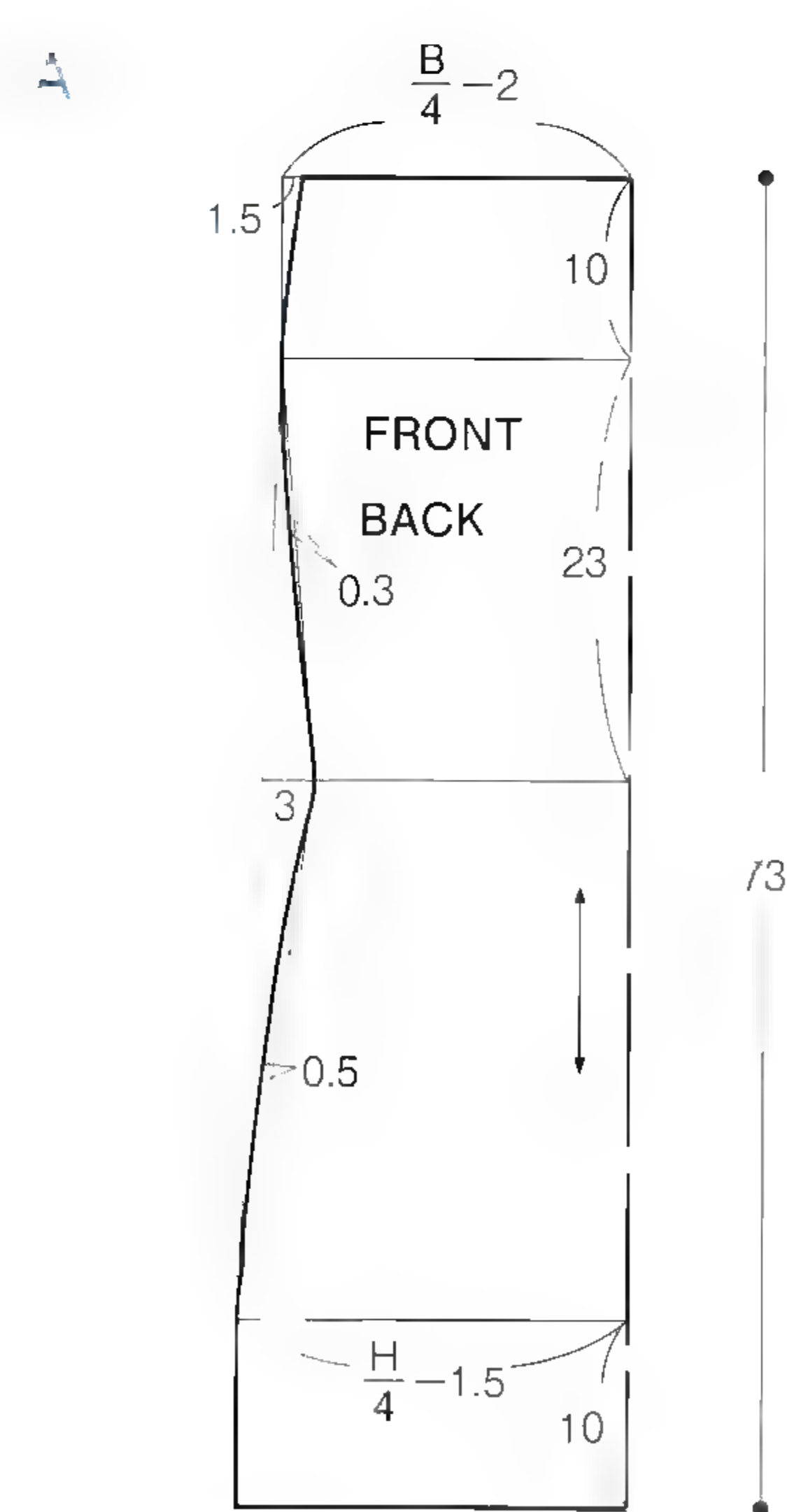
③ 指の厚み分として0.3cm外側をつながりよくかく。

④ 切替え線を利用して手を出すので、長方形に縦の切替え線を入れ、3枚のパーツに分ける。写し取った手をかき込み、縫止りをかく。



24ページ“つぶした空き缶”

- ① チューブトップを縮めて着ると、
- ② つぶした空き缶のようなドレープが。
- ③ 素材だったら
- ④ ニでのテクニックが必要なところだが、
- ⑤ 縮素材ならそのままでOK。
- ⑥ さらに脇に三角形をつけてみる。
- ⑦ するとエッジができる。
- ⑧ ちょうどエッジはシャープになる。



⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Aのパターンを左右かき、脇に三角形をかく。後ろは反転する。

PATTERN MAGIC

Part 2

自由な素材の表現力

作品を作るときは、いつもわくわくする。

本で読んだこと、旅先で心動かされたもの、

人からかけてもらった言葉、子どものころの思い出……

いろいろなものからイメージされたアイデアが、

布を使って形になって、いくつもの服へと

つながっていくときはうれしい。

伸縮素材の服は、作り手の気持ちにそっていく

やわらかな表現力があると思う。

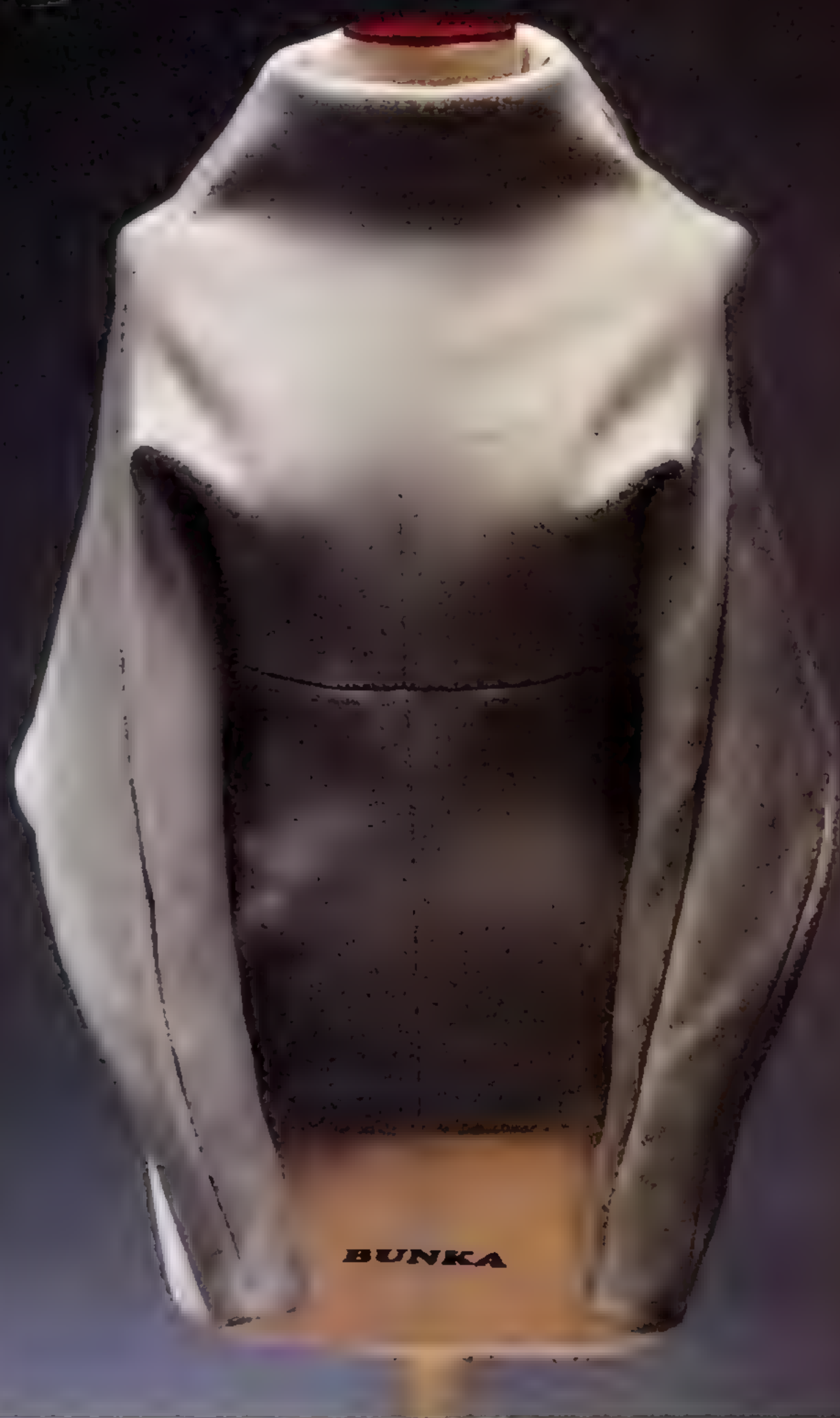
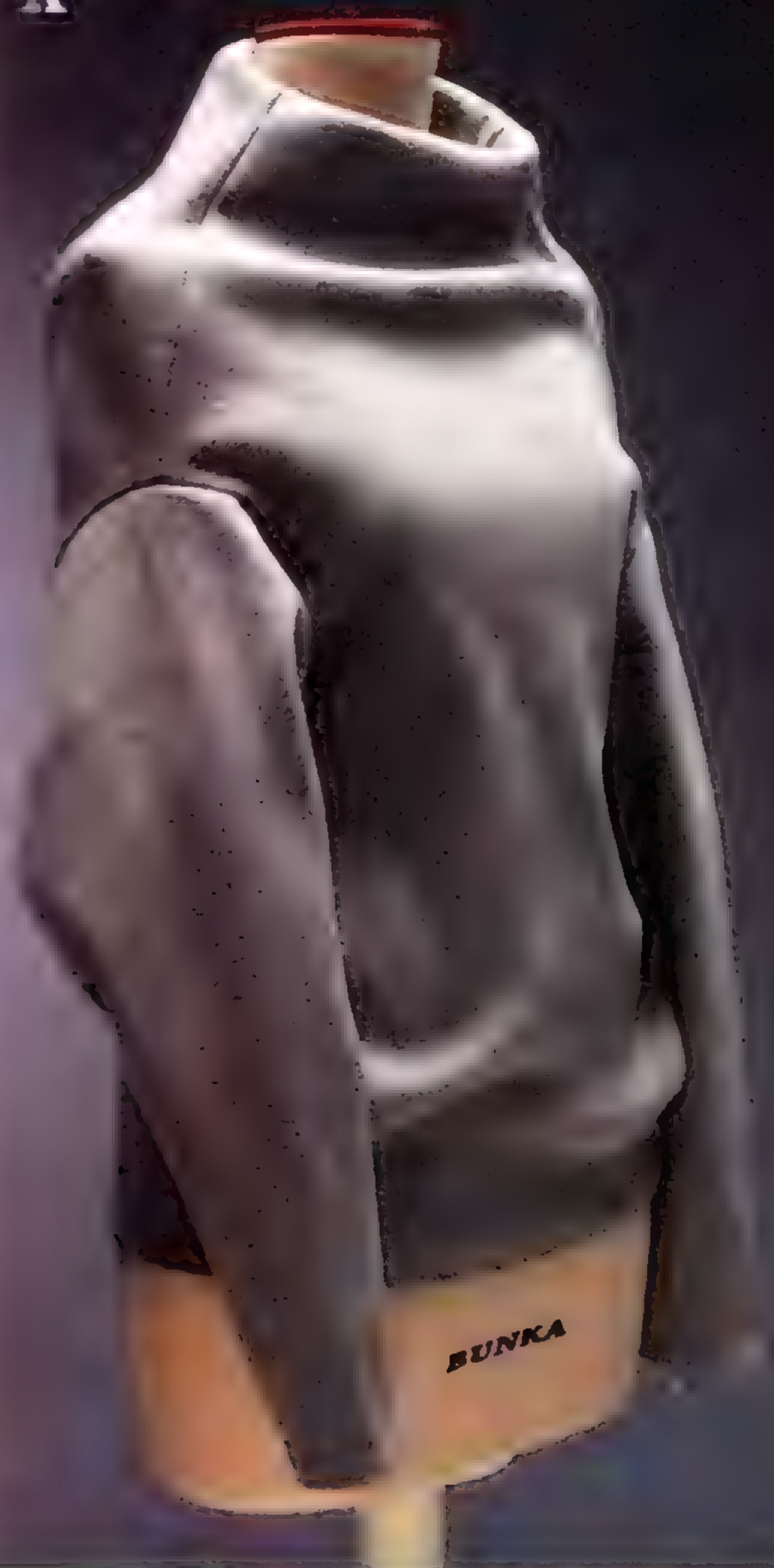
自由な表現の立体を平面のパターンに置き換えるのは、

パズルを解いたときのような達成感がある。



A

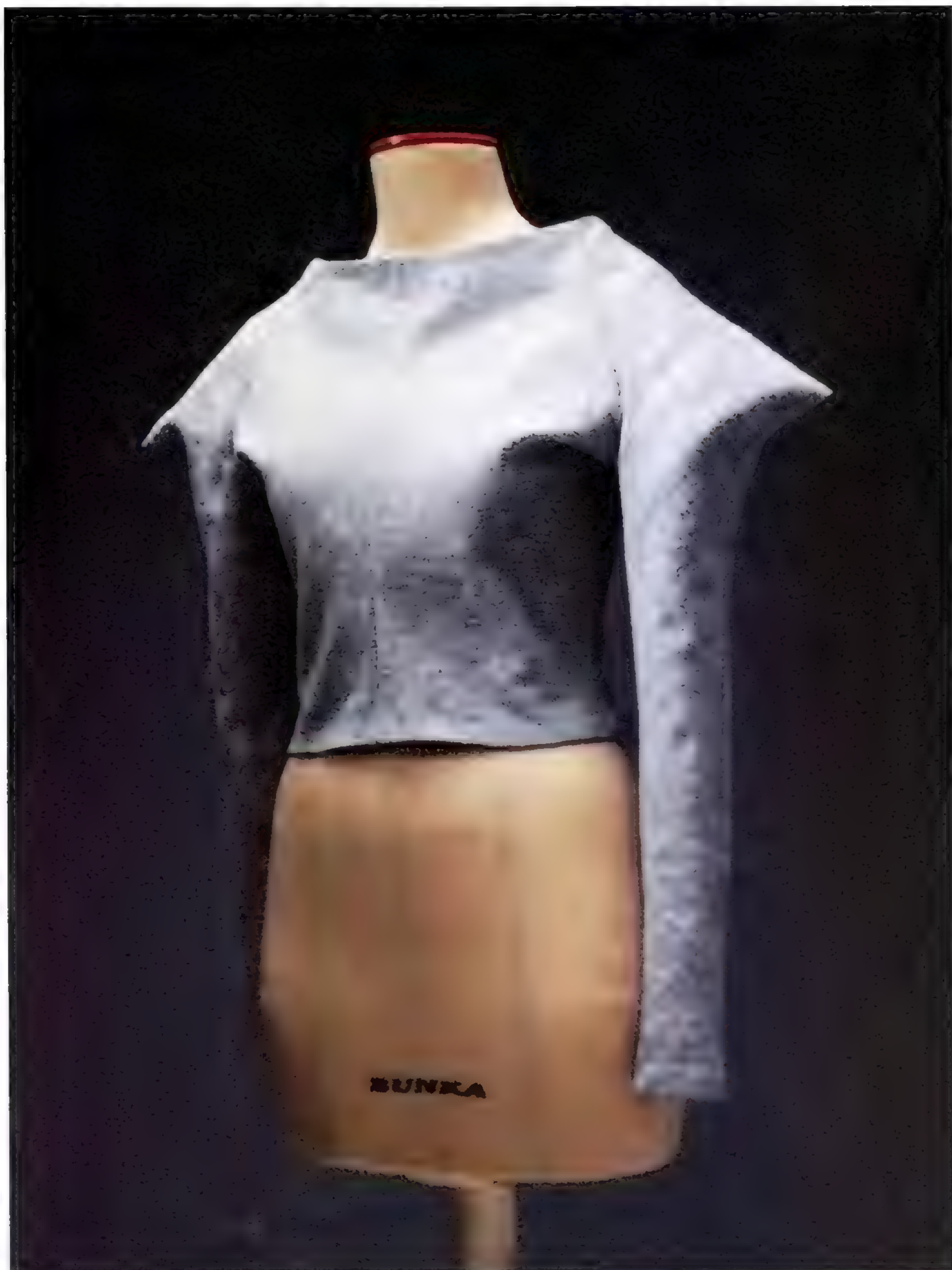
B











りんごの皮 A

解説75ページ

















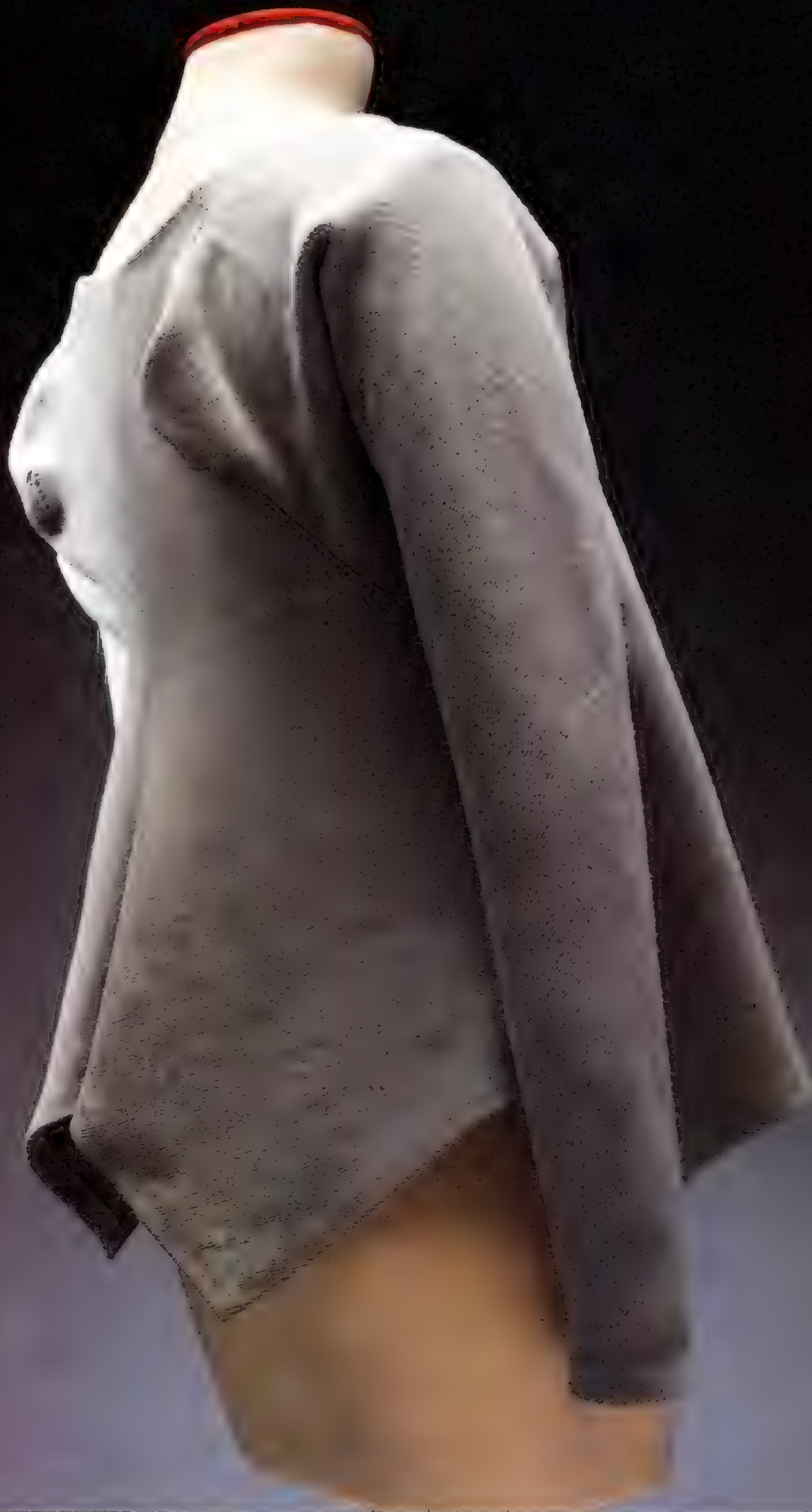






直線と曲線 B

解説90ページ









PATTERN MAGIC

“自由な素材の表現力”の
パターンを作る



45ページ“ルーツ”

複雑な形でも、少しずつひもといていくと、一つの単純な形に出会うことがある。

逆に単純な形からさまざまな形へと変化していくこともある。

服作りの過程も同じことが言える。

考え、工夫して少しずつおもしろいもの、より複雑で高度なものになっていく。

まず、バレルのような形から始めることにする。

ルーツ原型



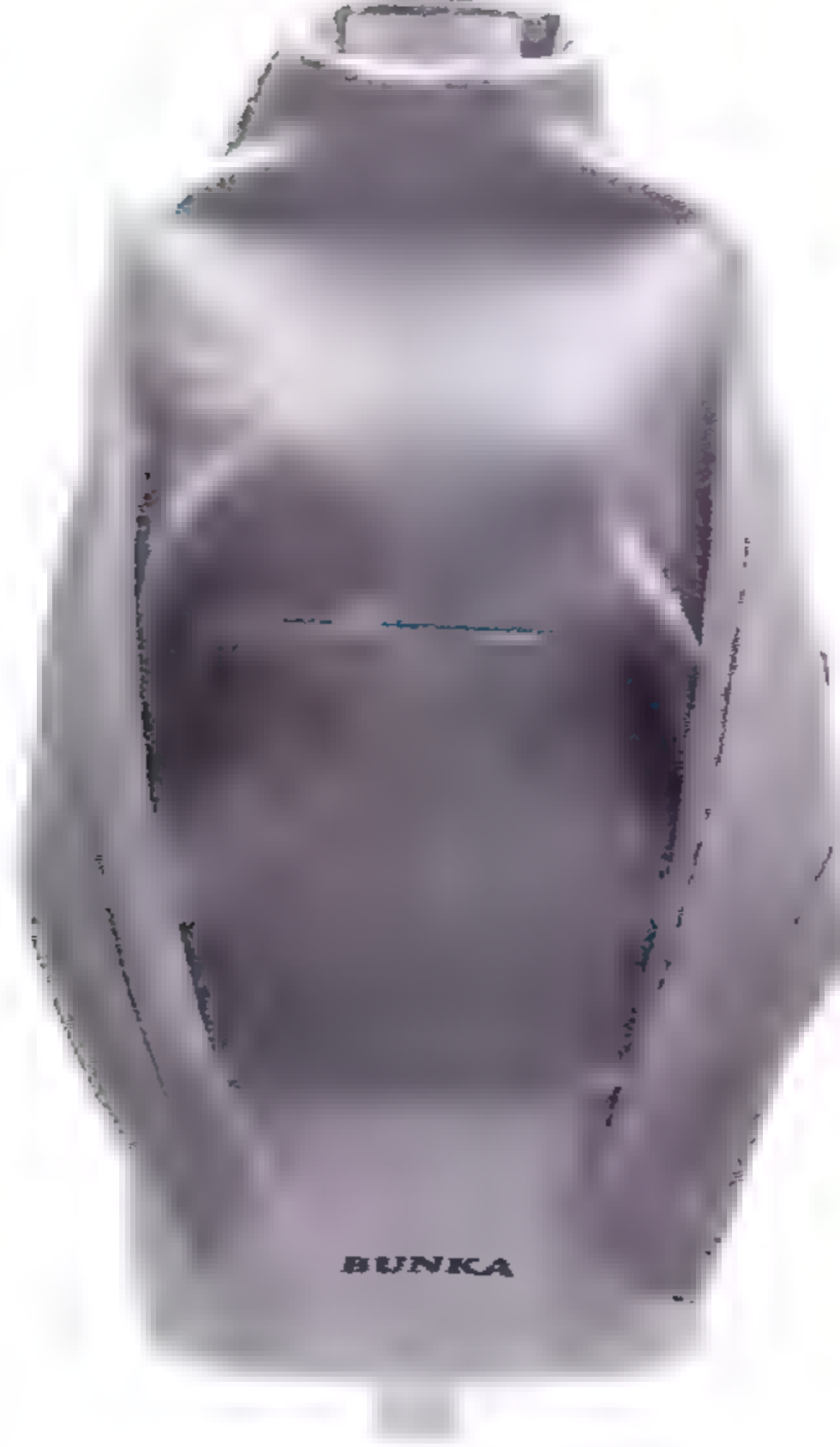
ルーツA



ルーツA

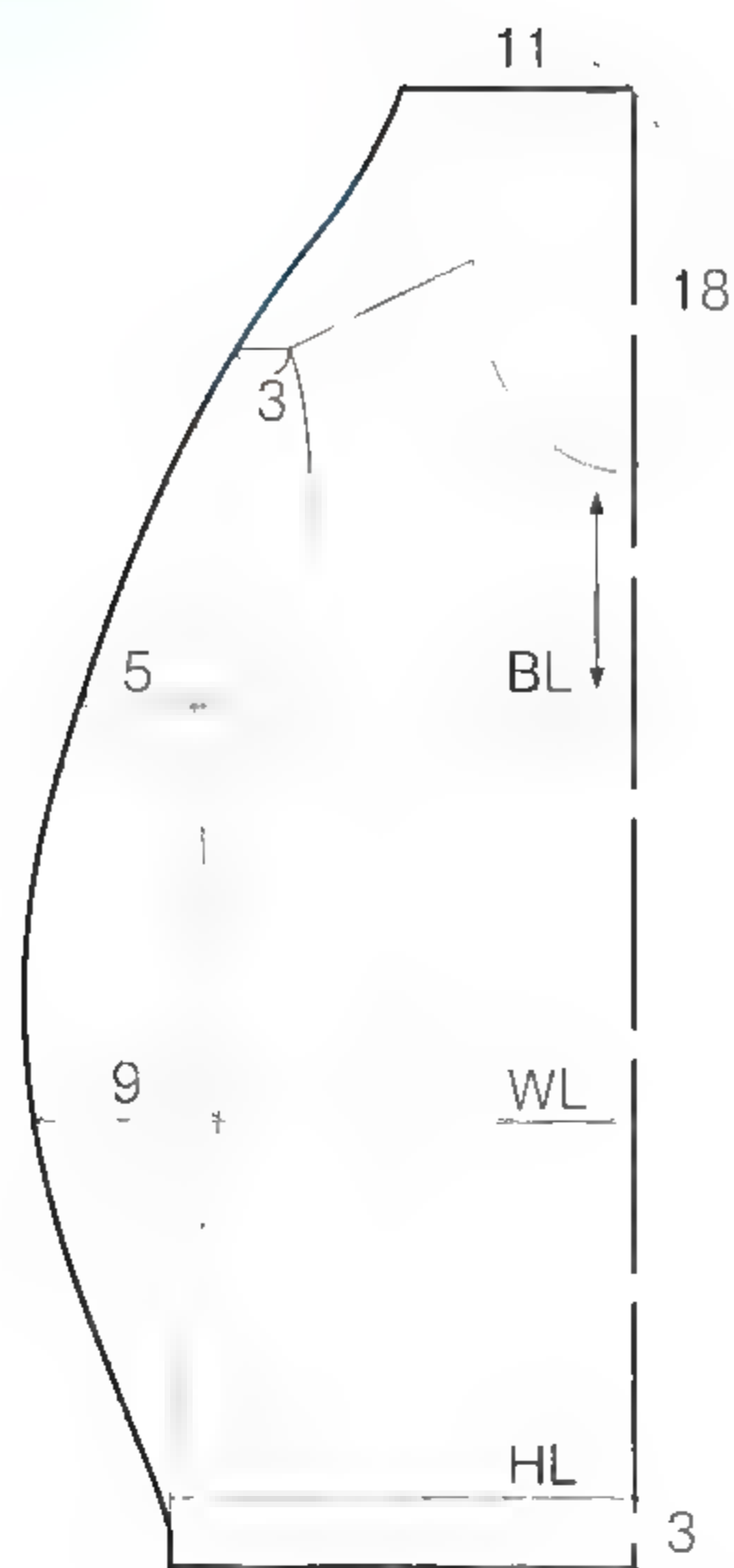


ルーツB



ルーツAの身頃と袖に切替え線を入れる。

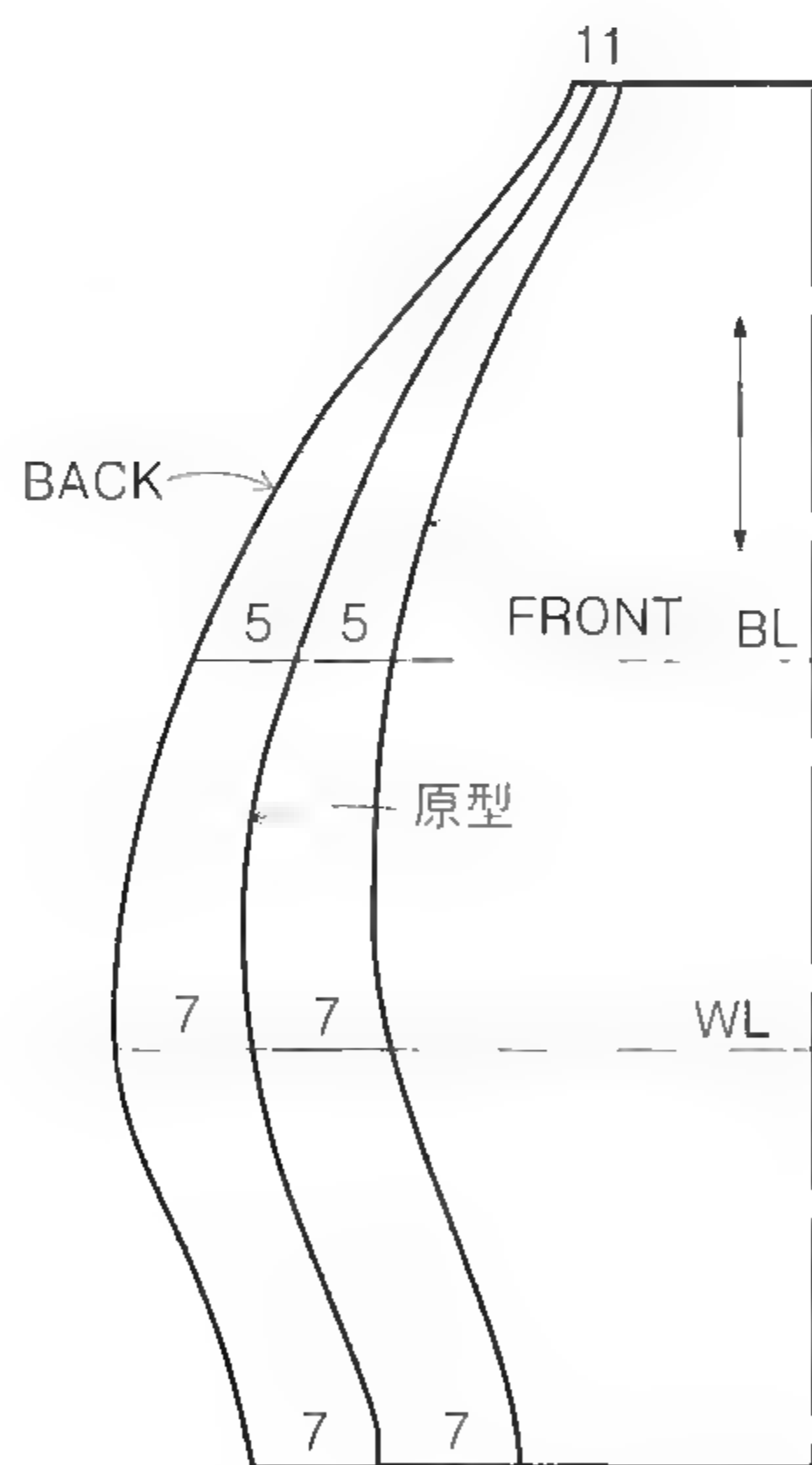
ワンピース原型



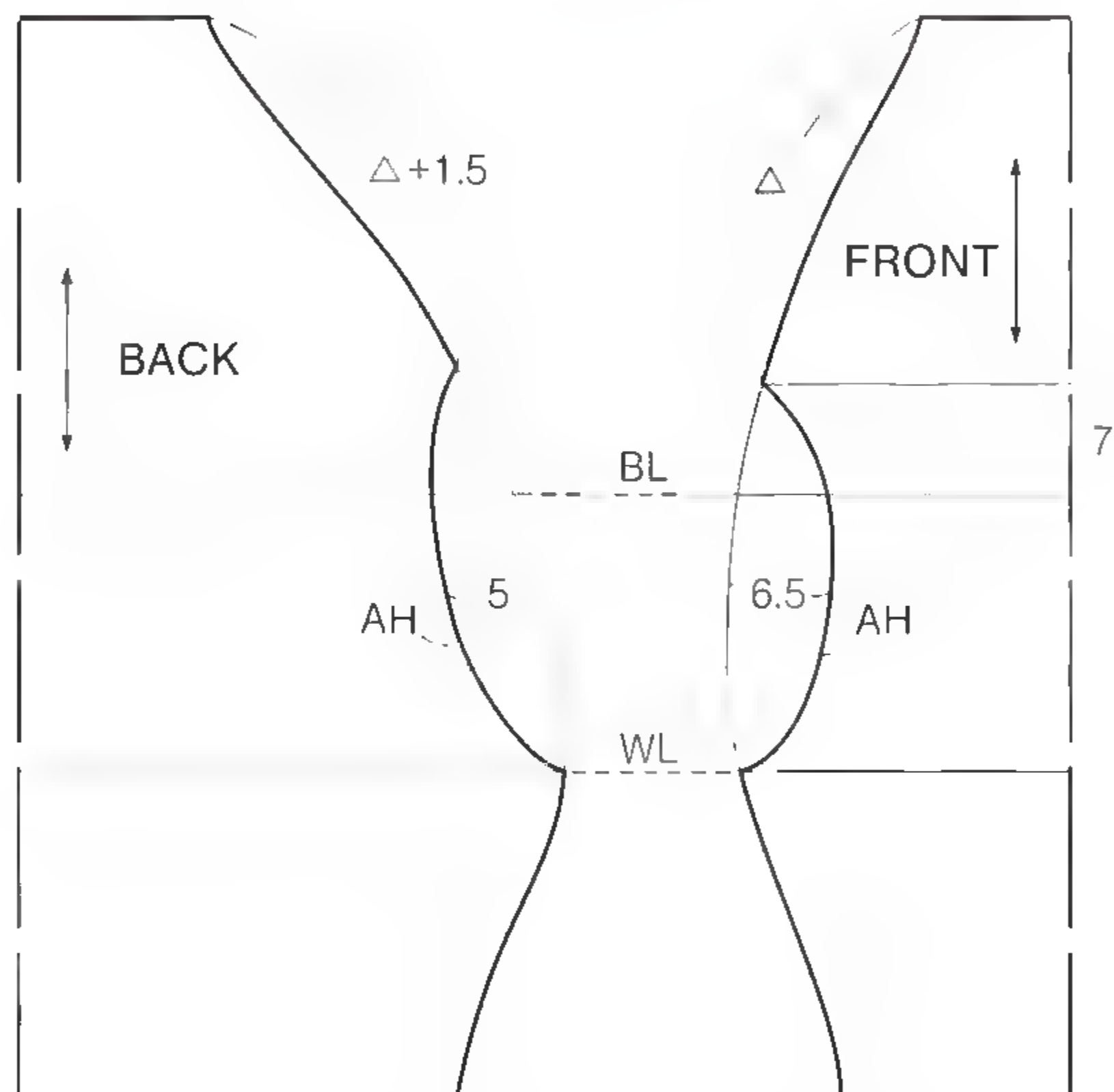
ワンピースのヒップから上をかく。バレル形の、前後2枚で構成する。

ワンピースA

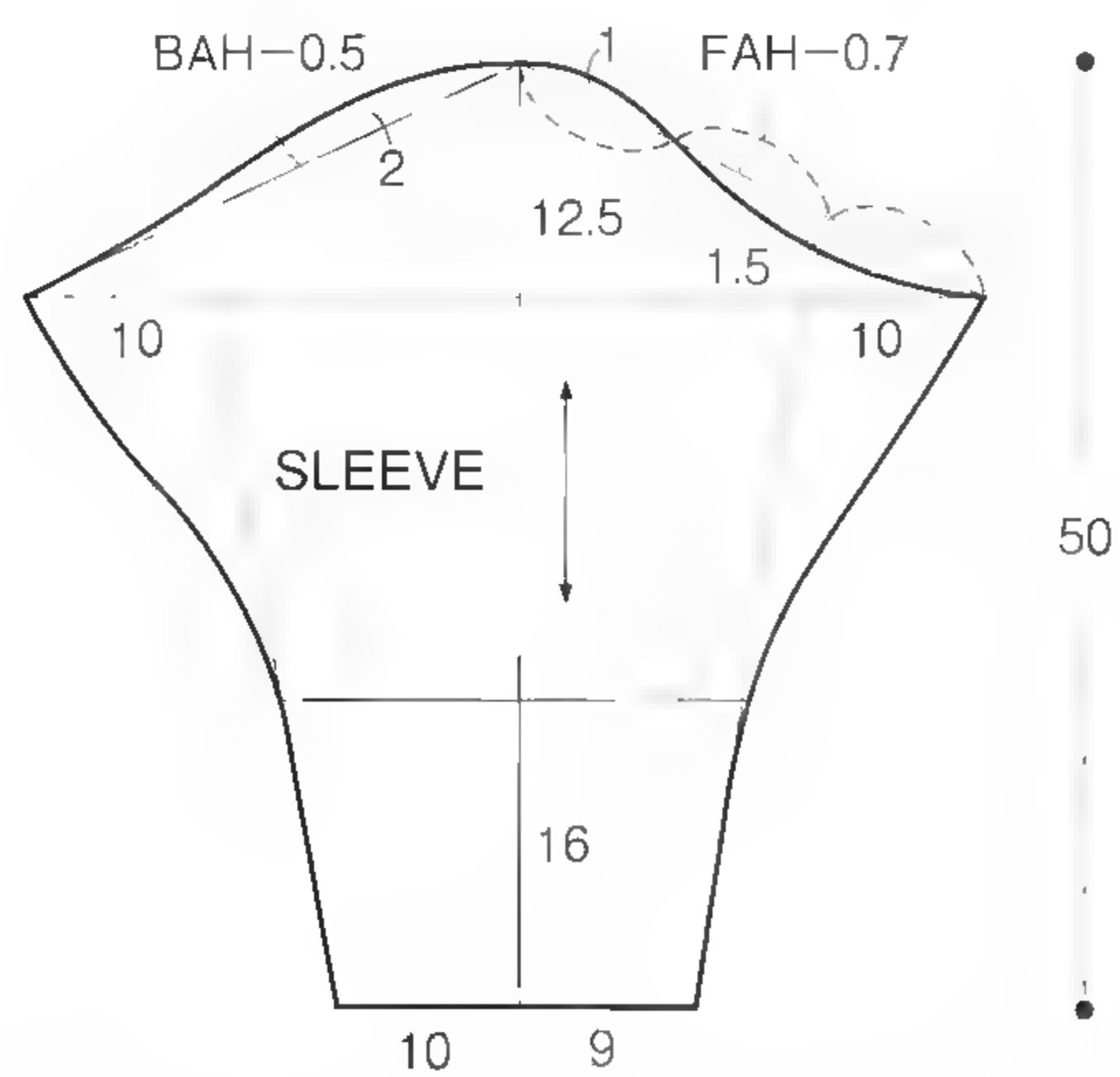
① 脇の切替え線を水平に移動し、シャツスリーブをつける。
② ぴったりと前につき、後ろにたっぷりゆとりのあるシルエット。



① ワンピース原型をかく。脇の切替え線を前身頃は内側に、後ろは外側に移動する。



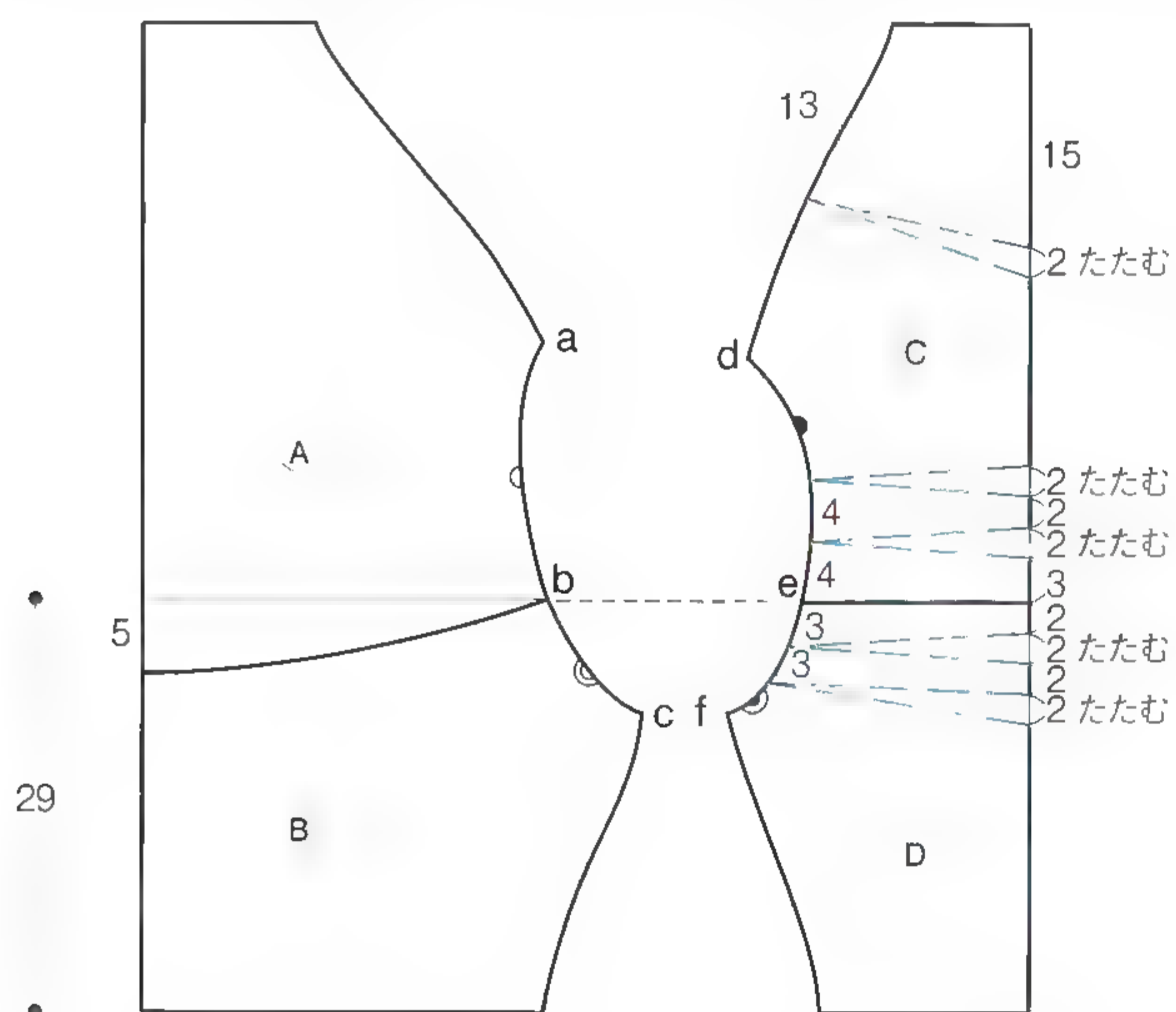
② 後ろ身頃は、反転してかく。ウエストラインから上にアームホールをかく。



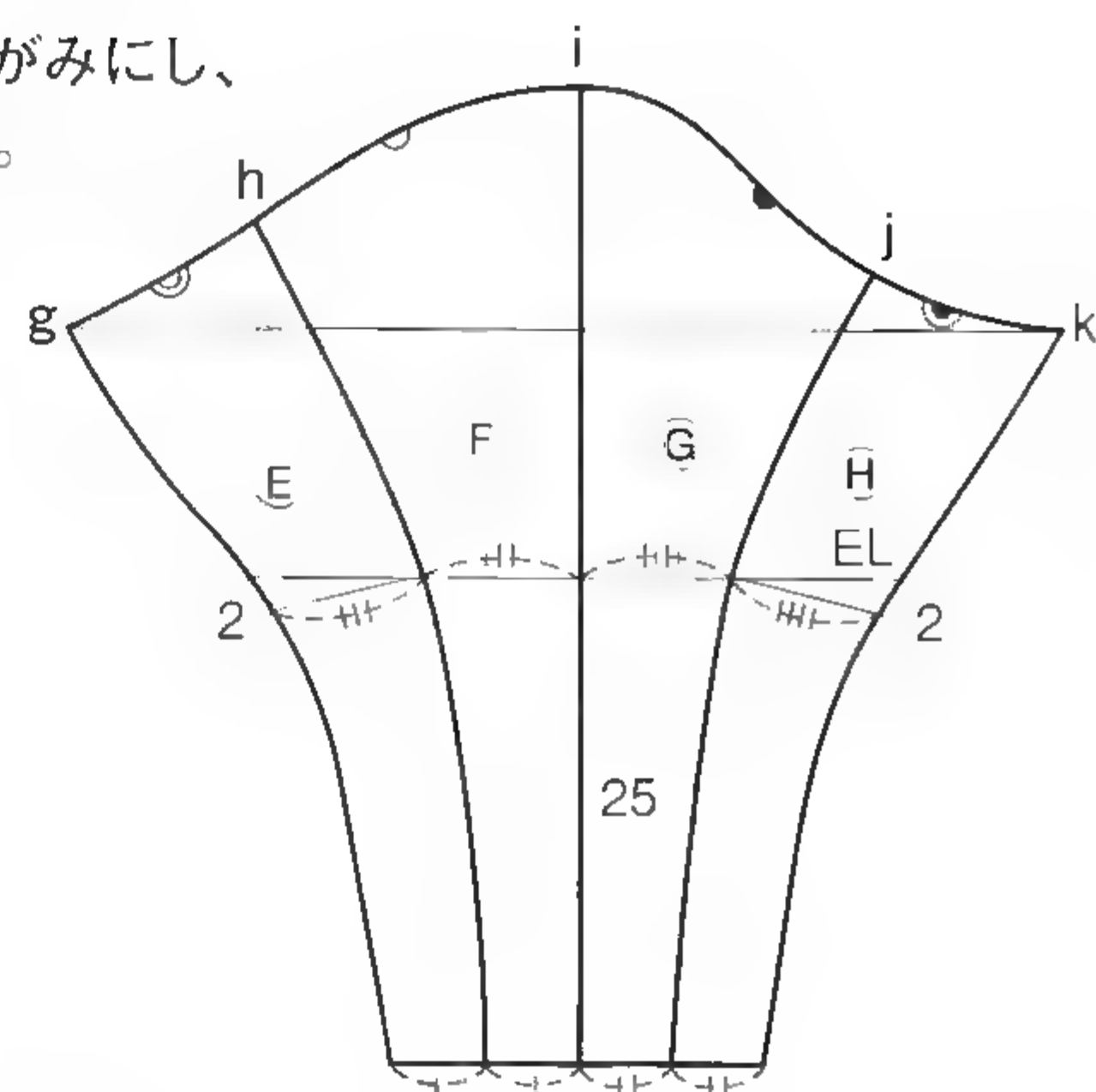
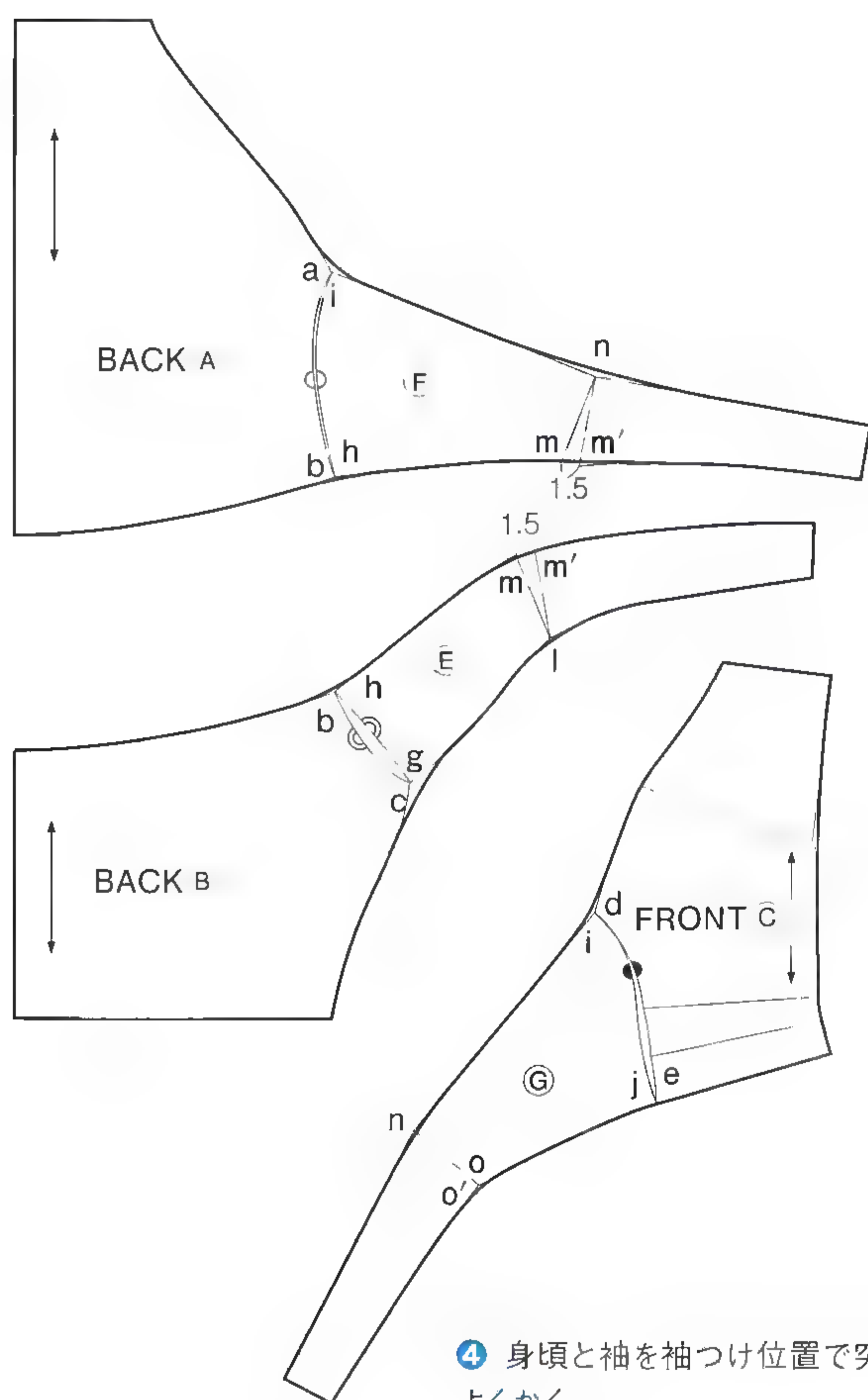
③ シャツスリーブの作図をする。袖山はアームホールと同寸法になる。

ルーツ B

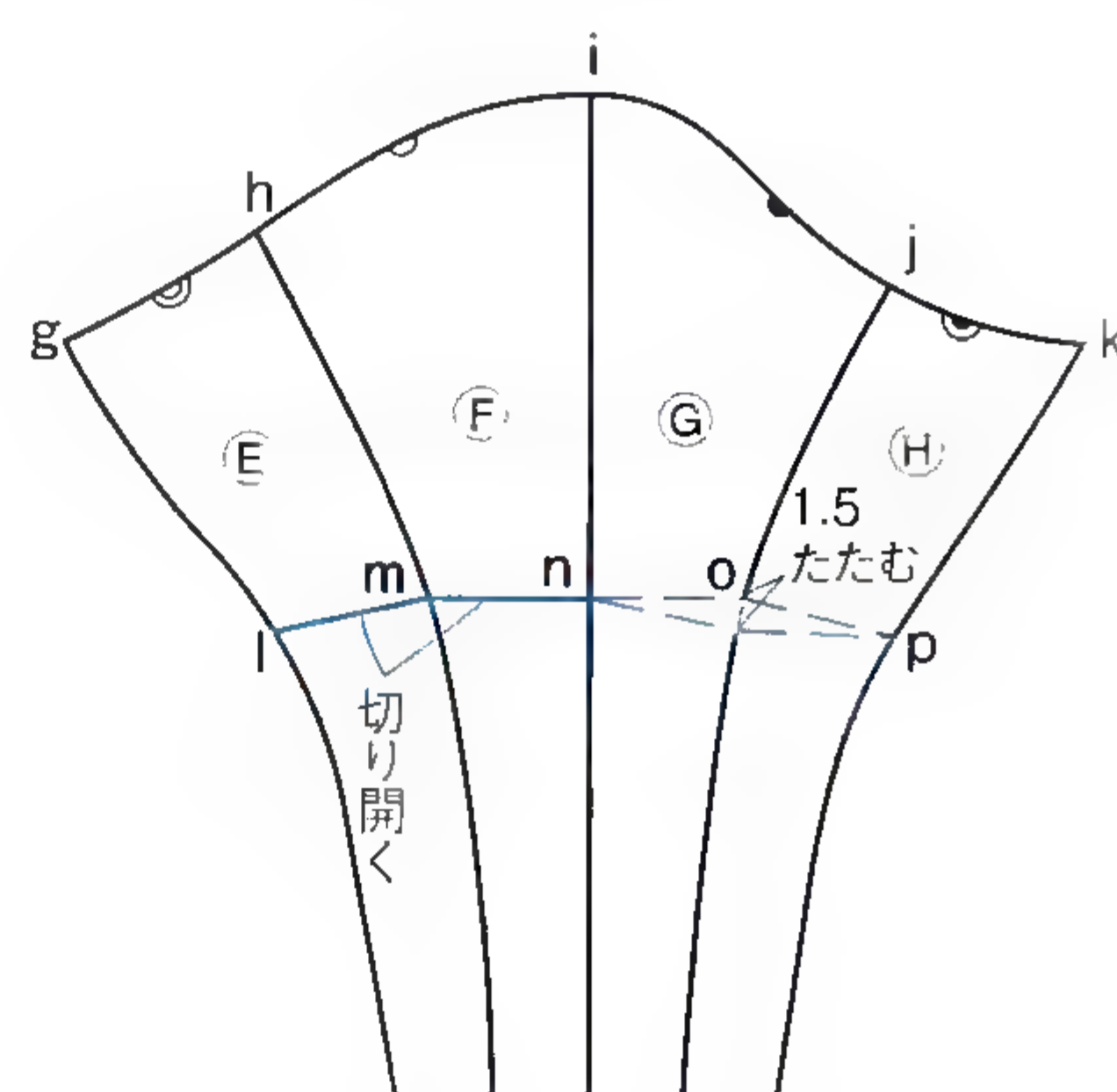
ルーツAの身頃から袖にかけて切替え線を入れる。前身頃をたたんで前かがみにし、袖は肘ぐせを入れ、より亀のようなシルエットにする。身頃と袖をつなげる。



- ① ルーツAをかく。横の切替え線を入れ、前後身頃を①②③④に分ける。前かがみのシルエットを作るため、前中心をたたく。



- ② 袖山に切替え線によって分けた袖ぐり寸法を写す。
袖に縦の切替え線をかき、E・F・G・Hに分ける。



- ③ エルボーライン上で肘ぐせをとる。

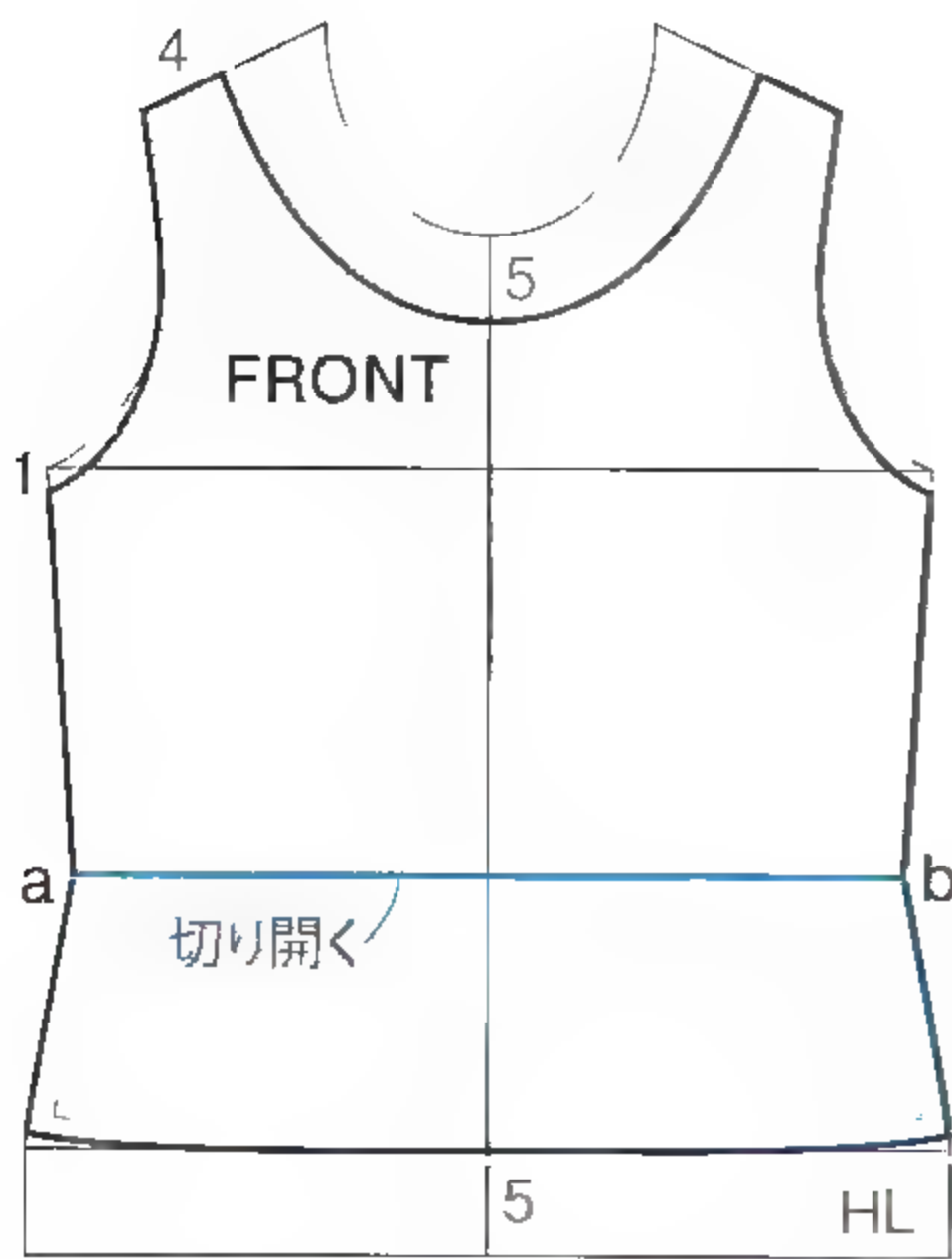


- ④ 身頃と袖を袖つけ位置で突き合わせ、つながりよくかく。

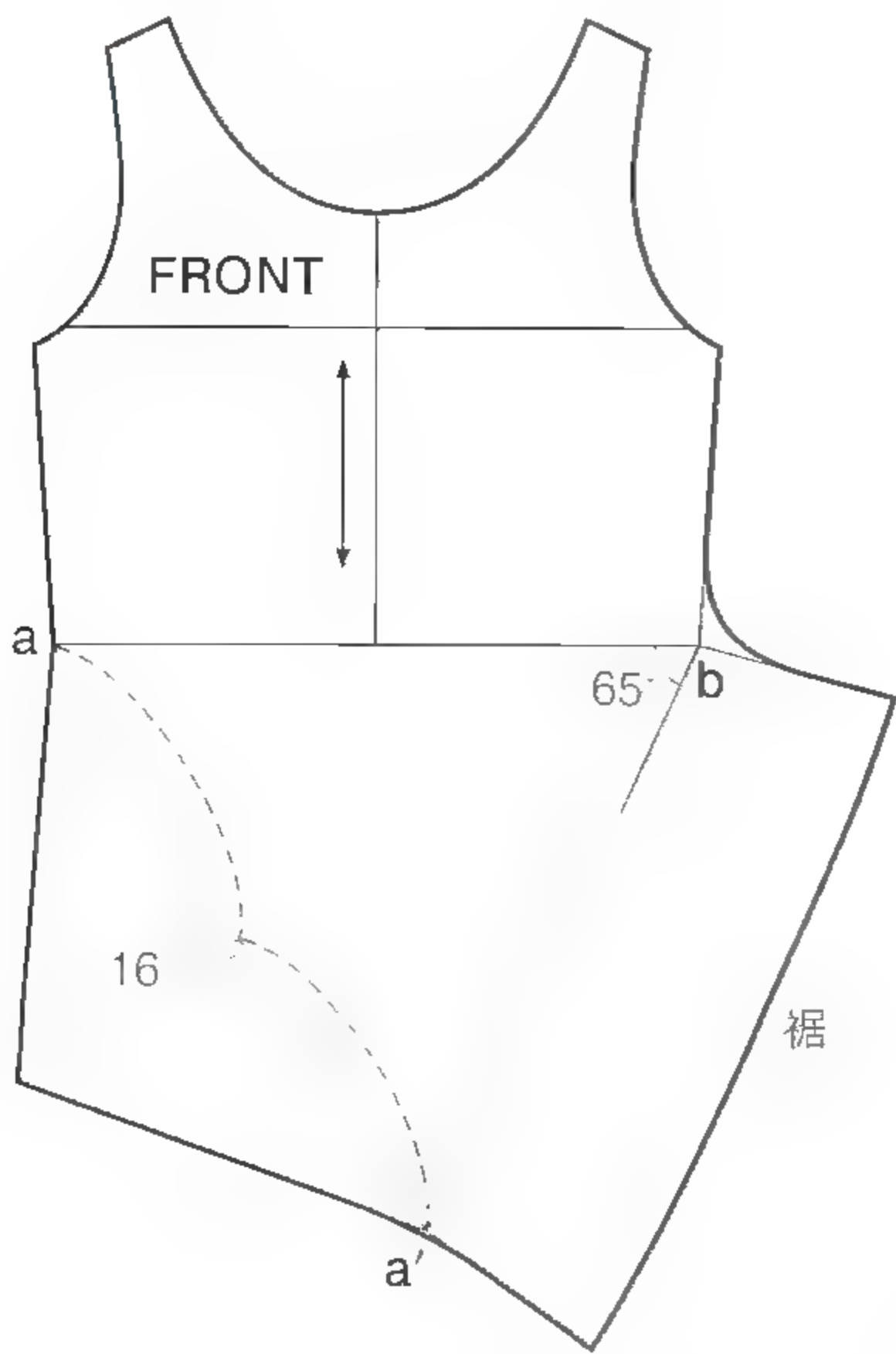


46ページ”トゲトゲA”

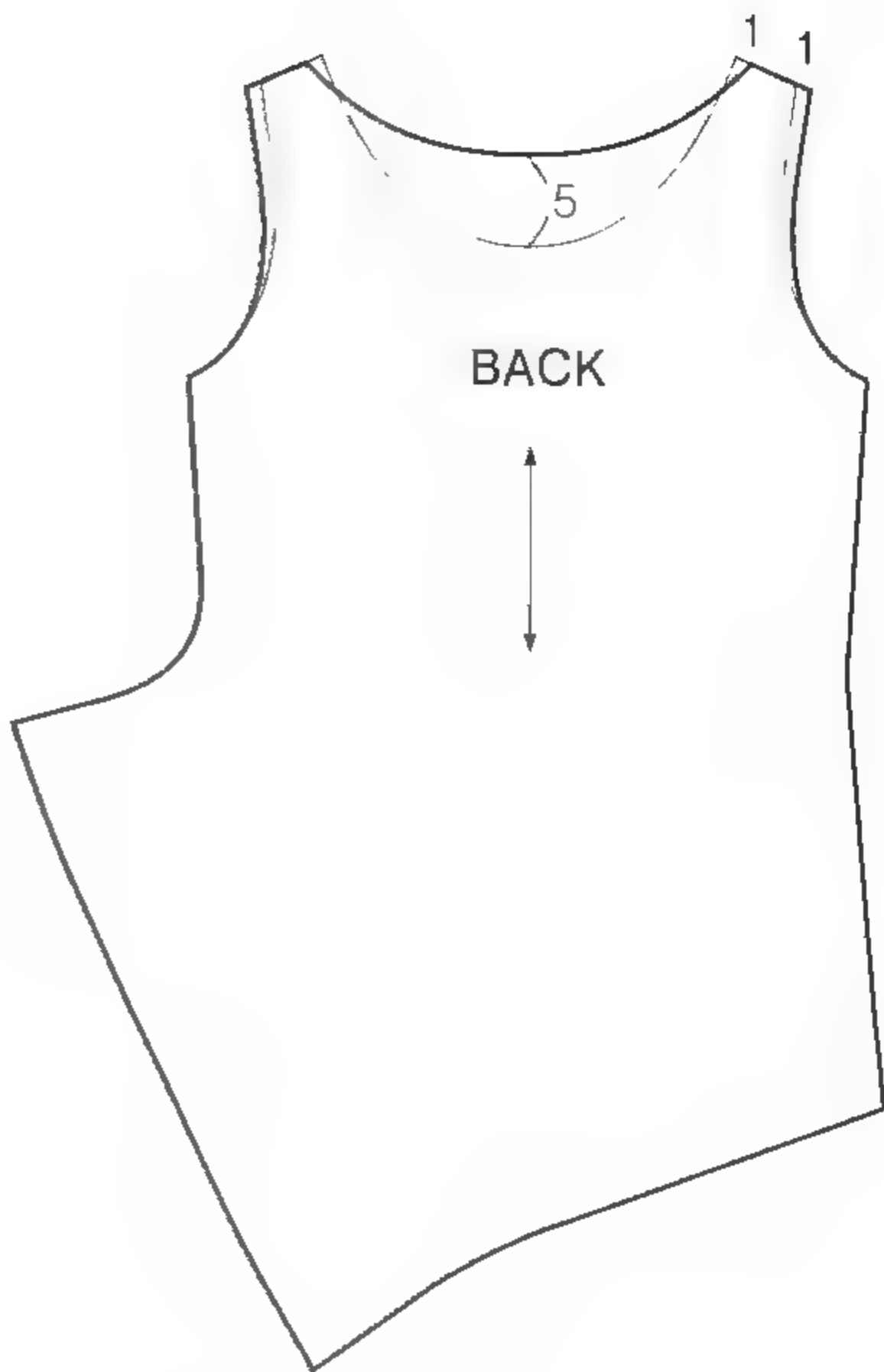
パターンを切り開いて、
そこから三角形のトゲを一つ出してみた。
伸縮素材でボディをフィットさせるから
トゲがきりっと突き出るように見える。



① 前スローパーのヒップラインから上をかき、身頃の作図をする。切開きの位置をかく。



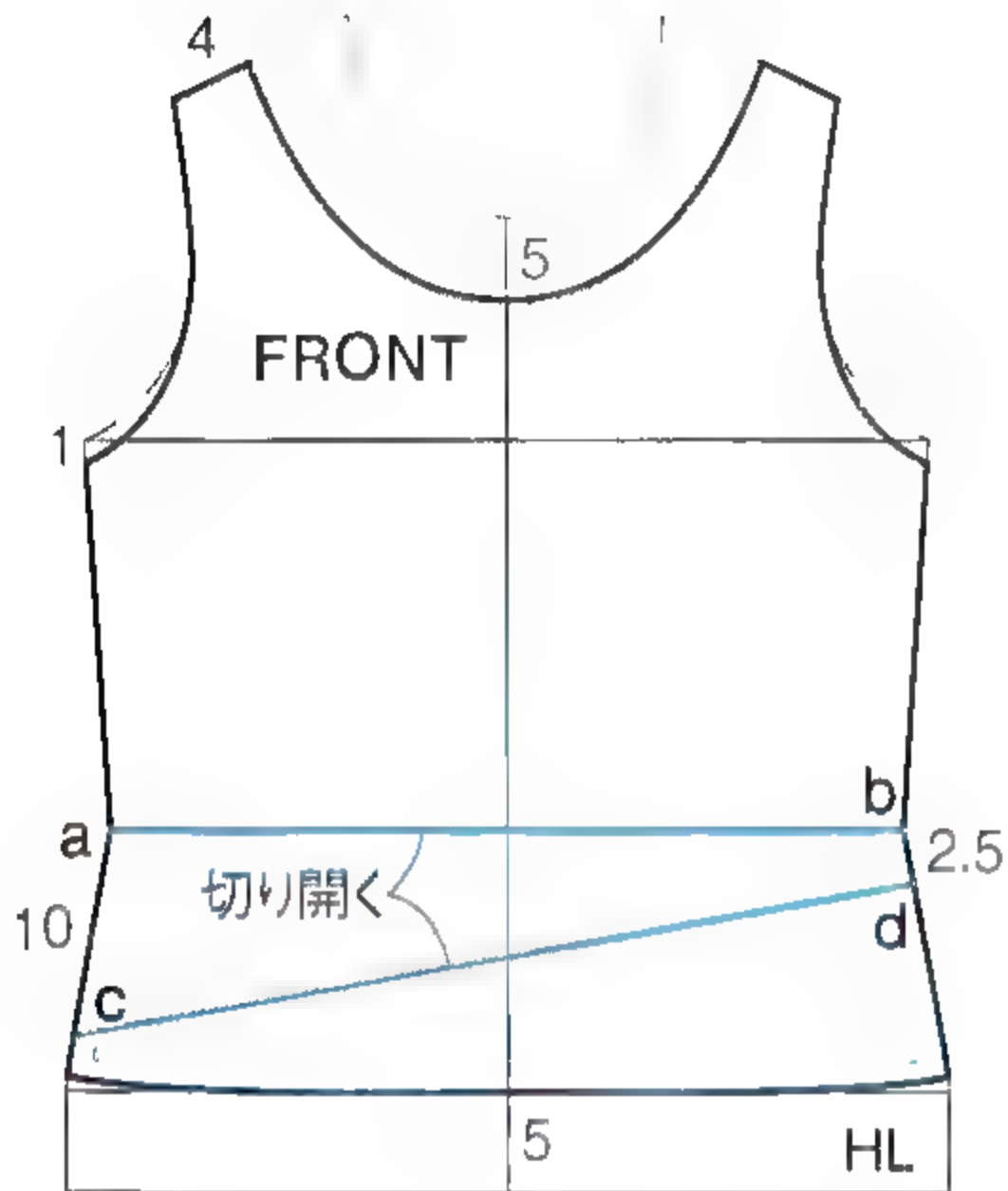
② bを基点として65度切り開く。a～a'を底辺とした二等辺三角形をかく。着用するとこれがトゲになる。



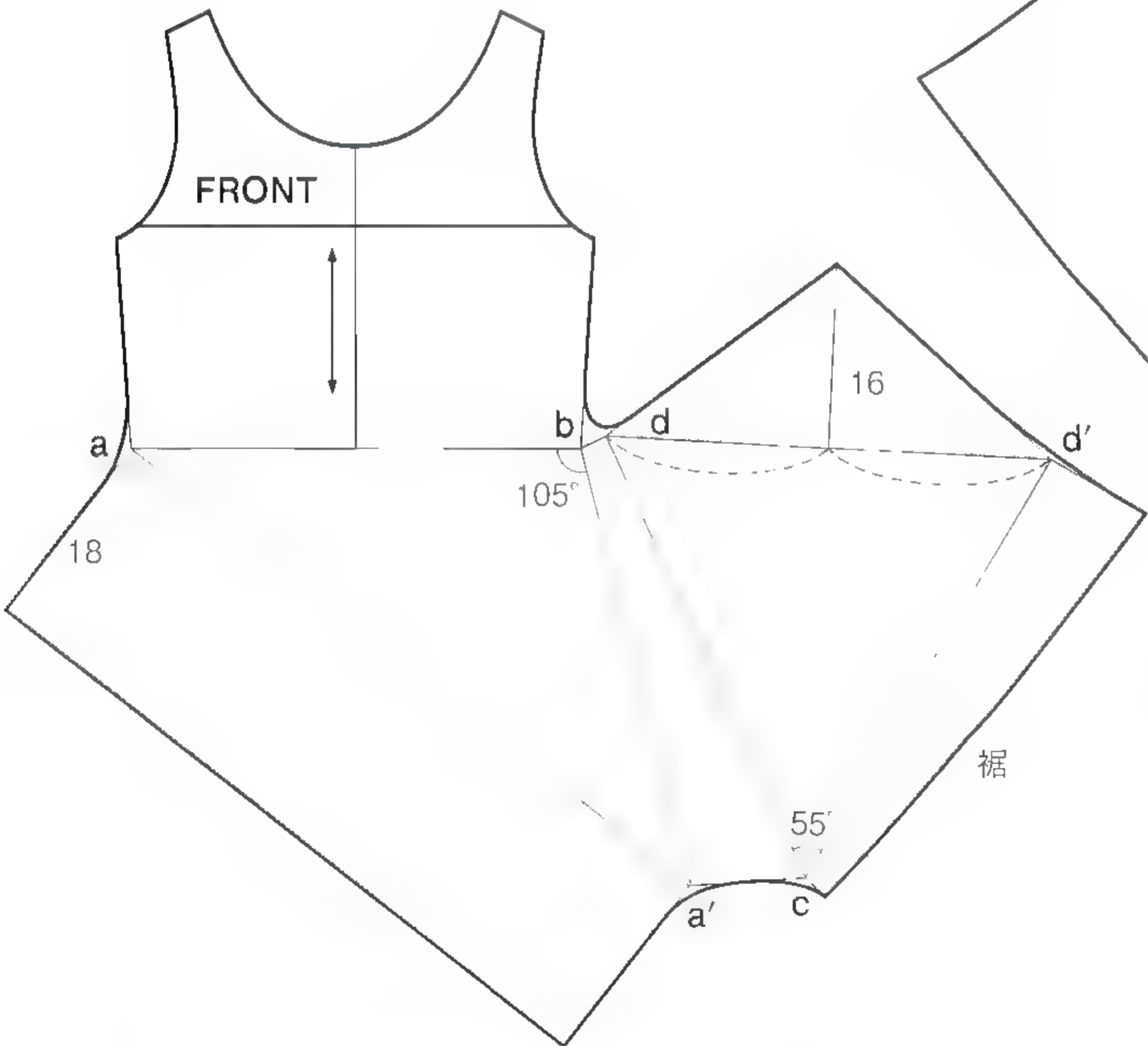
③ 後ろ身頃は、②でできた前パターンを反転する。

47ページ”トゲトゲB”

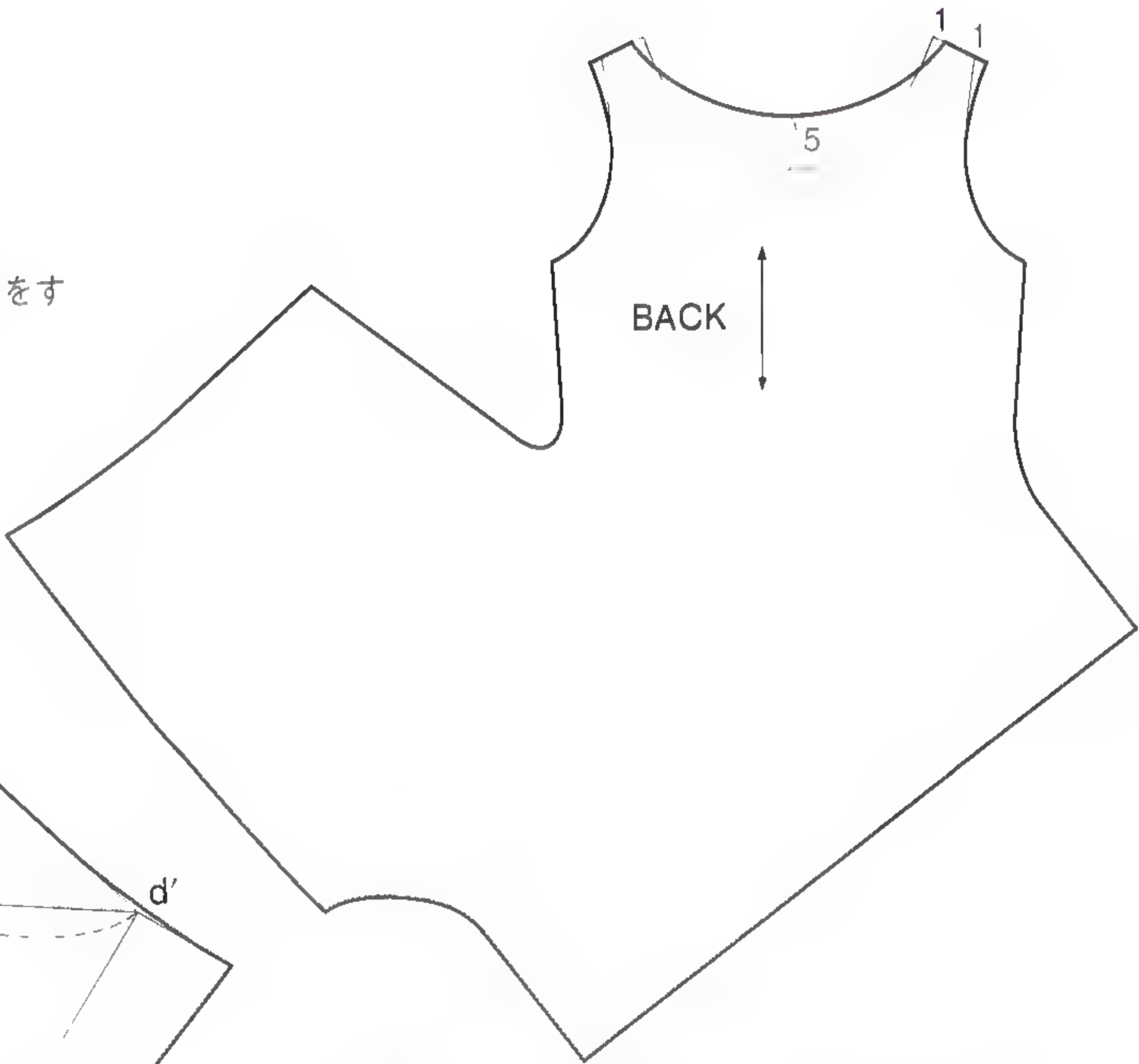
右に2本、左に1本トゲを出す。
長方形にすれば一度に2本のトゲを出すことができる。
長方形と三角形、合わせて3本のトゲになった。



① 前スローパーのヒップラインから上をかき、身頃の作図をする。切開きの位置をかく。



② bを基点として105度切り開く。a～a'を一辺とする長方形をかく。
cを基点として55度切り開く。d～d'を底辺とする二等辺三角形をかく。着用するとこれがトゲになる。

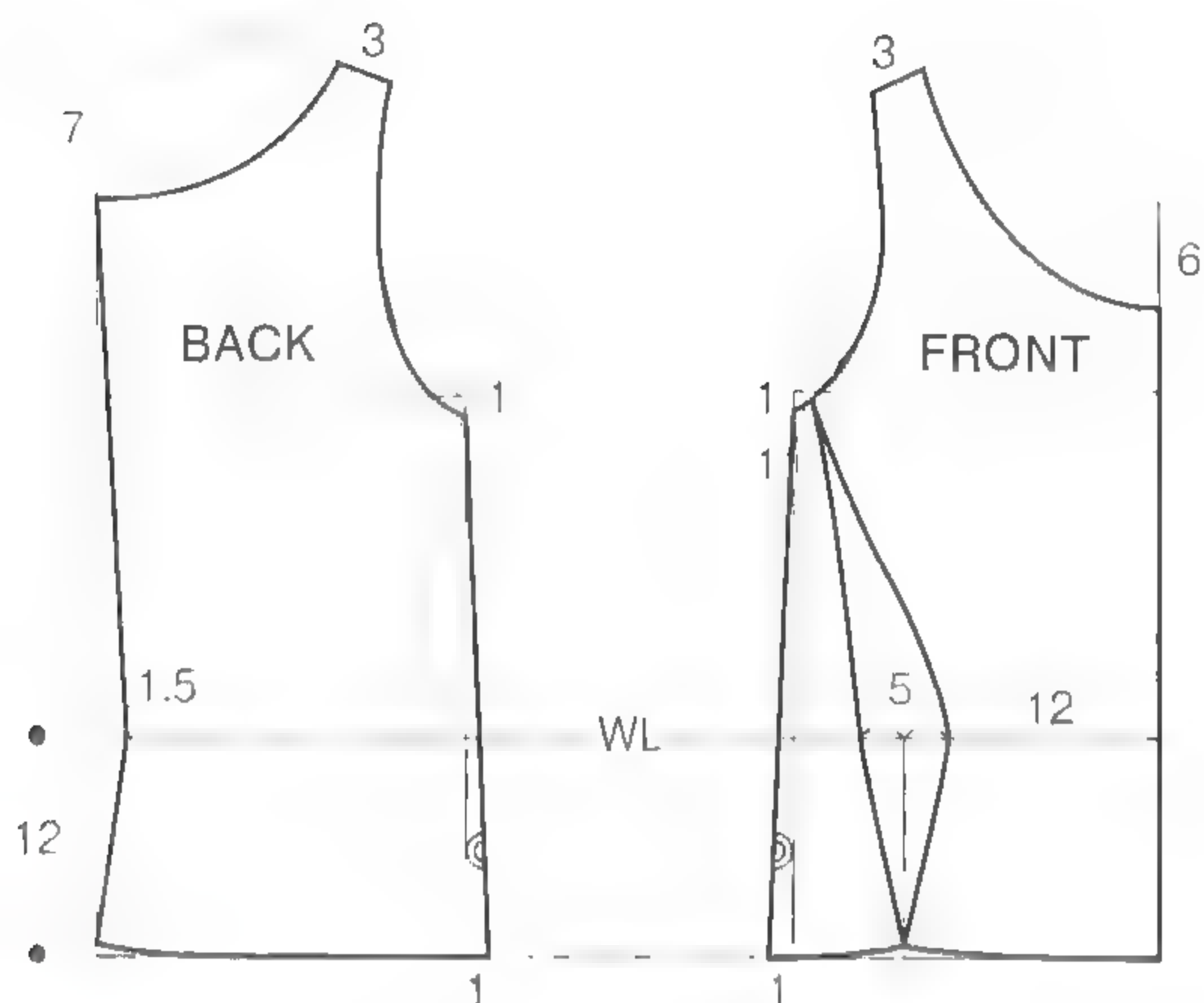


③ 後ろ身頃は、②でできた前パターンを反転する。

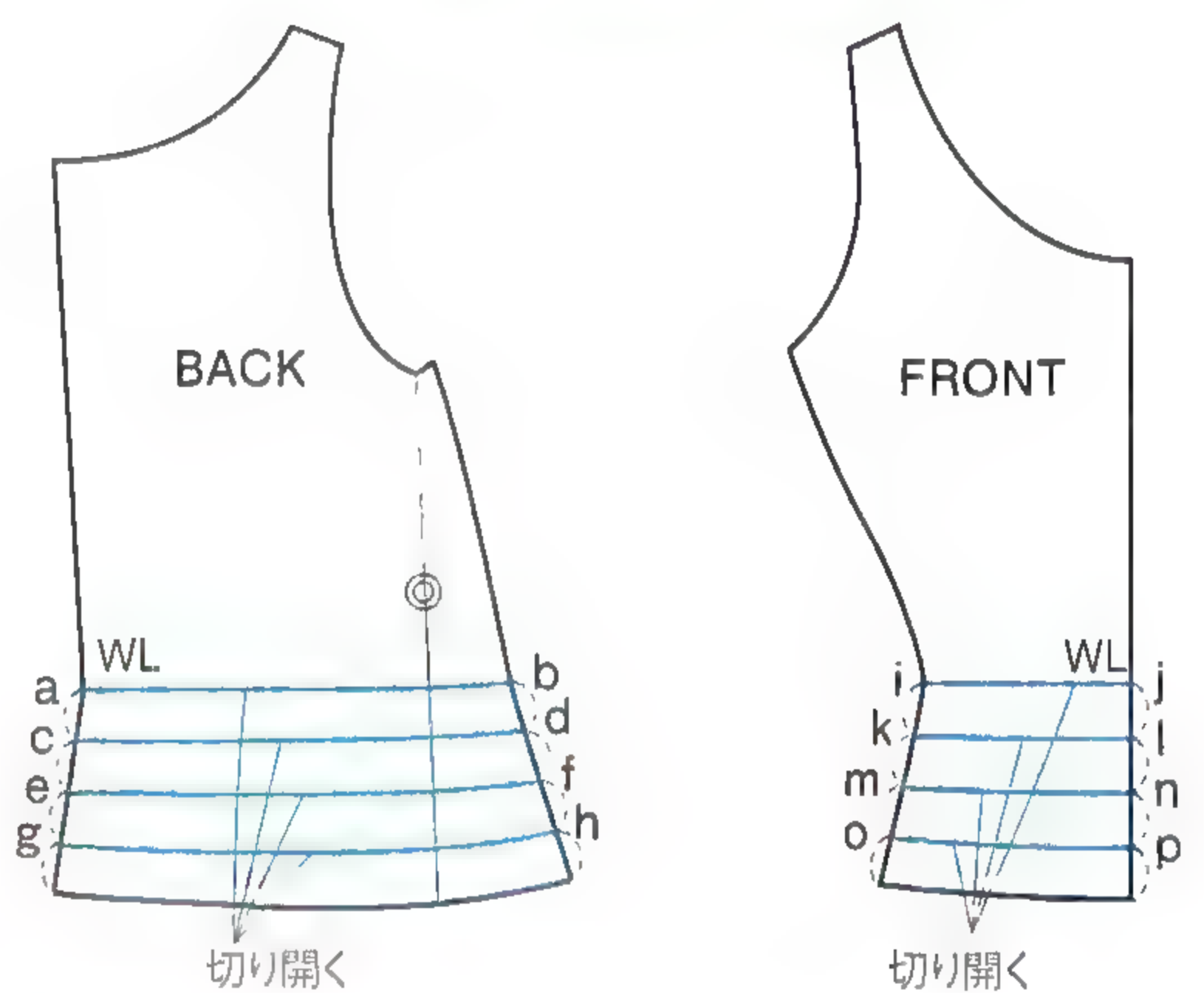
48ページ“トゲトゲC”

左右に4本ずつトゲを出す。

腰回りがチュチュのように広がって華やかになった。



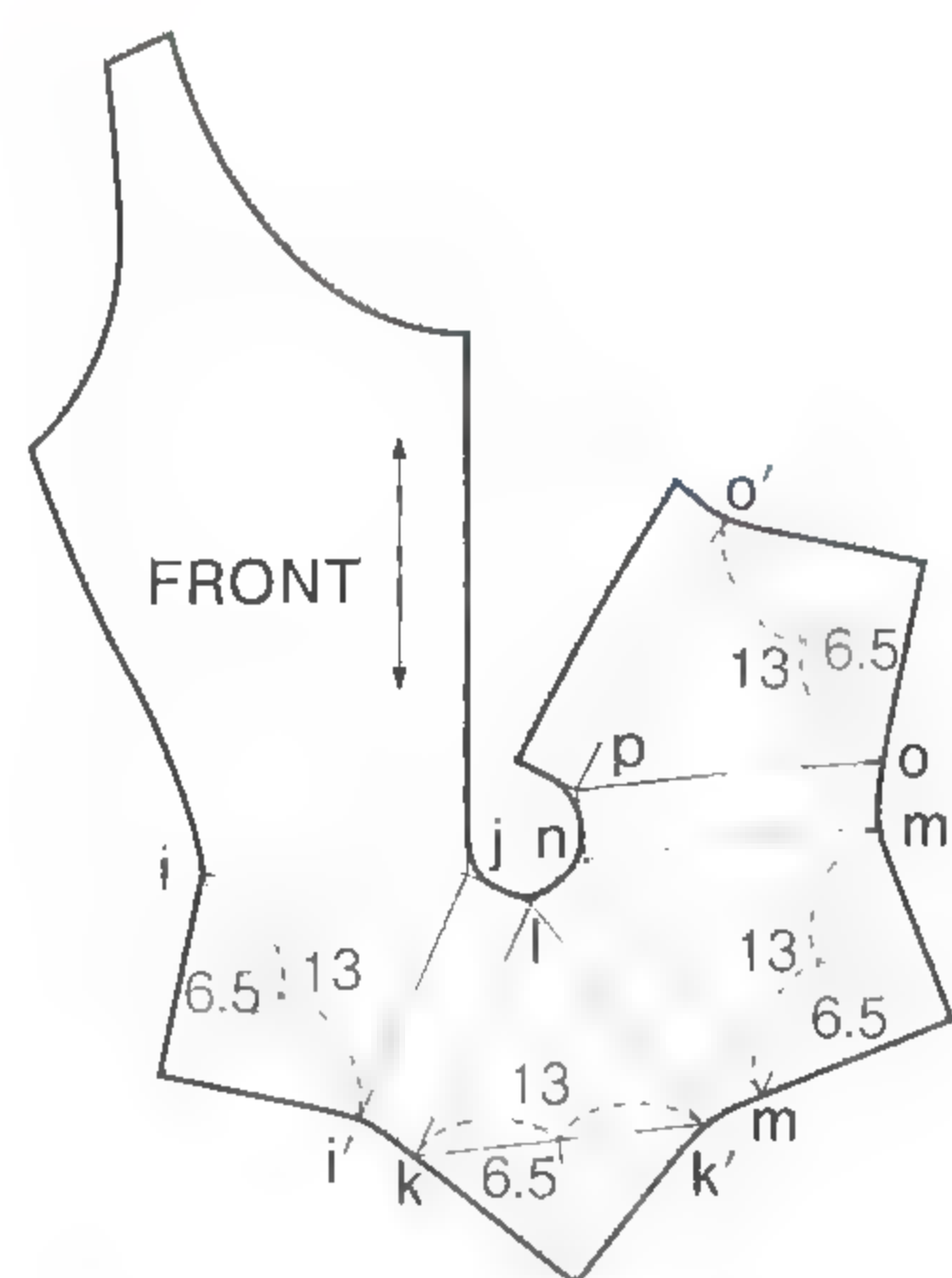
- ① 後ろスローパーのウエストラインから上をかき、後ろ身頃の作図をする
- ② 前スローパーのウエストラインから上をかき、パネルラインを入れた前身頃の作図をする。



- ③ 前の脇を後ろ身頃と突き合わせる。切開きの位置をかく
- ④ 前身頃にも切開きの位置をかく。



- ⑤ aを基点として13cm開く。b～b'を底辺とする二等辺三角形をかく。ほかの切替え線も同様に切り開く。



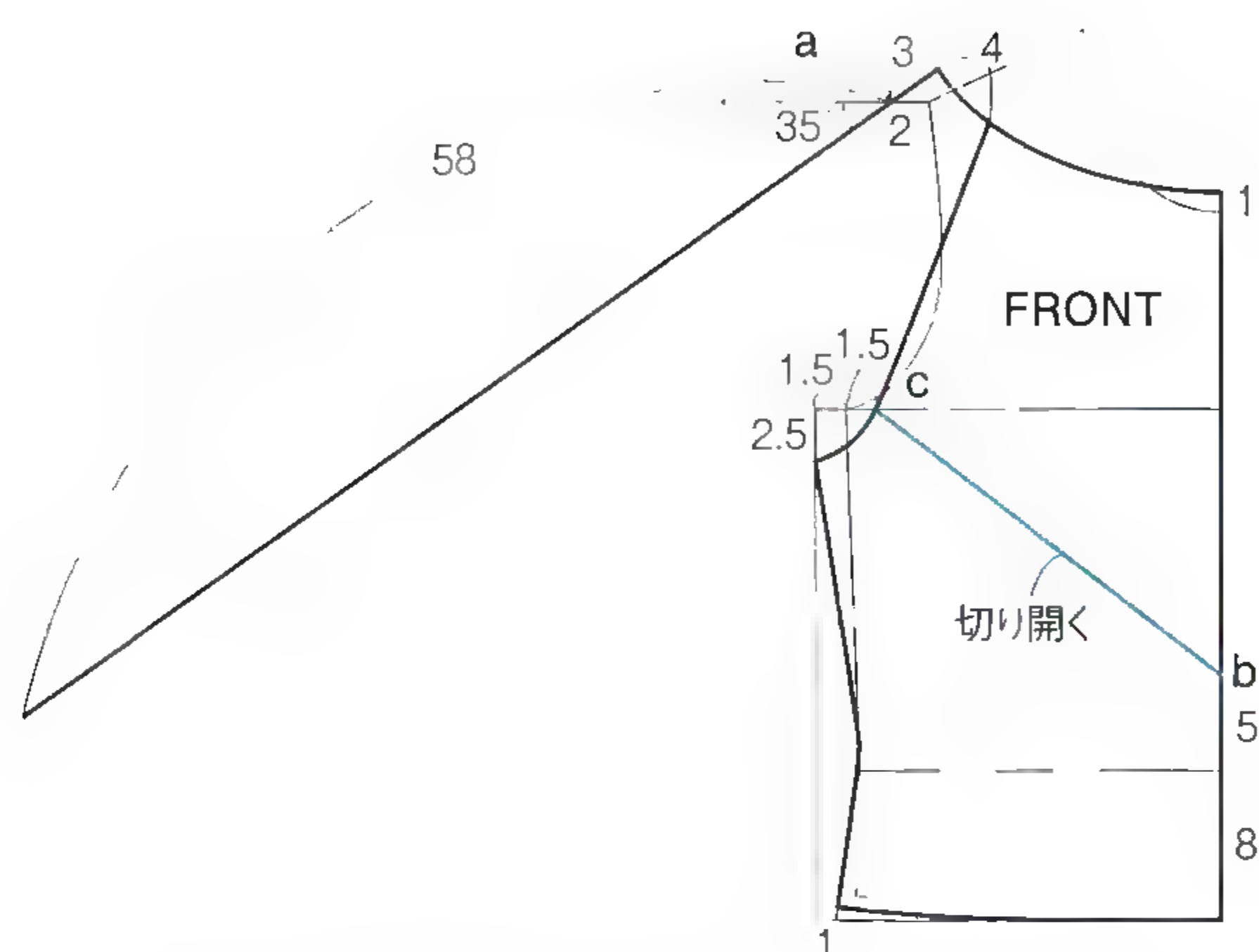
- ⑥ 前身頃も同様に切り開く。



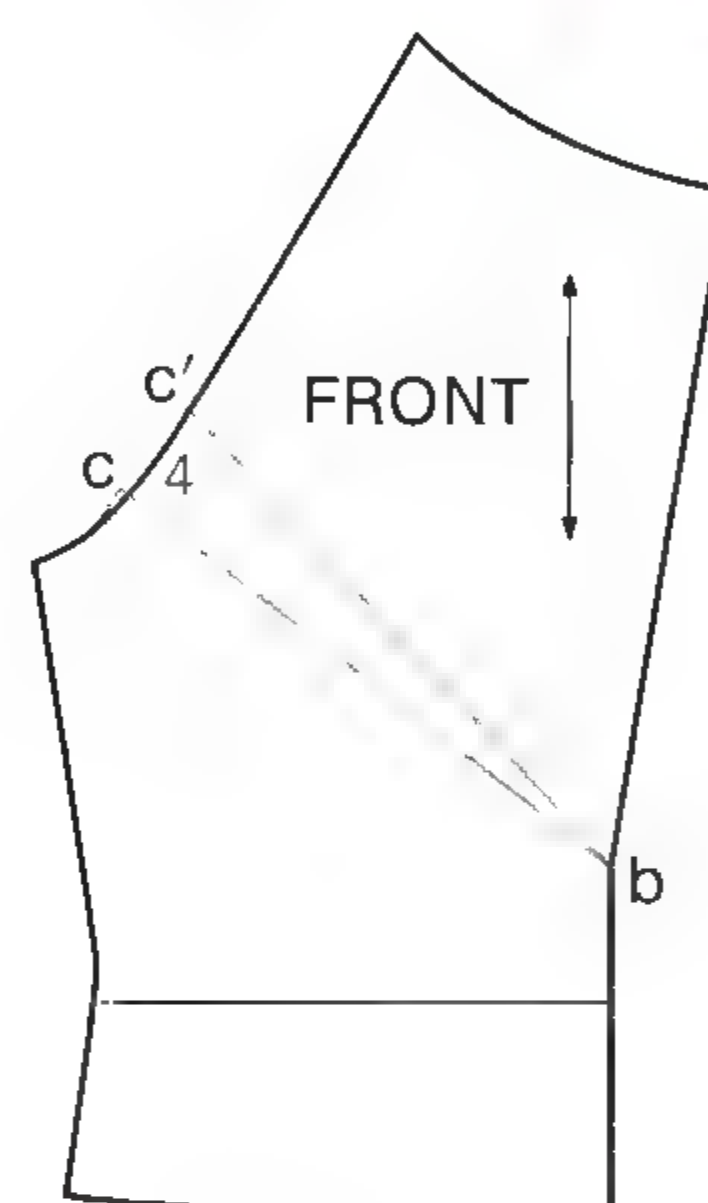
49ページ“トゲトゲD”

袖にトゲを出す。

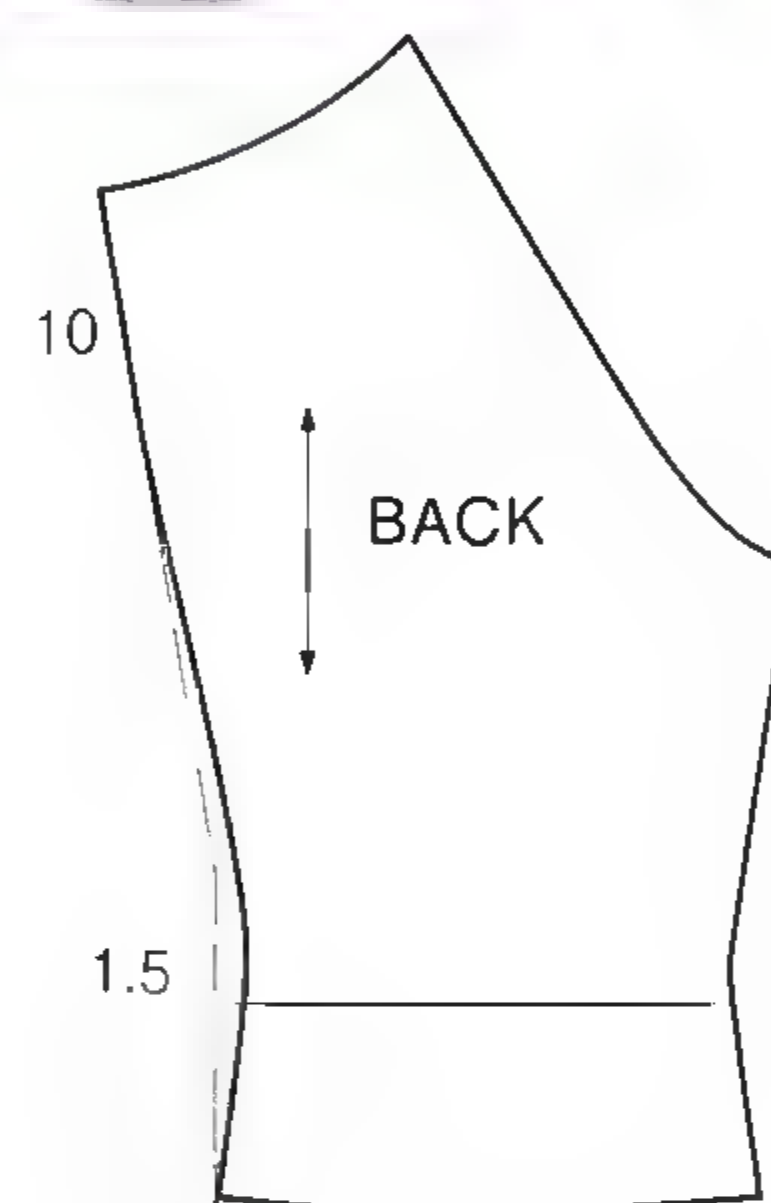
ラグランスリーブから、肩章のようなりりしいトゲが出た。



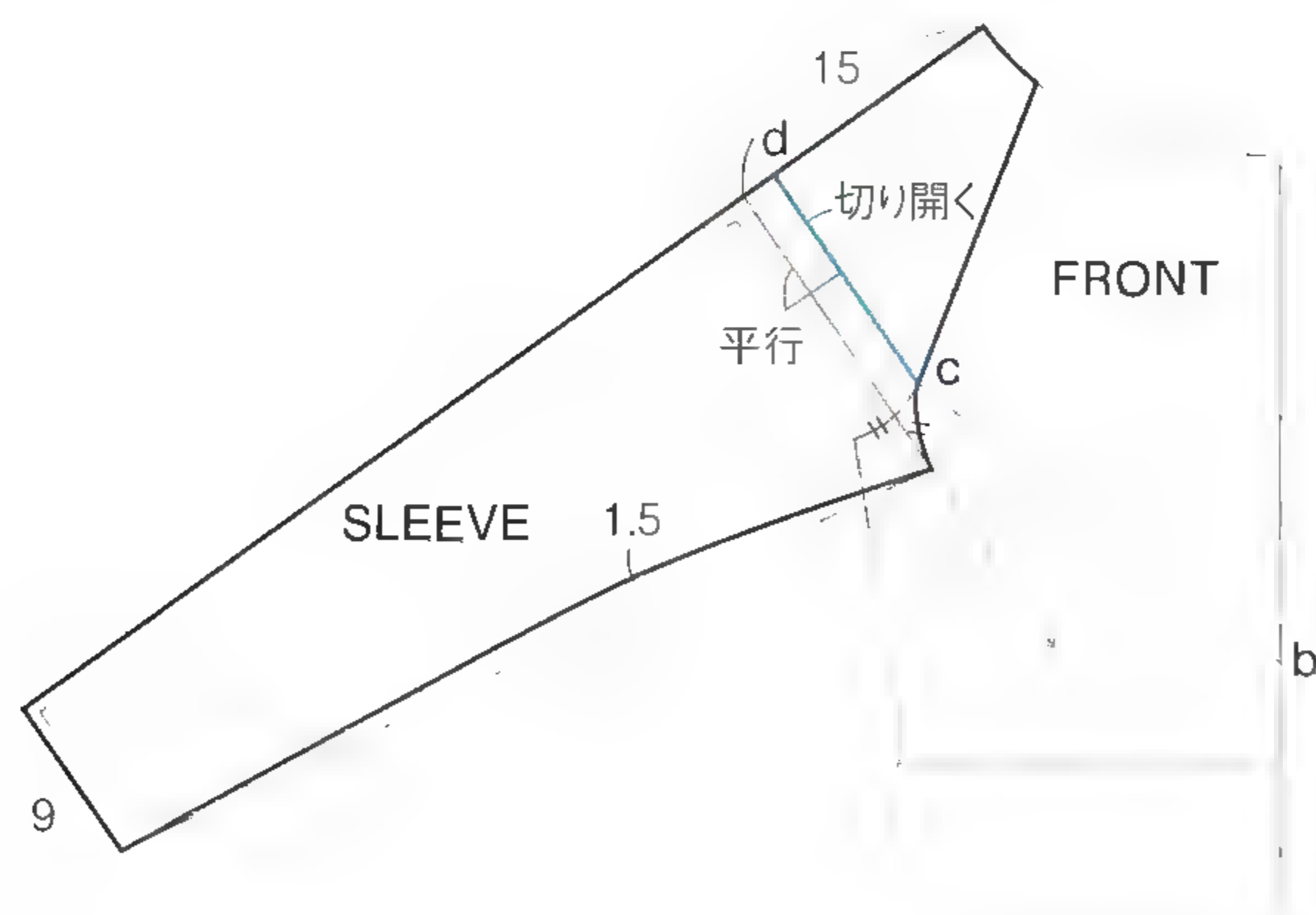
① 前スローパーのウエストラインから上をかく。aを基点にして35度の傾斜をつけ、袖丈を決め、ラグラン線进行をかく。身頃に切開き線进行をかく。



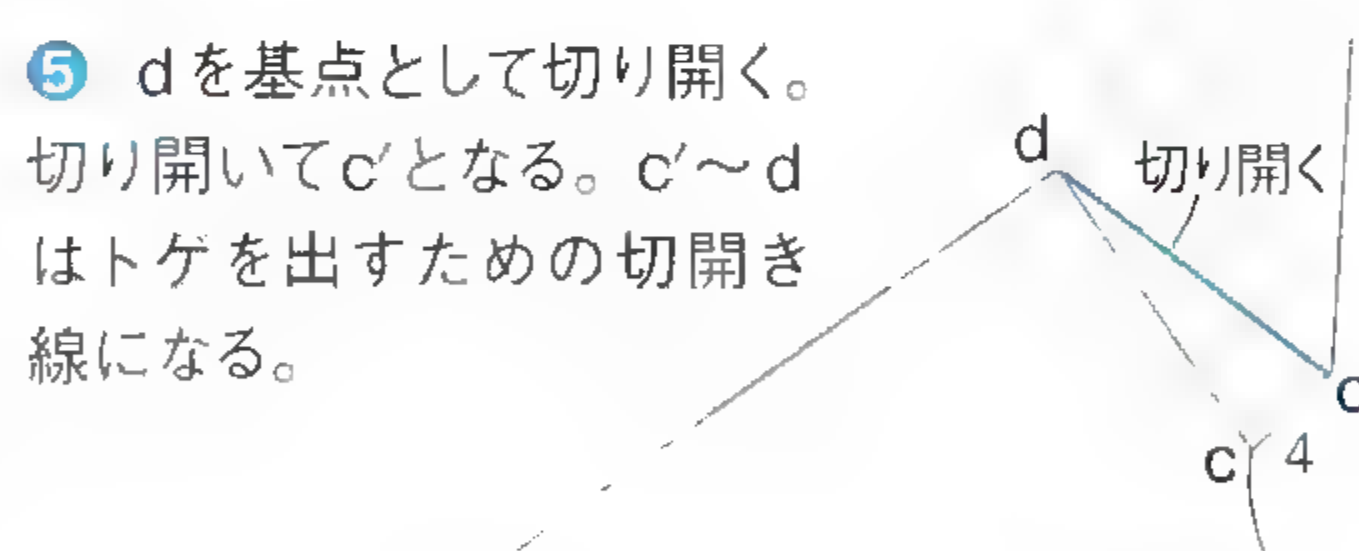
② 前身頃を切り開き、ゆとりを入れる。



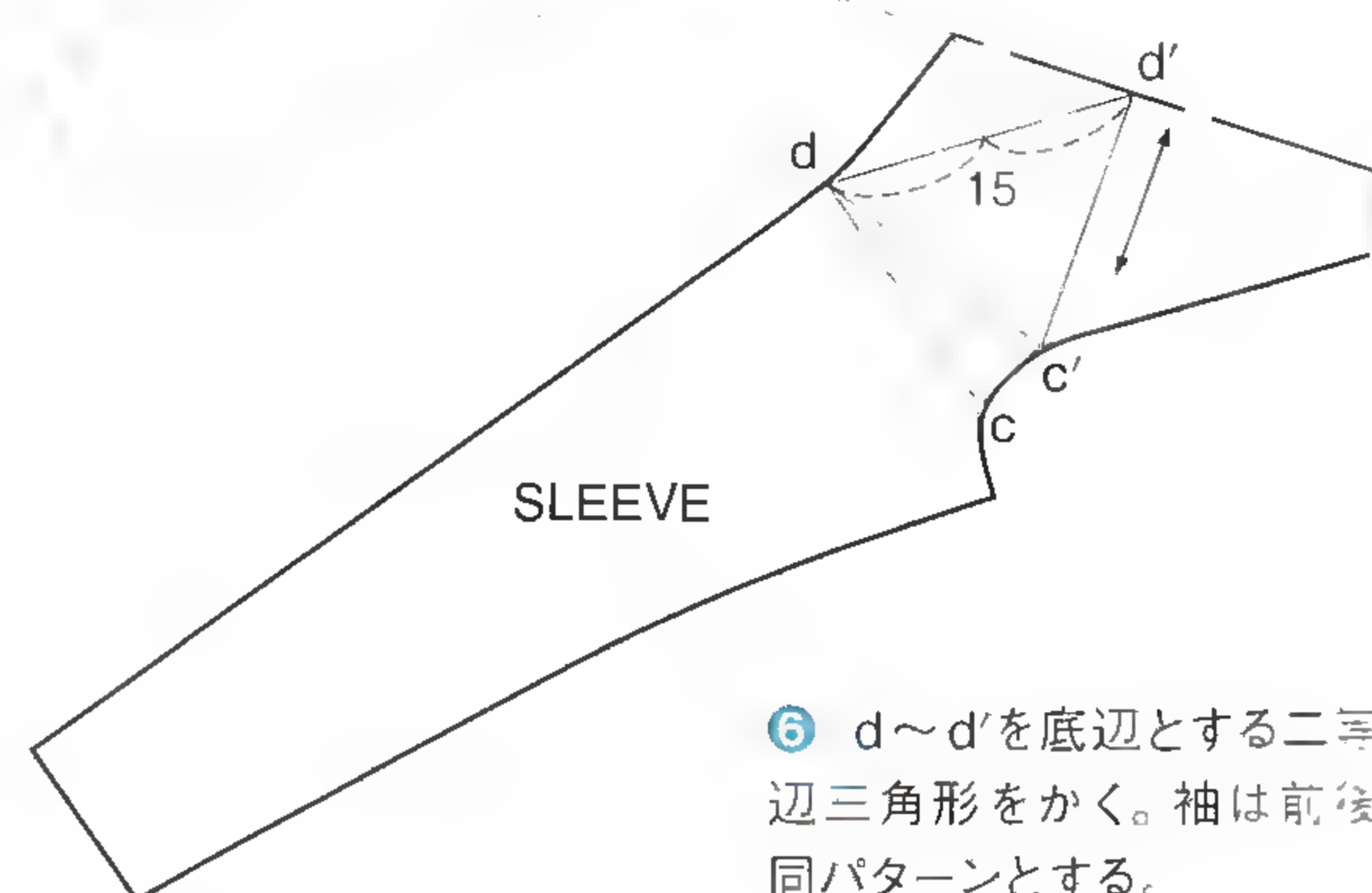
③ 後ろ身頃は②の前身頃を反転する。ウエストを後ろ中心で絞る。



④ ①に続けて袖の作図をし、②の身頃のゆとりに合わせるため、切開き線c～dをかく。



⑤ dを基点として切り開く。切り開いてc'となる。c'～dはトゲを出すための切開き線になる。



⑥ d～d'を底辺とする二等辺三角形をかく。袖は前後同パターンとする。

50ページ“りんごの皮 A”

えごとむいたりんごの皮は、くるーんと丸まって渦巻きができる。

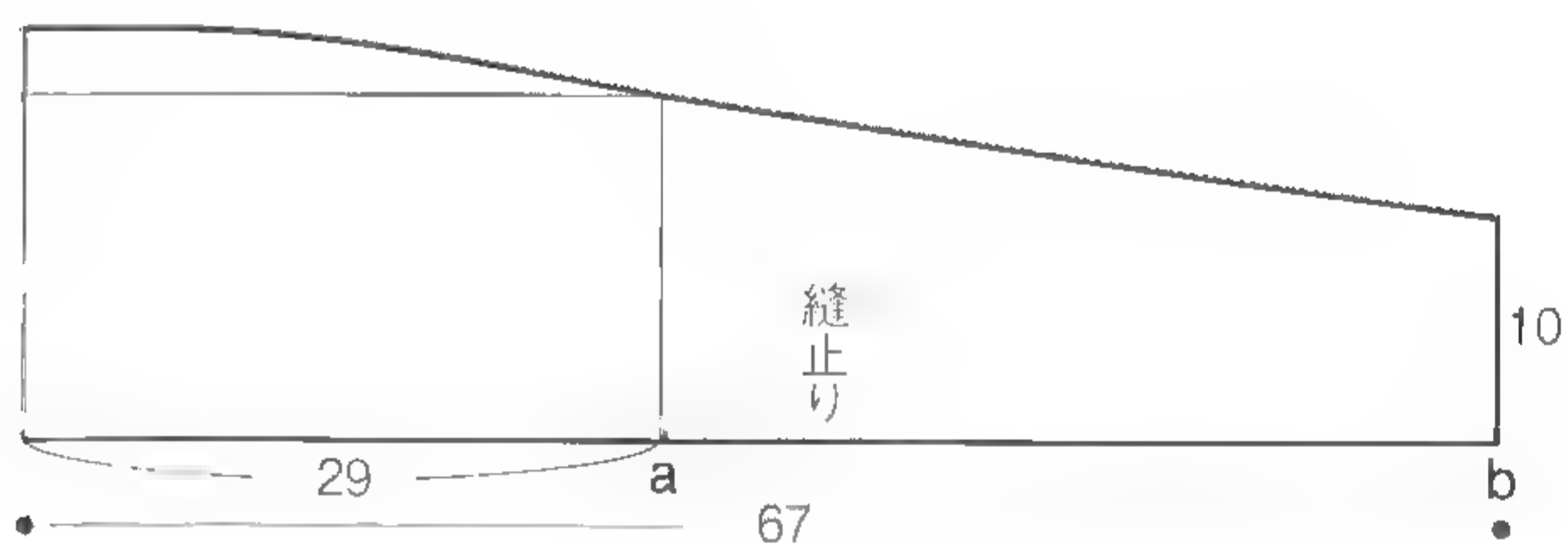
三端を持って伸ばすと、渦巻きの外側がひらひらと波を打つ。

をりんごの皮に見立てて作ってみる。

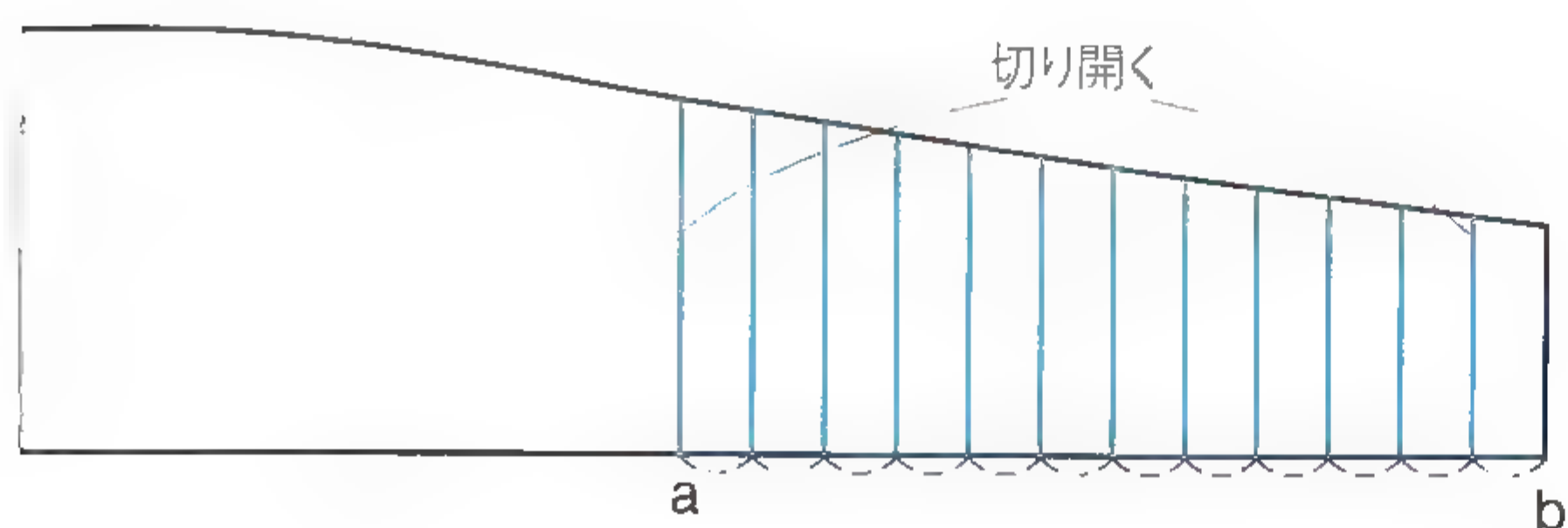
え替え線をいっぱい入れて、りんごの皮のようにまあるく切り開く。

三が小さければ小さいほどひらひらはいっぱい出る。

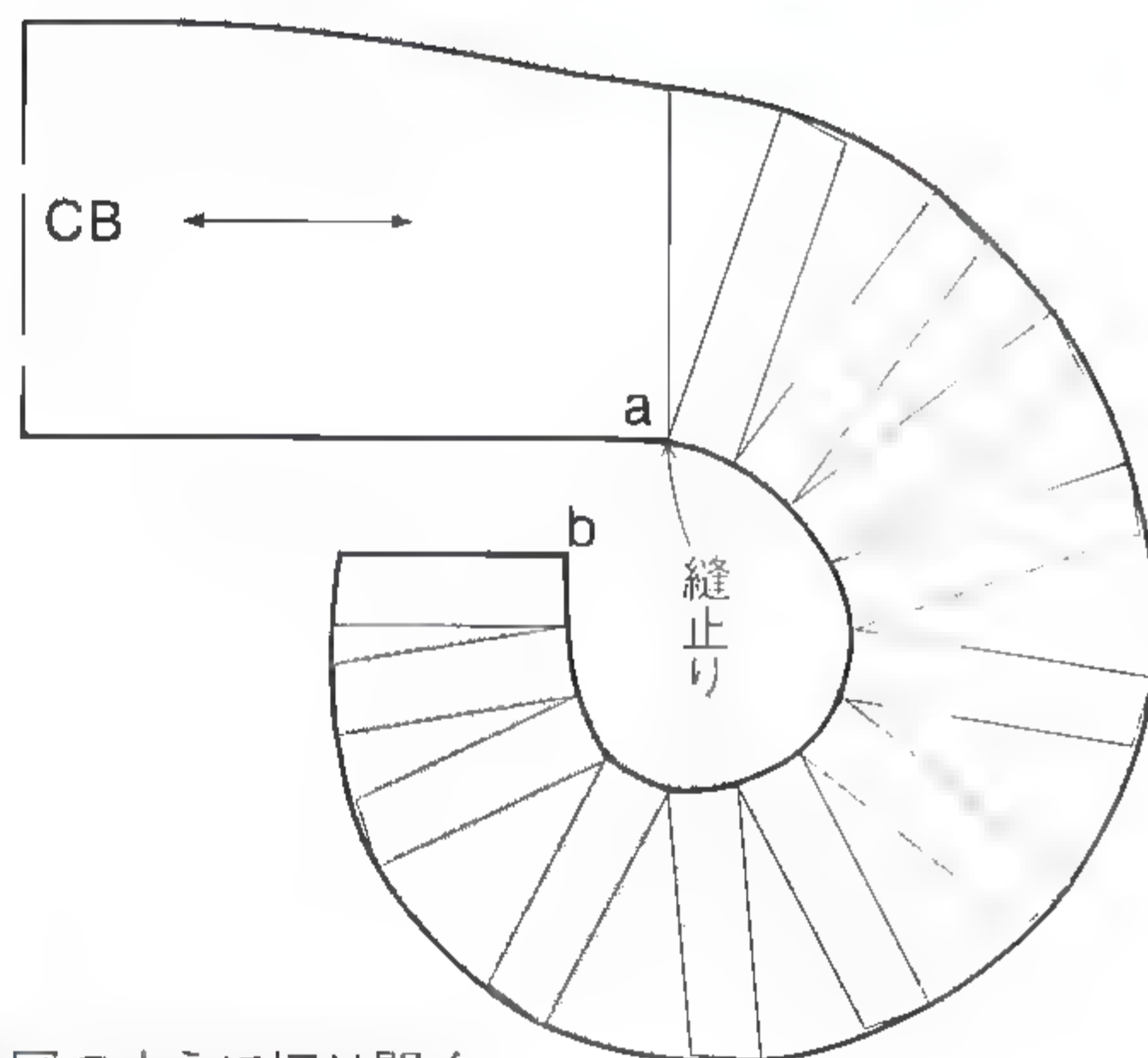
まあるい袖も腕を通すとひらひらのドレープがたくさんできる。



① フレコの作図をする。a～bは袖になるが、カーブの縫い目は伸びるため短めに設定する。



② え替え線をかく。

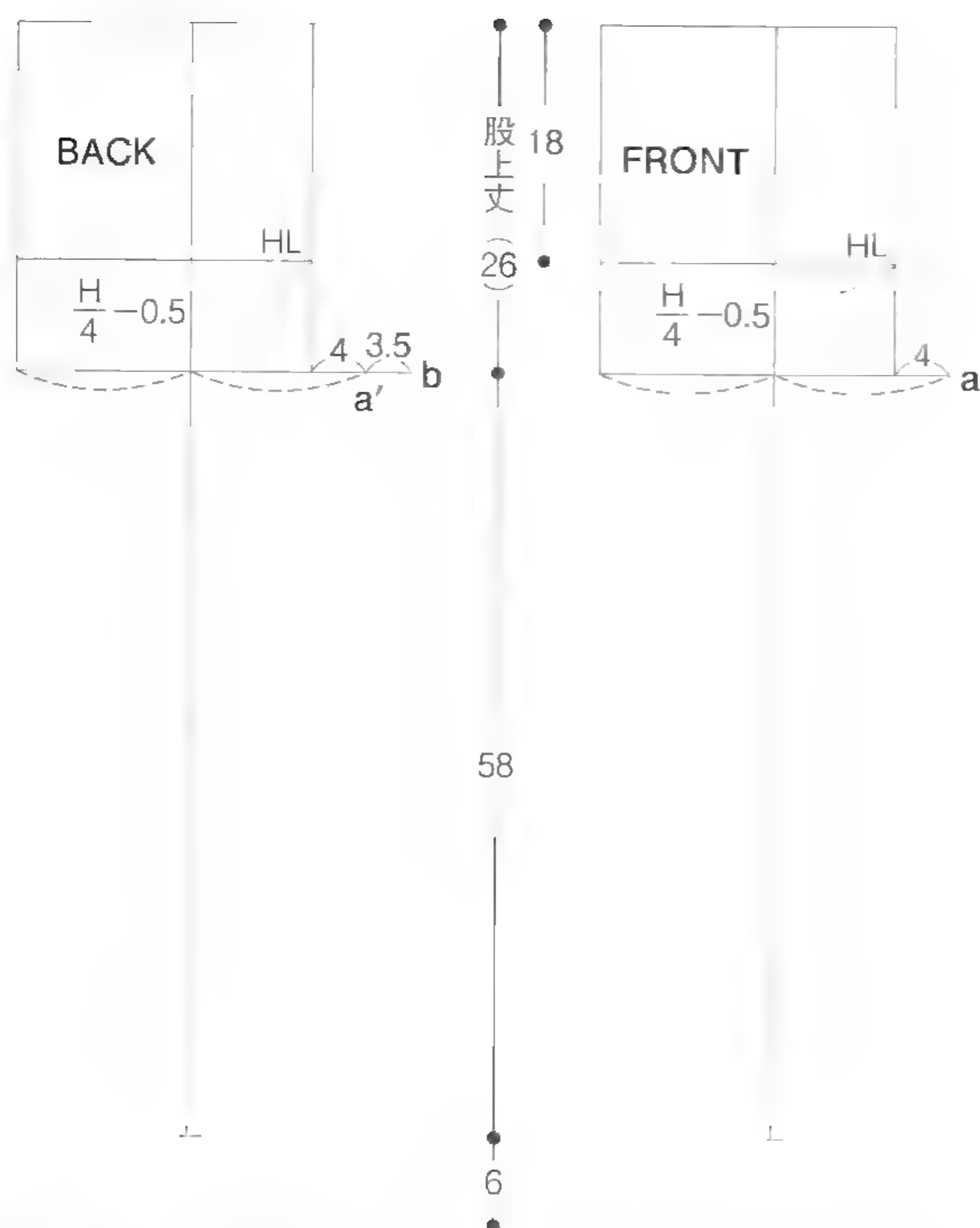


③ 図のように切り開く。

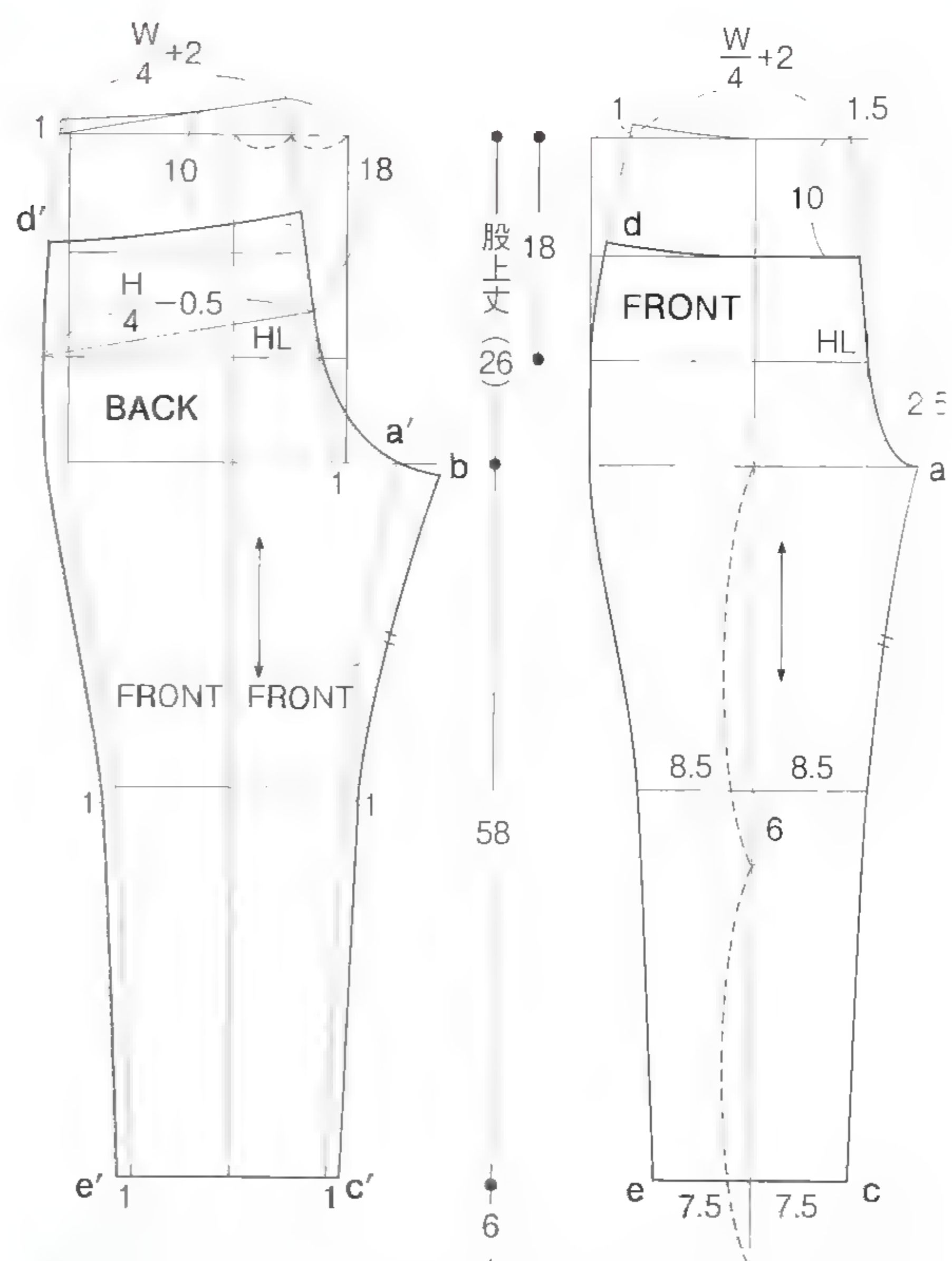
52ページ“りんごの皮B”

“りんごの皮”をパンツに應用した。

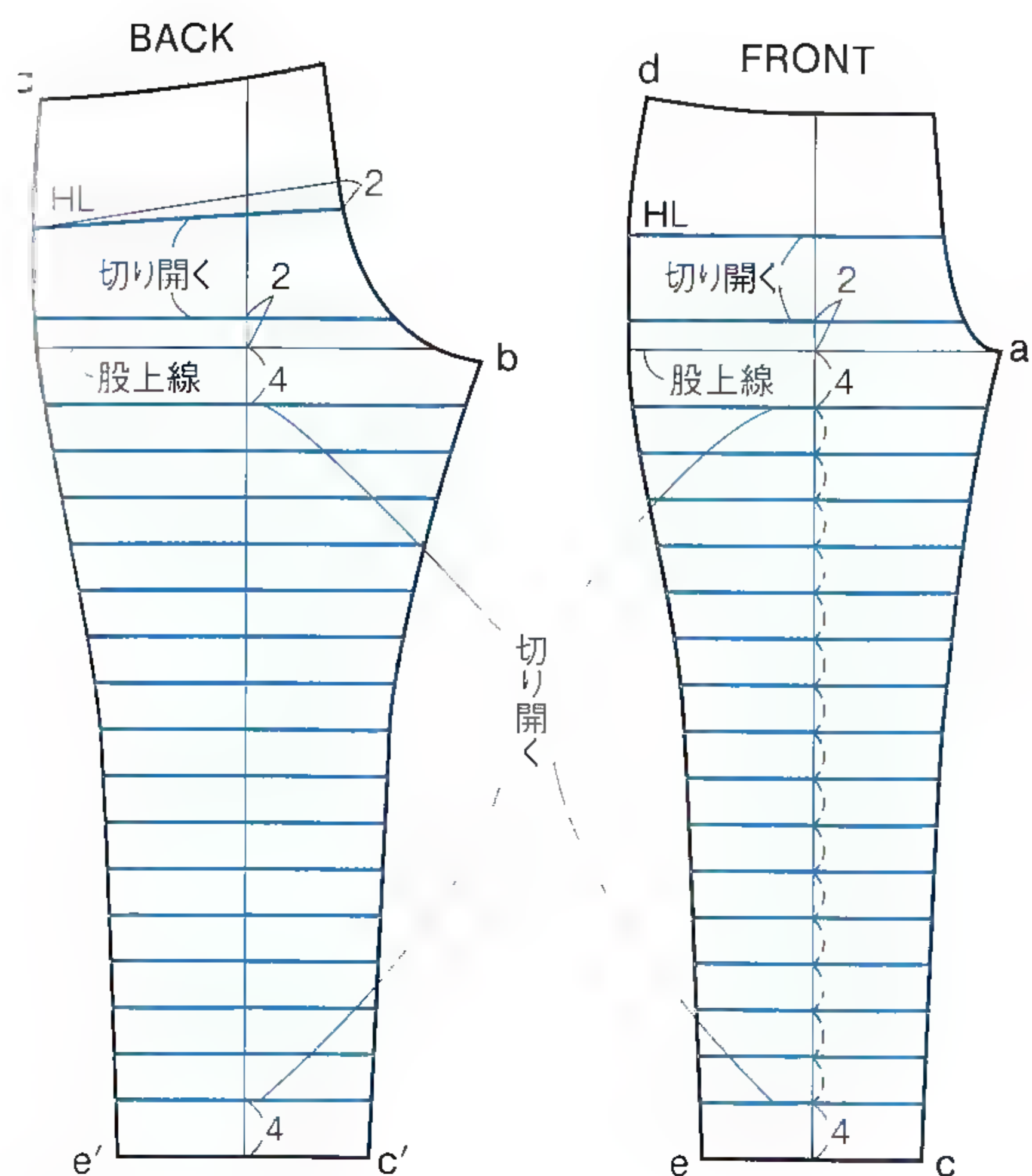
かたつむりのようなパターンになった。



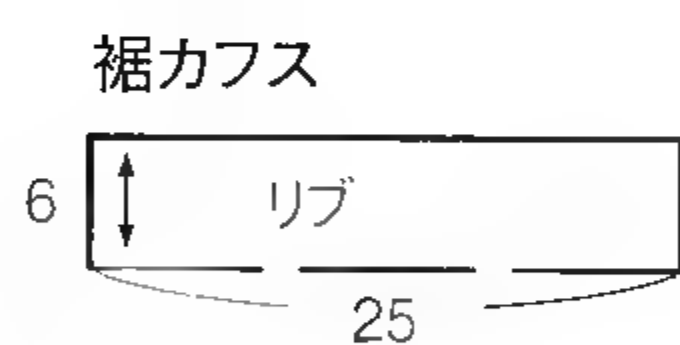
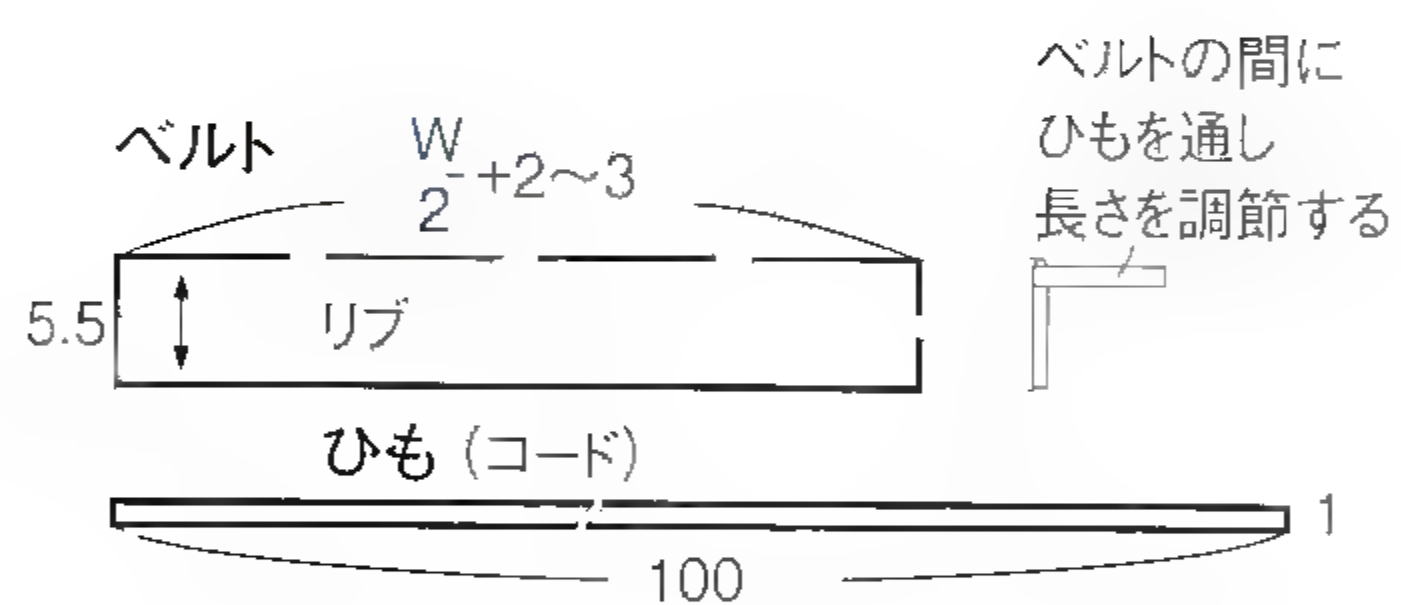
① パンツの基本線にかく。パンツ丈は切り開くと伸びるので、短く設定する。



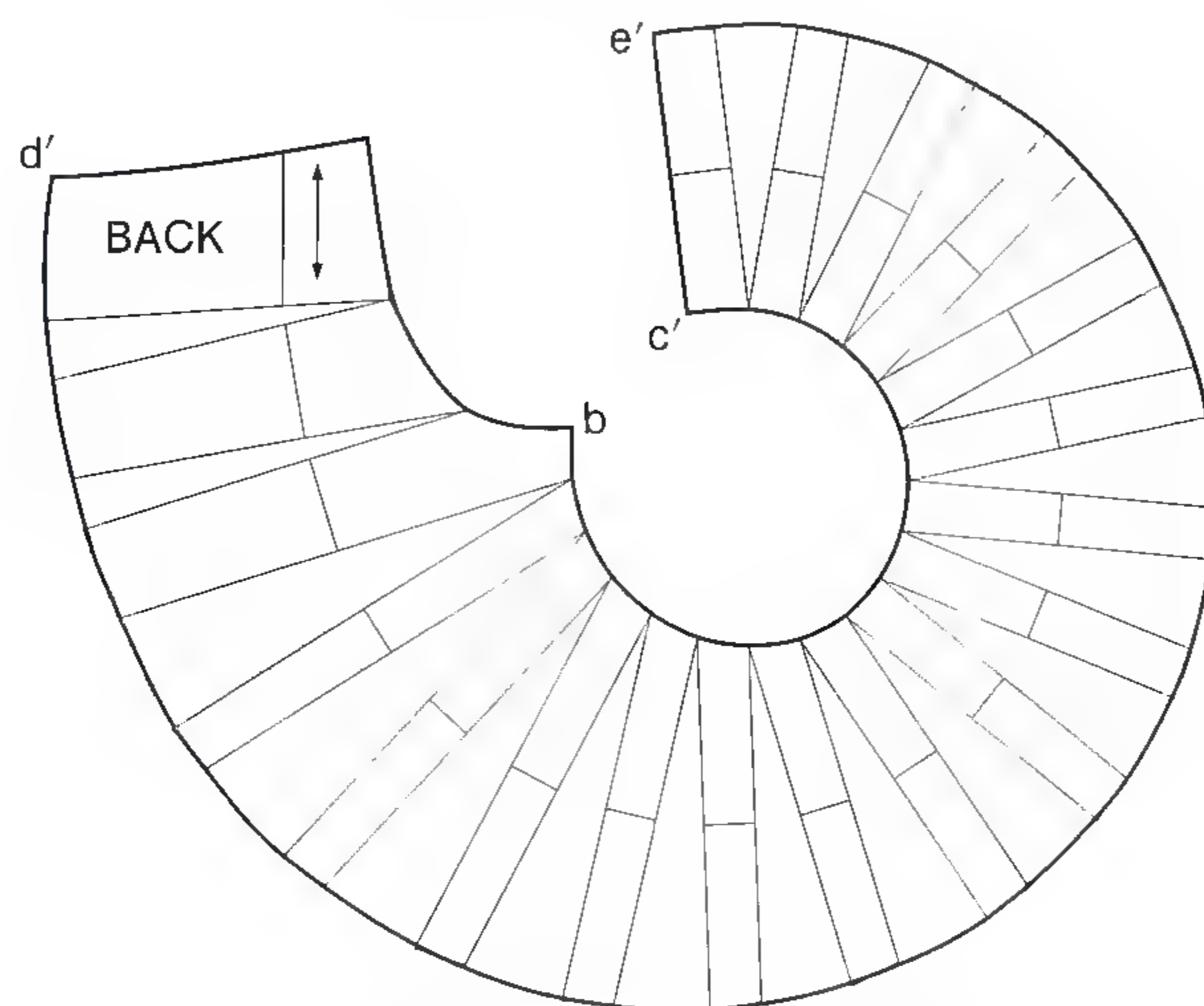
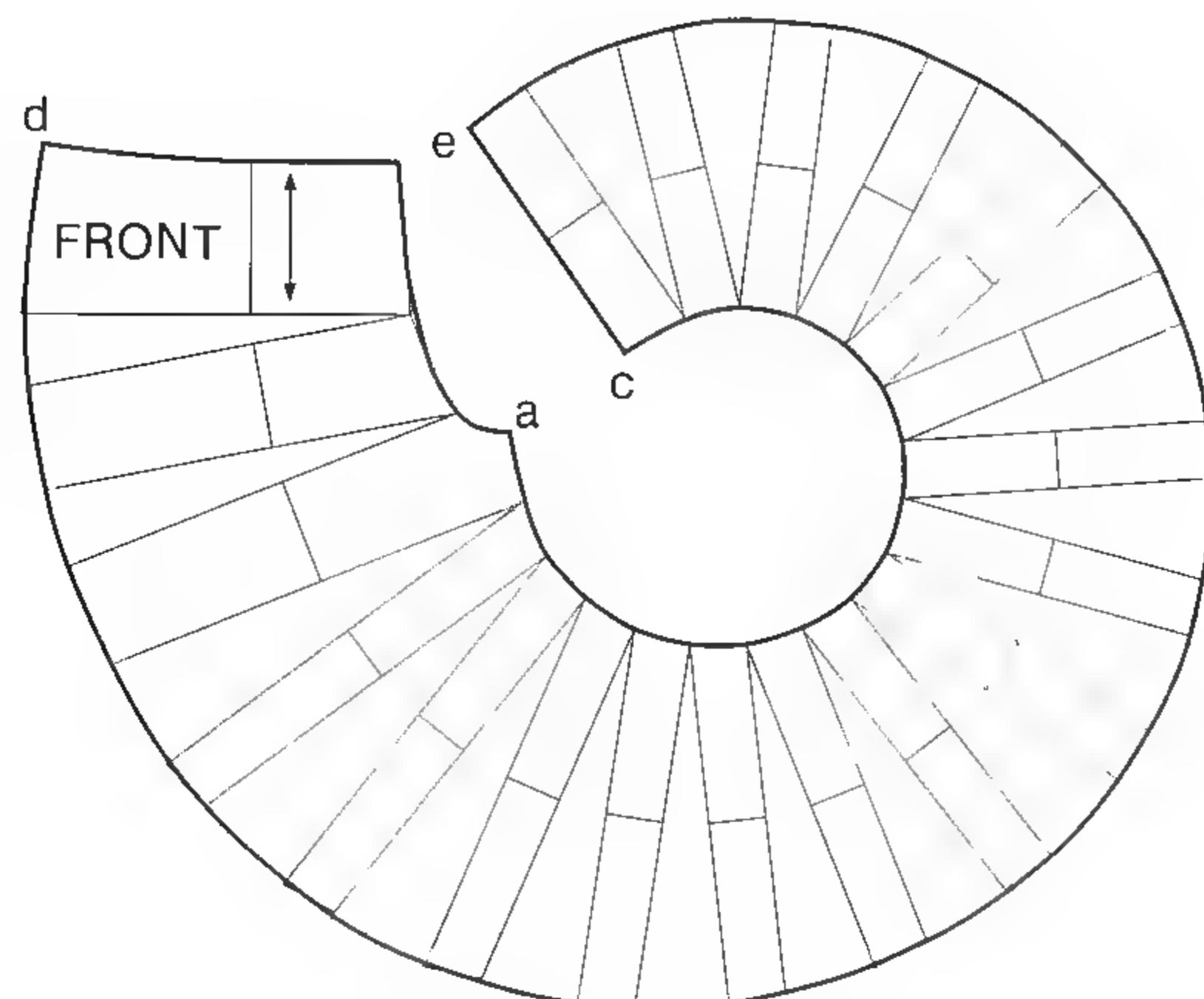
② 前から作図する。ローウエストとベルトをつける分とでウエストを10cm下げている。



③ 切開き線进行かく。



⑤ ベルト、裾カフス、ひもの作図をする。ベルトの間にひもを通し、長さを調節する。



④ 前から切り開く。後ろも図のように円く切り開くが、d~eとd'~e'が同寸になるように開く。

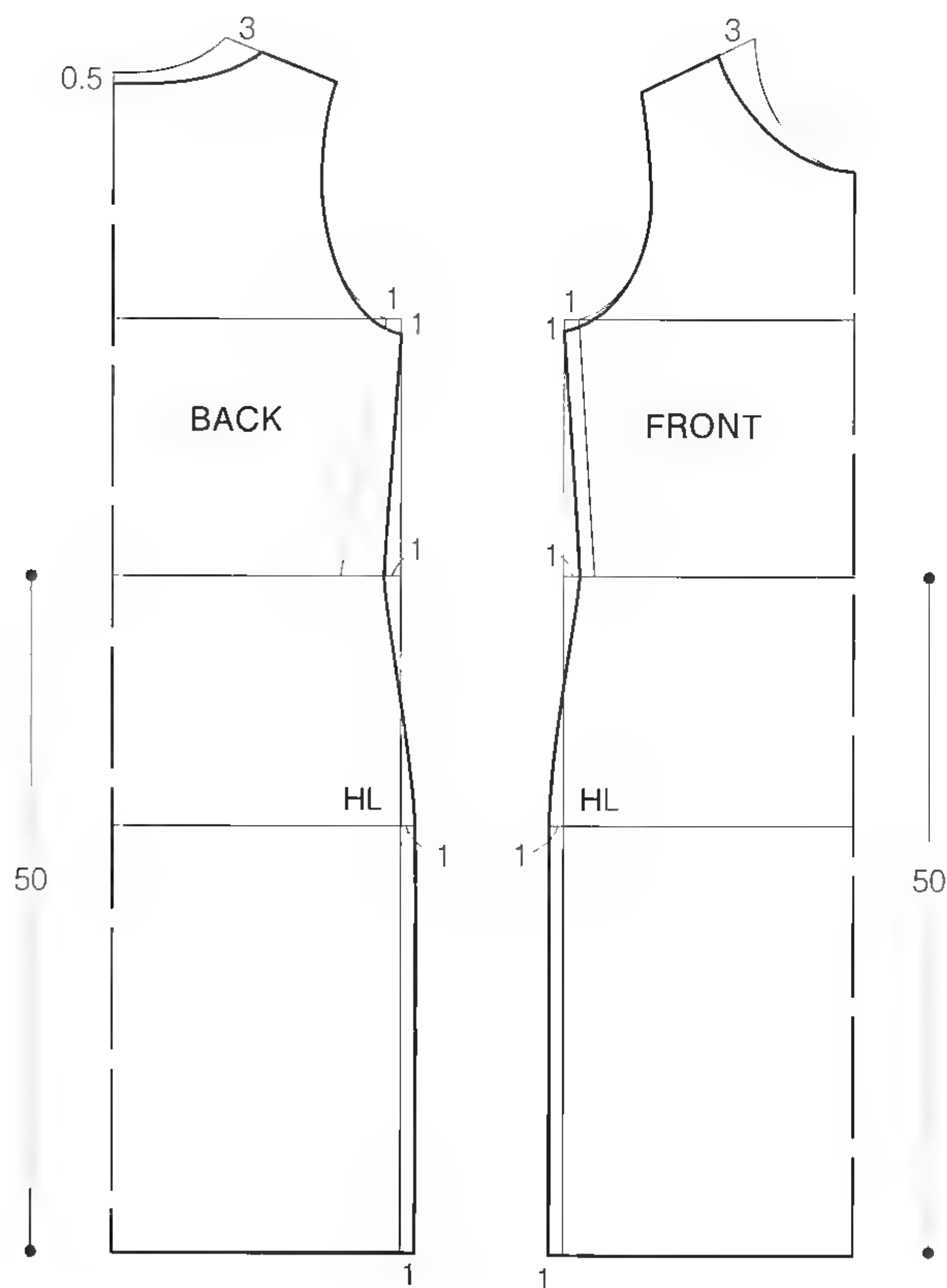


54ページ“飛び出た角”

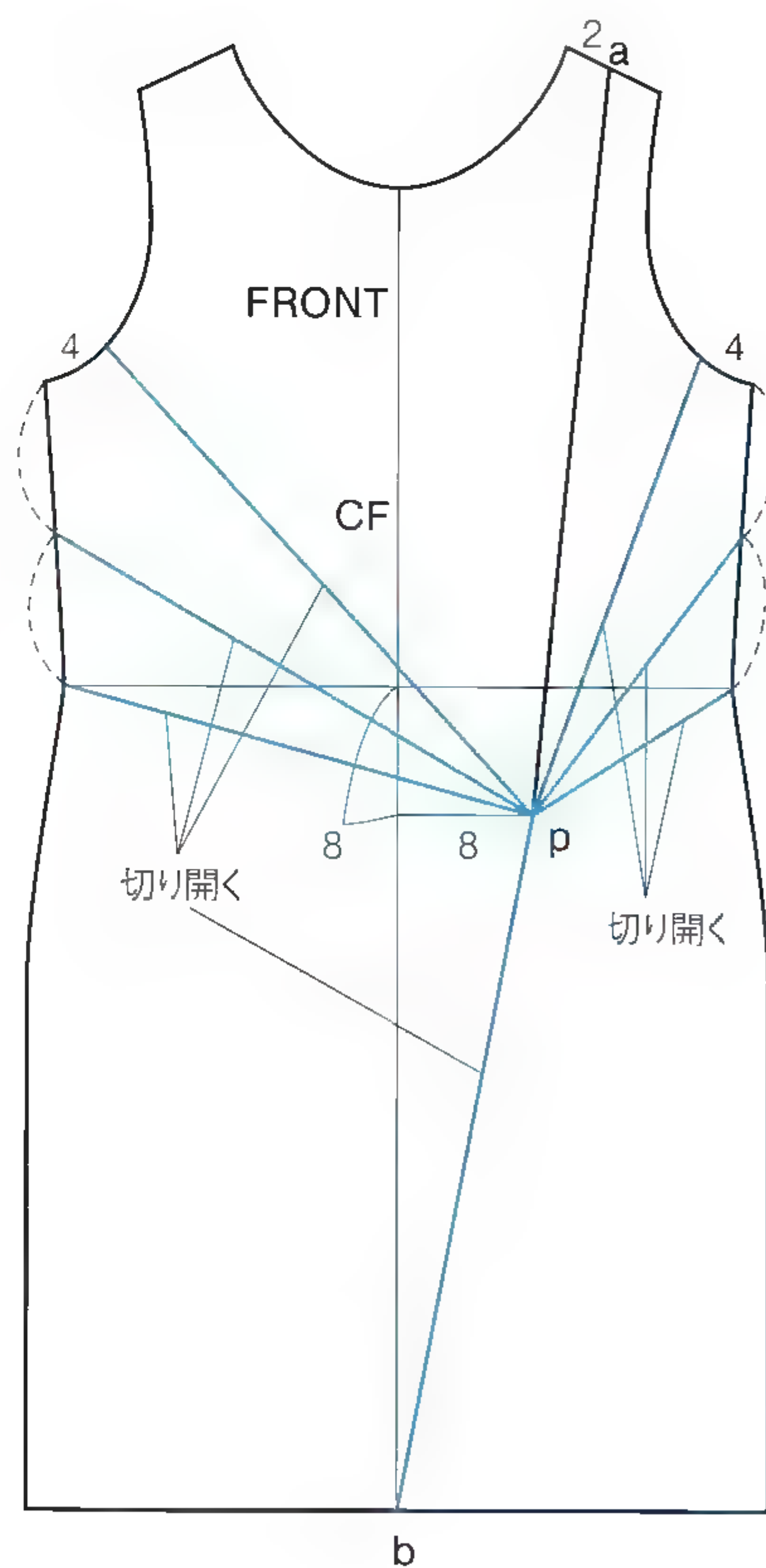
飛び出た角をつまみ上げ、

そして放すとどんなドレープが現われるのだろう。

裾野が広がった富士山のような円錐形のフォルムは、
パターンではどうなるのだろう。



① 前後スローパーのウエストから上をかく。前後身頃の作図をする。



② 前身頃に切替え線と切開き線进行。飛び出た角の位置をpとする。pを基点に切り開くことで、高さが出te飛び出してくるので、pの位置は高めに設定する。a～pは切替え線になる。

55ページ“円のドレープ”

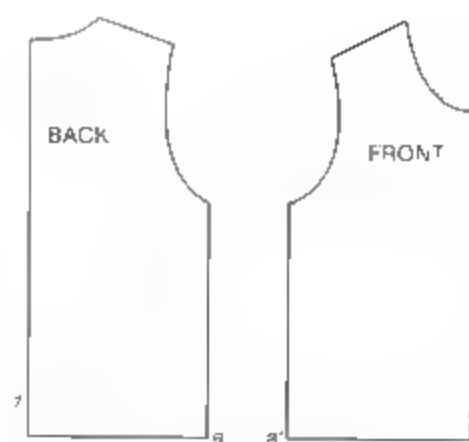


横から見ると 袖ぐらに大きな円のドレープがわかる

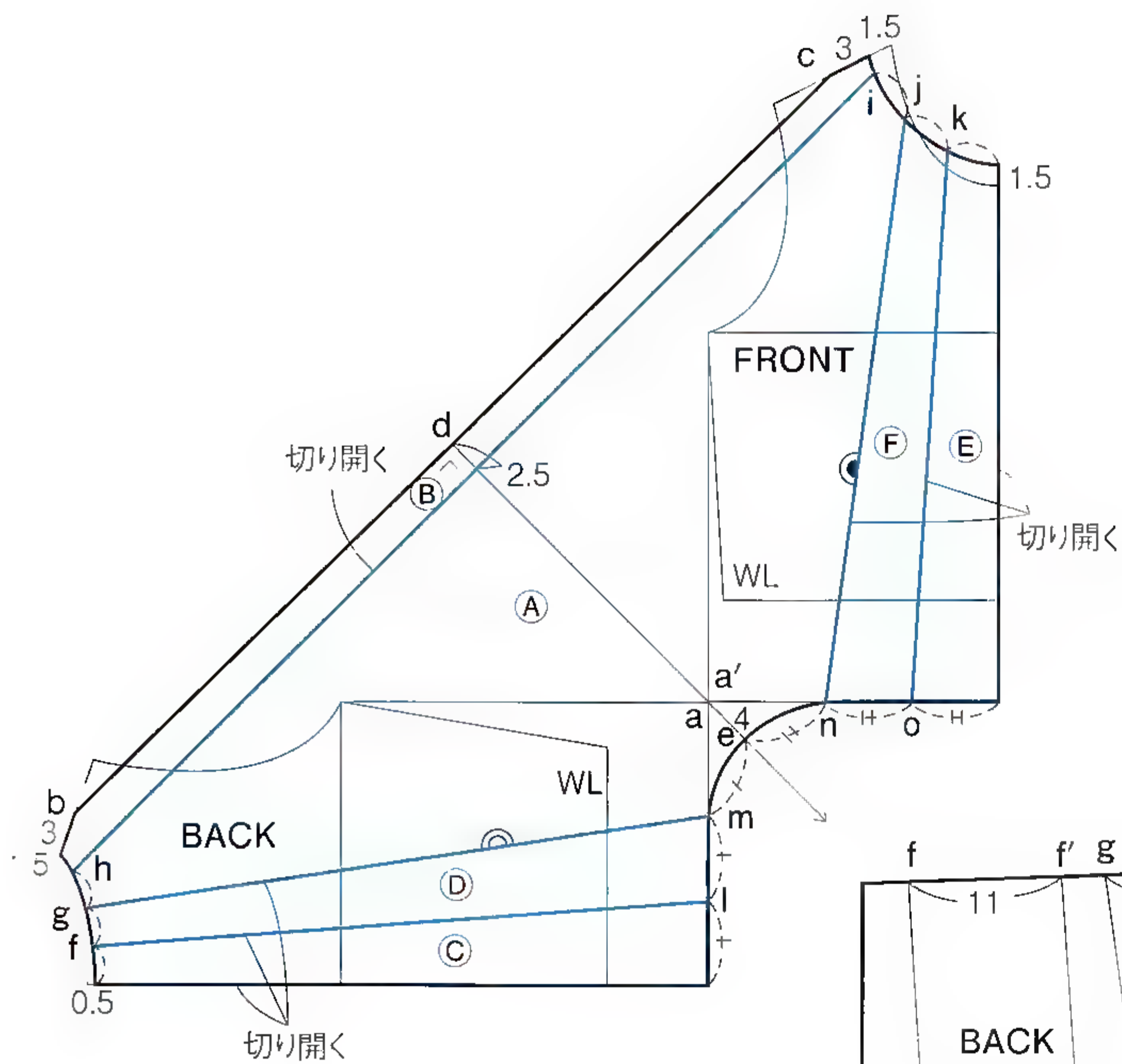
神話に出てくる 神々の衣装のようだ

衿ぐりから裾に 立体的なギャザ がいっぱい寄っている

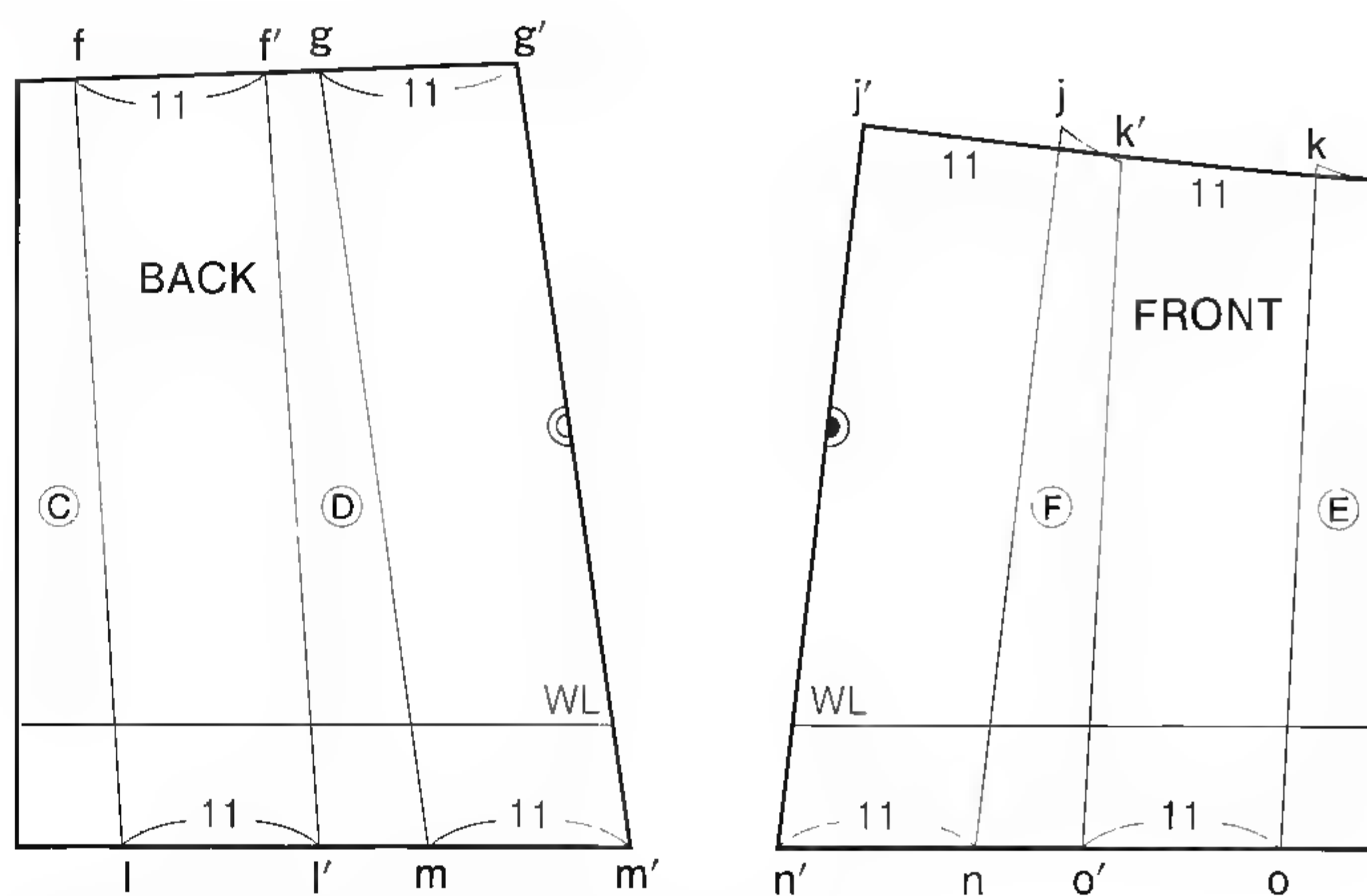
立体的なギャザ は、細か。縦スエッチをし かり、かけることで表現している



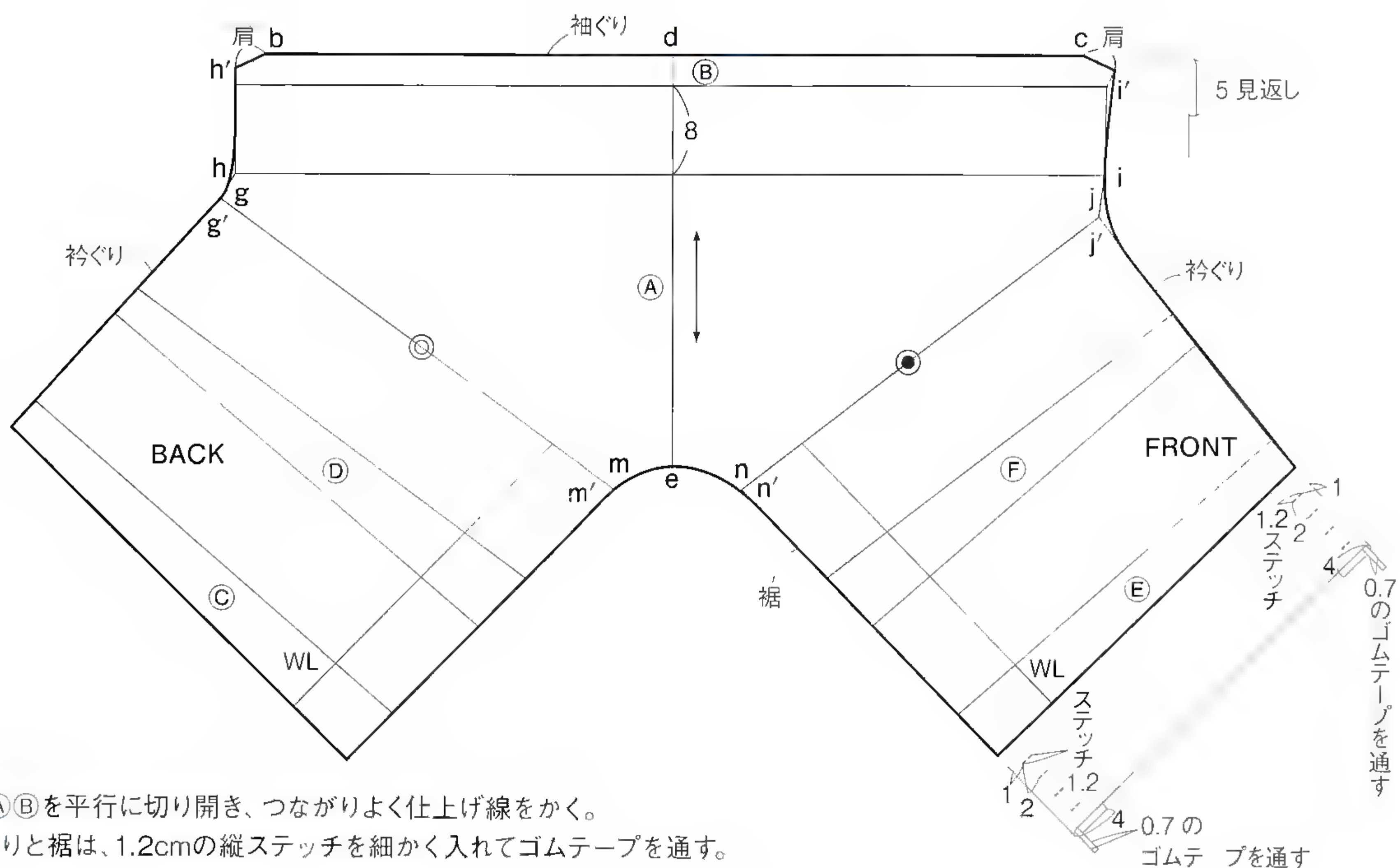
① スロ ーのウエストから上をかき 前後身頃の作図をする



② 前後身頃のaとa'を合わせ、裾が直角になるようにセットし、前後がつながったパターンとする。切開き線を入れる。



③ ③④⑤⑥を、ウエストライン上で水平に開く。



④ ③④を平行に切り開き、つながりよく仕上げ線にかく。
衿ぐりと裾は、1.2cmの縦ステッチを細かく入れてゴムテープを通す。

56ページ“ストッパー”

ねじりを入れた服は、元に戻ろうとする。

だからストッパーが必要。

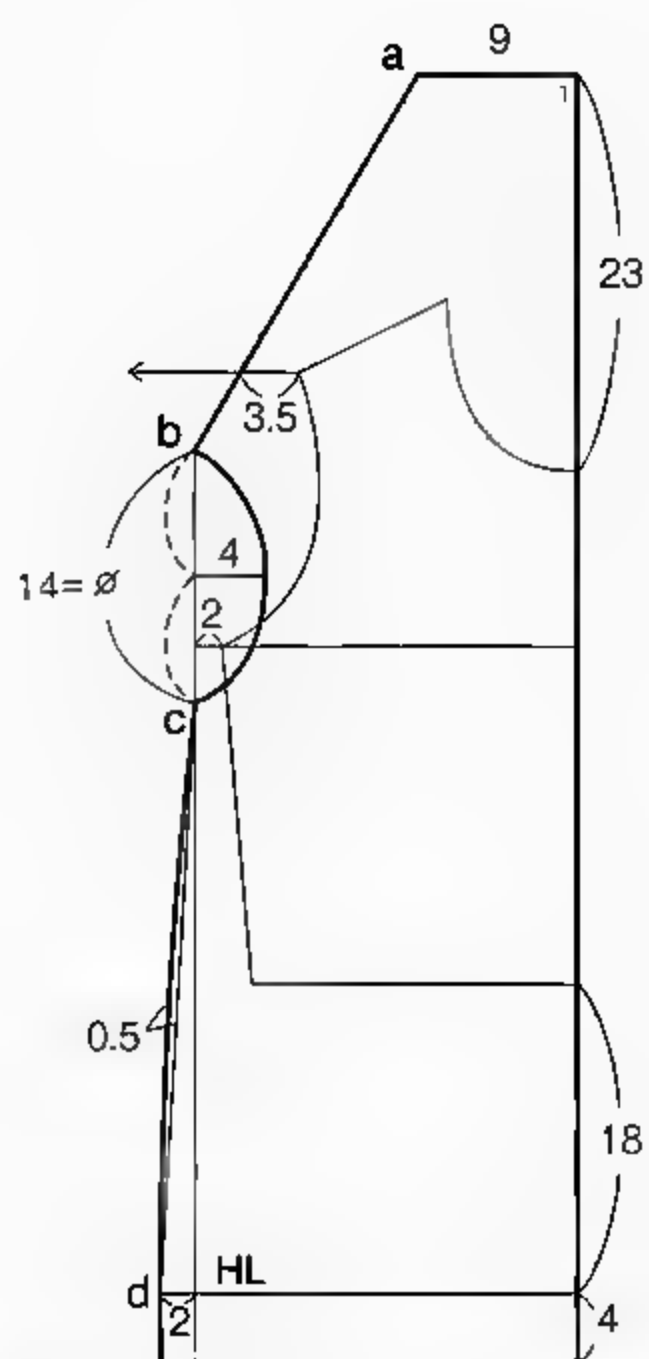
首から裾にかけて、すべてねじったトップスだから

リブを衿ぐり、袖ぐり、裾につけてきれいなドレープを安定させた。

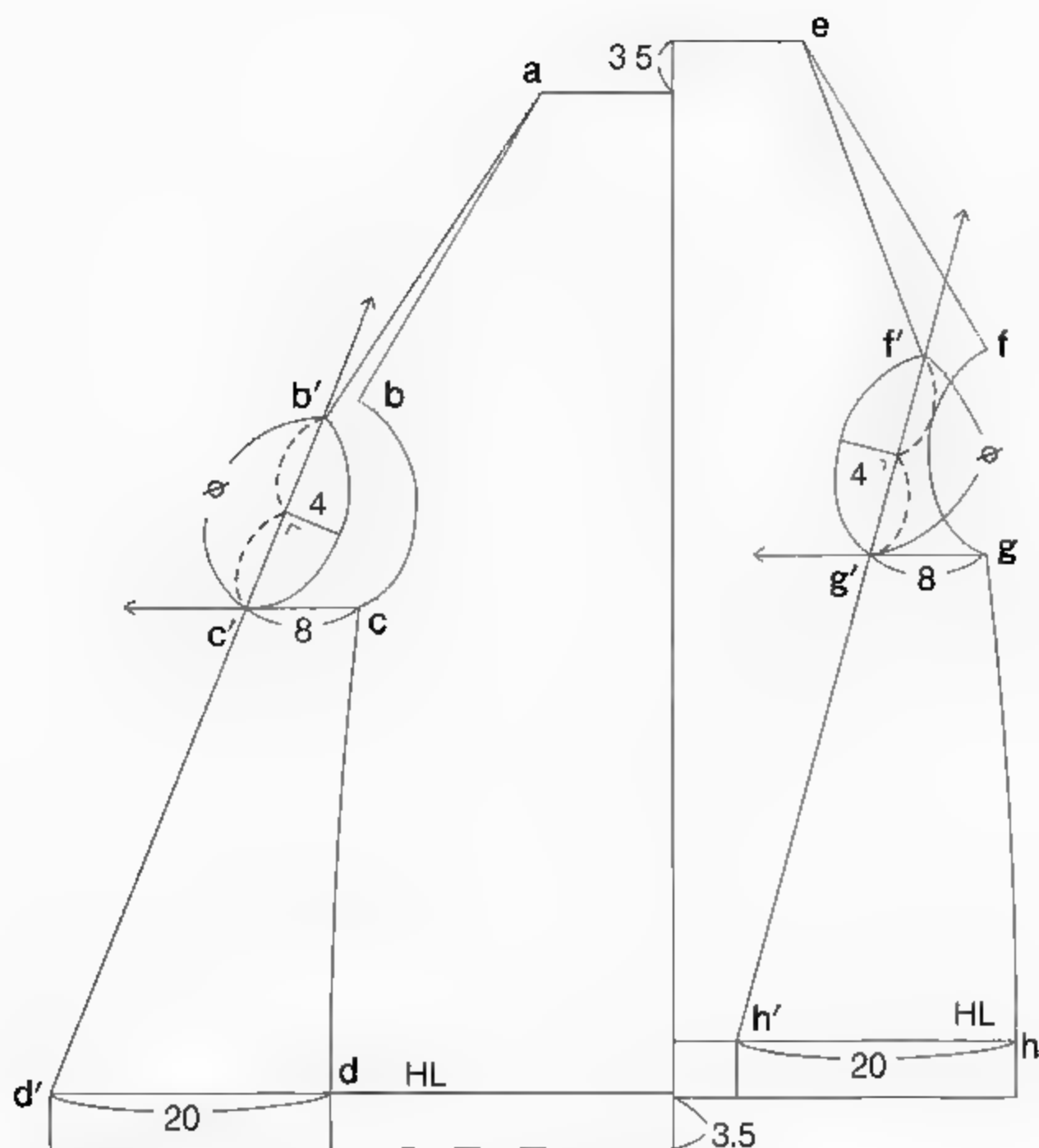
またリブは、ハイネック、袖の二役もこなしている。



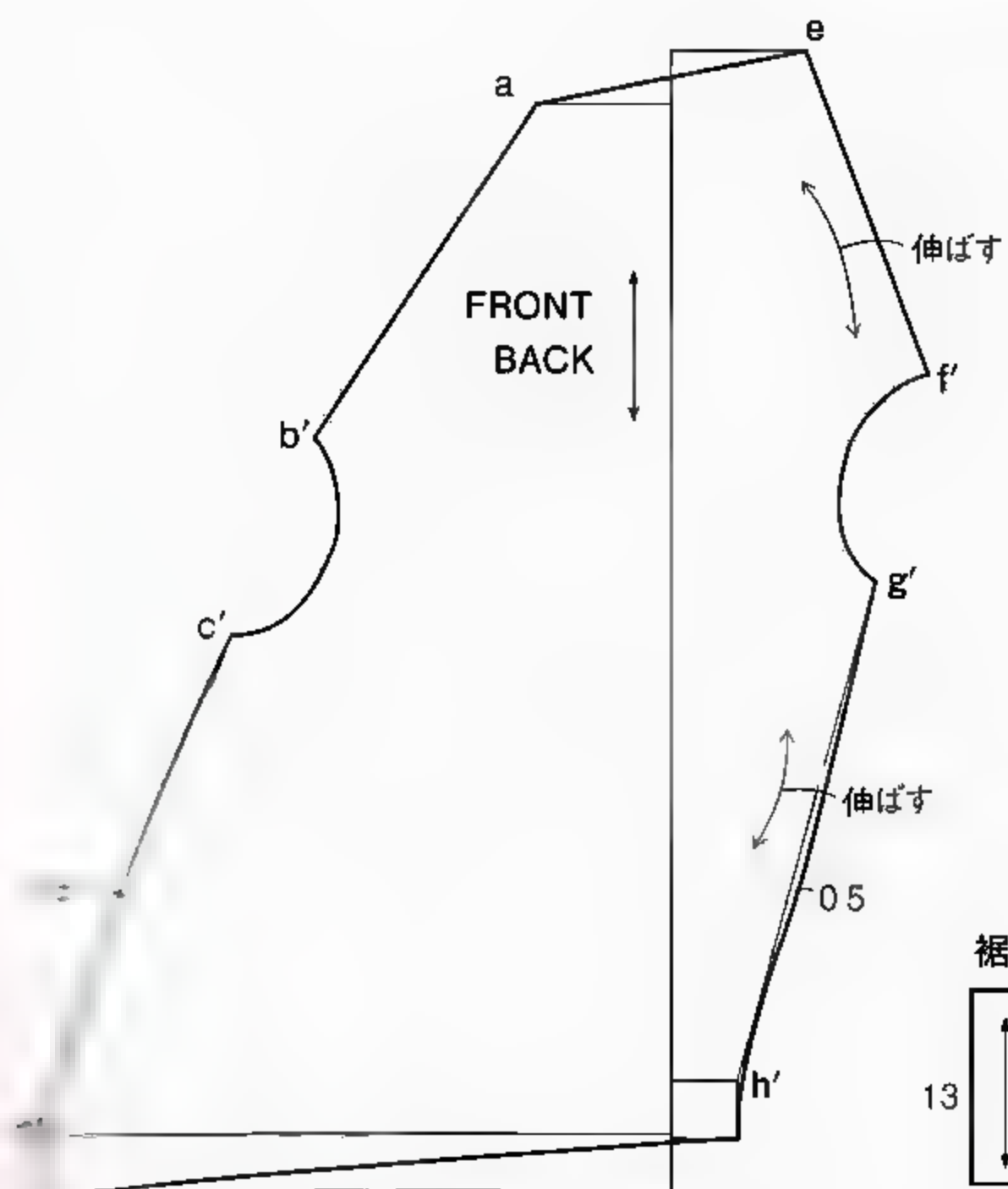
BUNKA



① 前スローパーのウエストから上をかく。ねじを入れるためにシャツのボリュームは追加している。

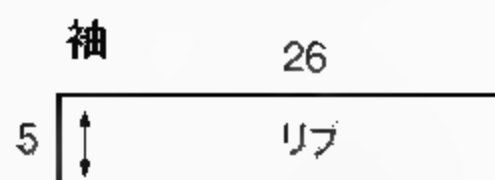
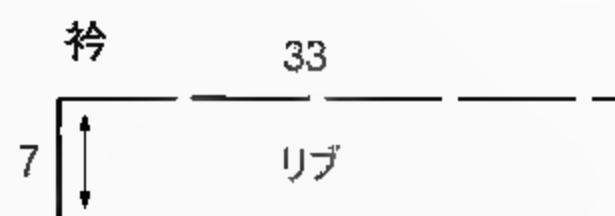


② 右から左にねじりを入れるので、左身頃を3.5cm上げてかく。右身頃の作図をする。dから水平に20cm、cから水平に8cmとり、直線で結び、袖ぐりを移動する。左身頃の作図をする。hから水平に20cm、gから水平に8cmとり、直線で結んで袖ぐりを移動する。これでパターン上でねじりが入った。



③ つまみぐりよく仕上げ線をかく。脇と肩は長いほうに縫って伸ばして縫う。

④ 衿、袖、裾の作図をする。



58ページ“抜け穴A”

伸縮素材なら、狭い抜け穴も広げて

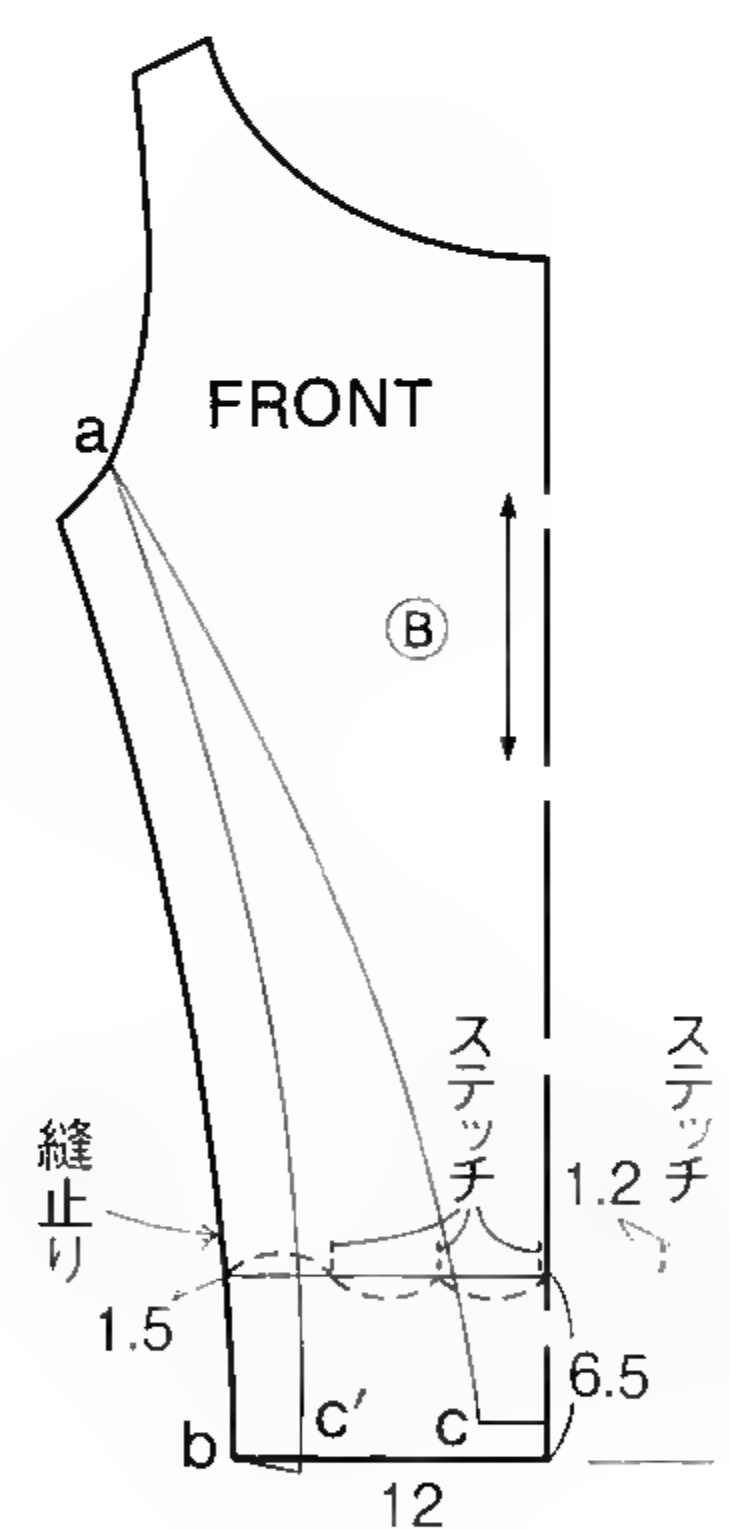
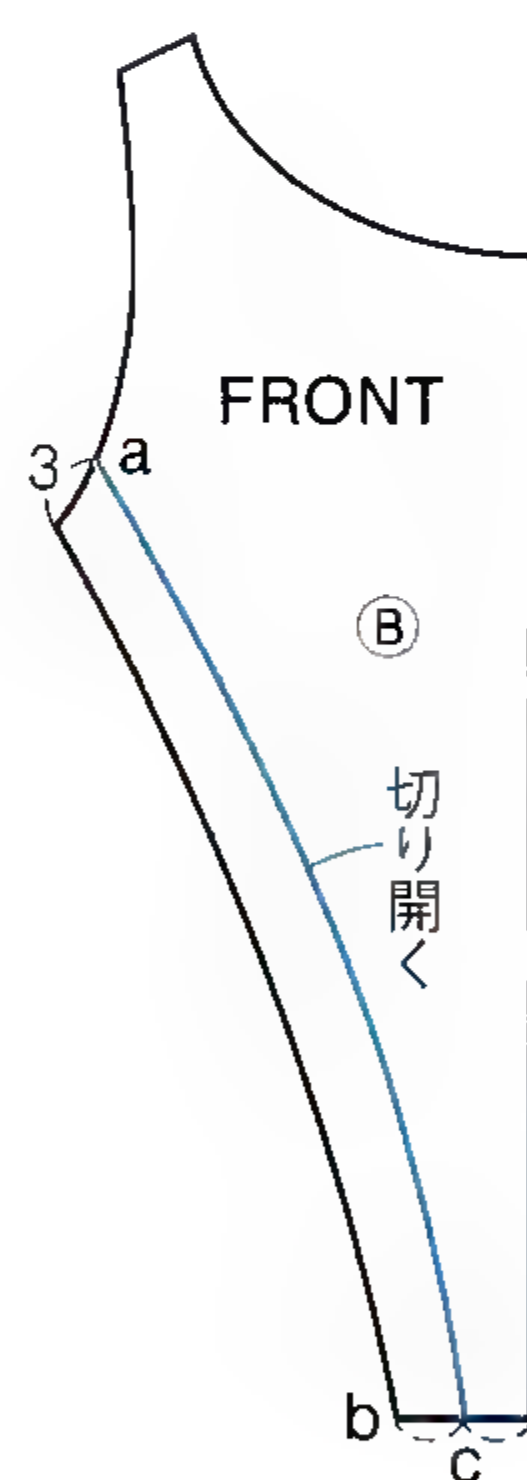
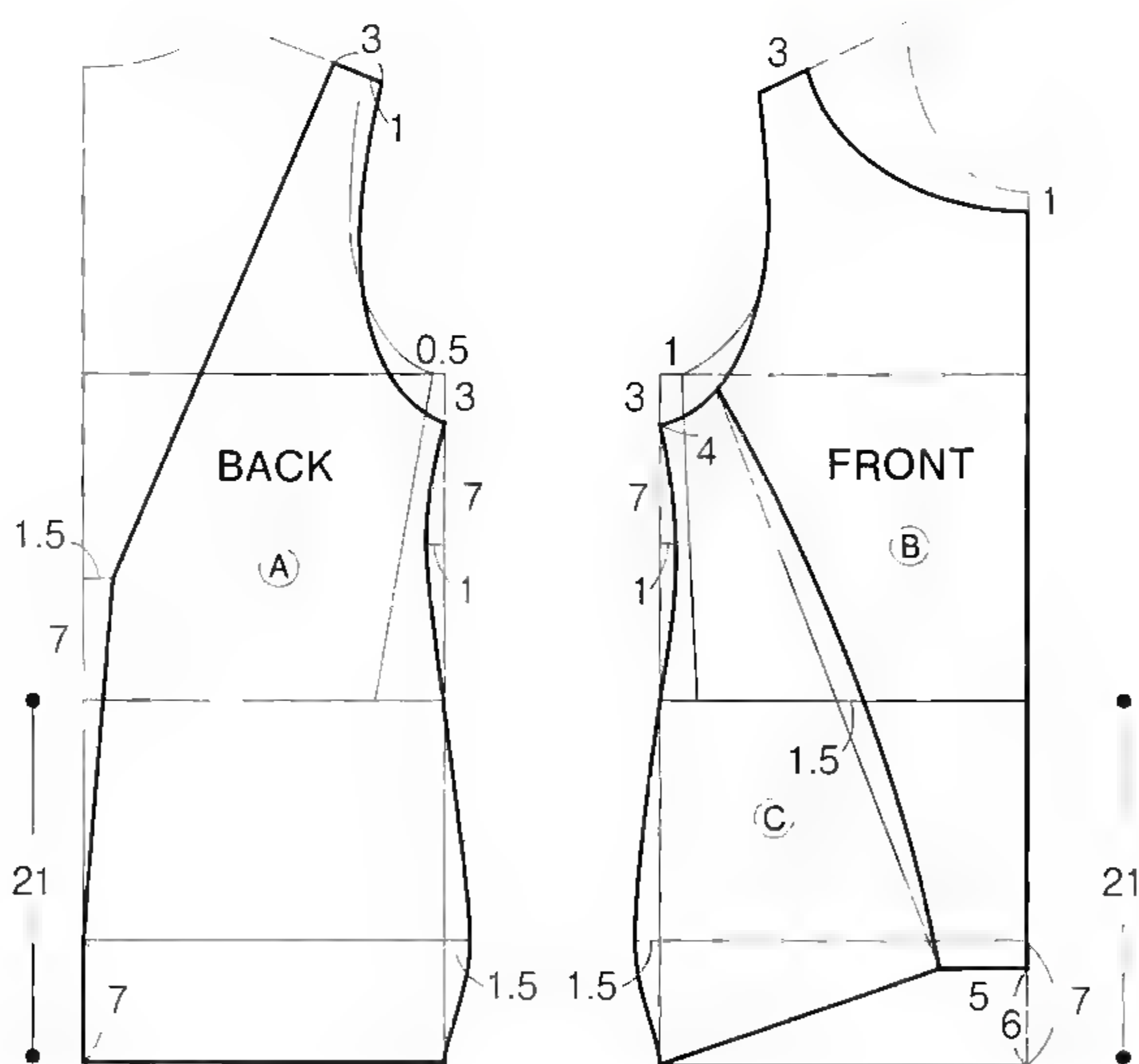
布は自由自在に通すことができる。

そして通った穴は

元に戻ろうと通せんぼして固定してくれる。

切替え線をうまく使って、

抜け穴、通り抜ける布を作ってみた。



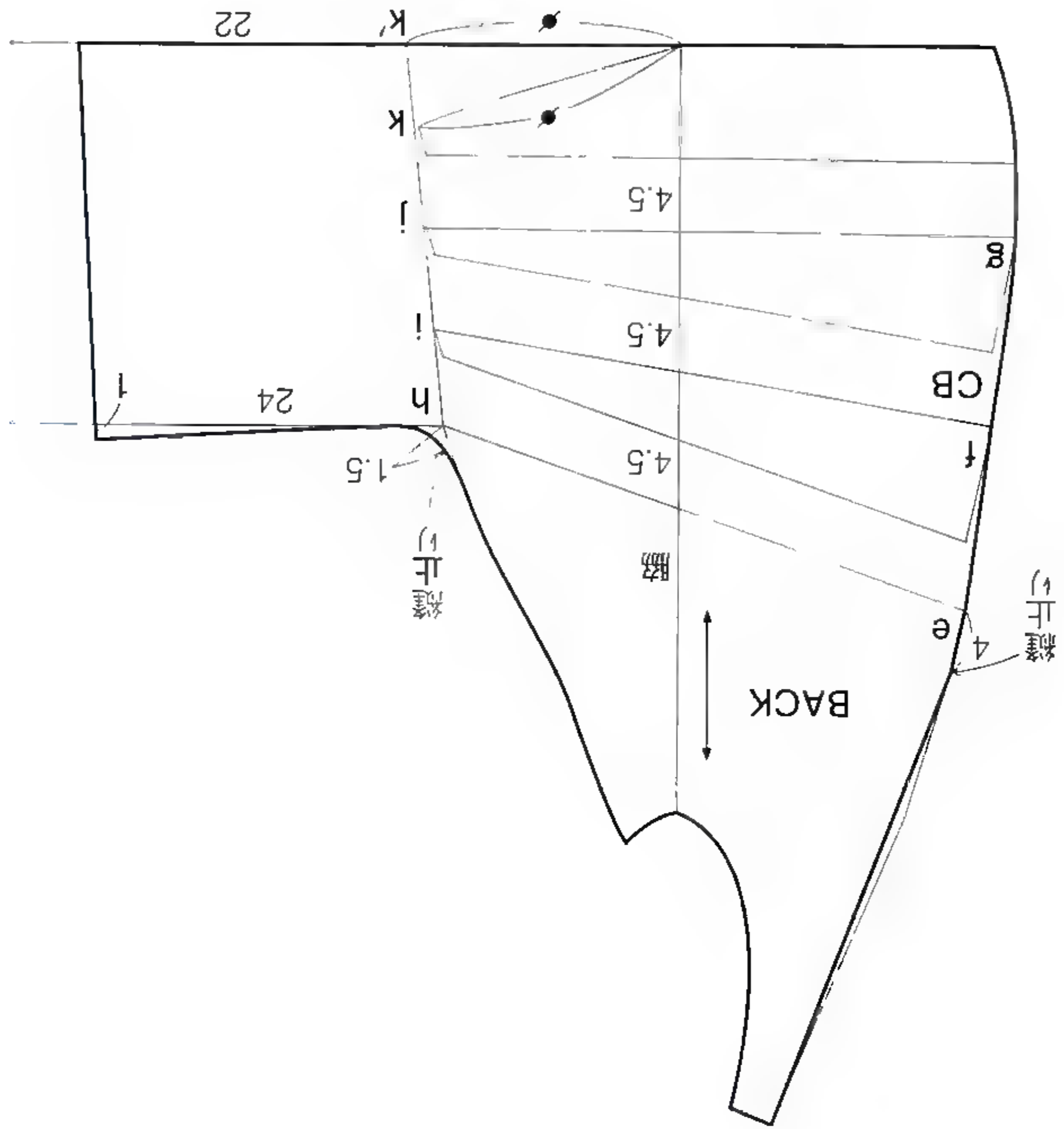
① 前後スローパーのウエストから上を写す。前後身頃の作図をし、①②③とする。

② ③に切開き線进行かく。

③ aを基点に切り開き、縫止りをかく。抜け穴となる部分は、1本のステッチで筒にすると立体的にならないので、1.2cmの細かいステッチを穴に直角にかける。

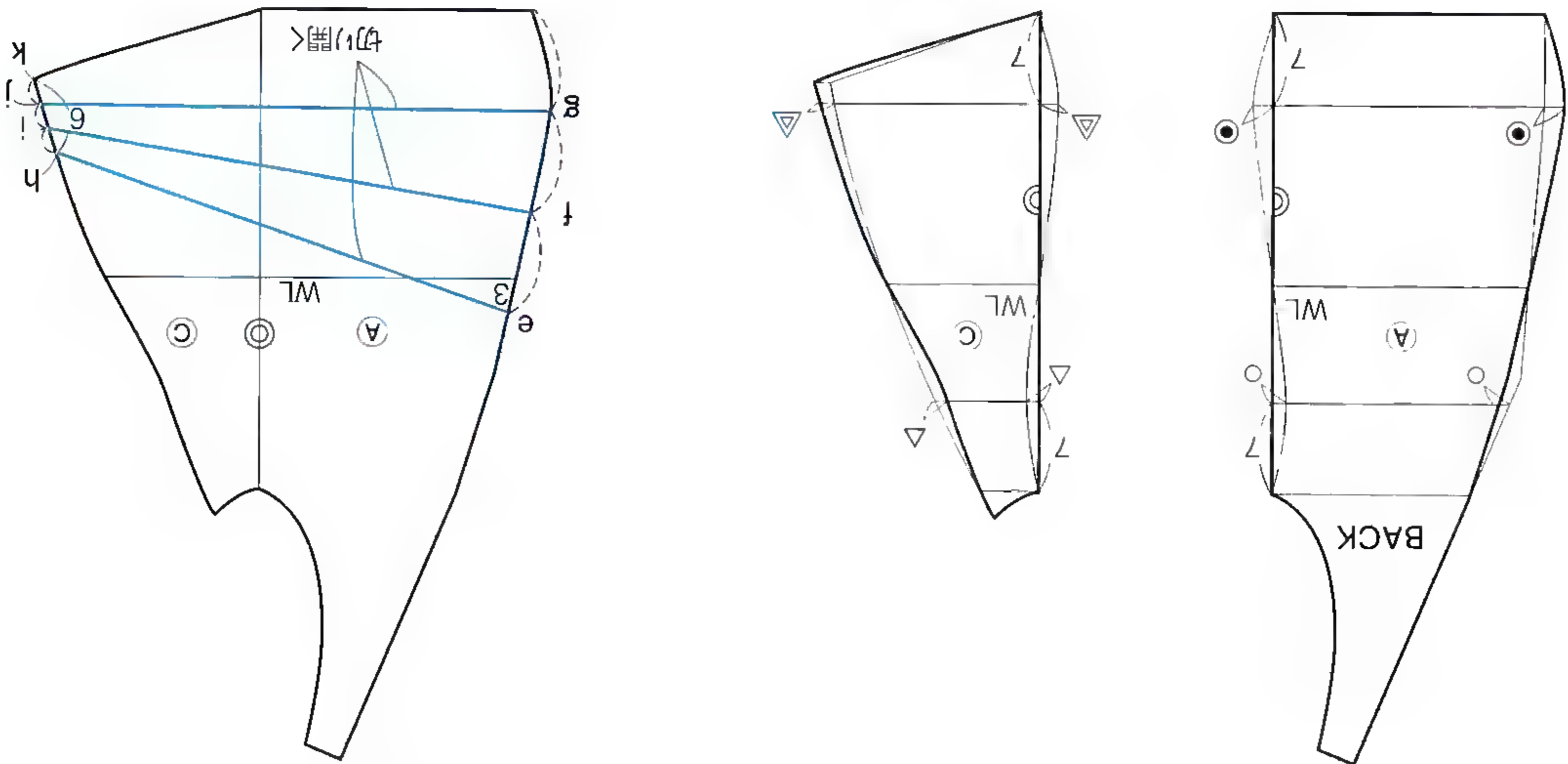


⑥ 切開き線を平行に切り開く。抜け穴を通る布をかき、つながりよく仕上り線をかく。



⑦ 縫い目がないほうがドレスはきれいなので、前後の脇を突き合わせ、脇の線を直線に訂正する。

⑤ ①③を突き合わせる。切開き線をかく。

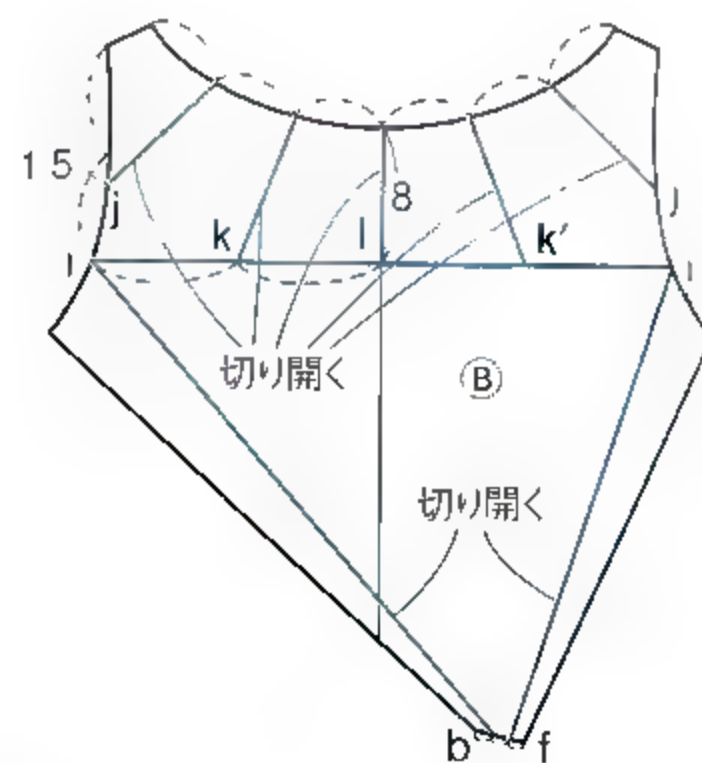
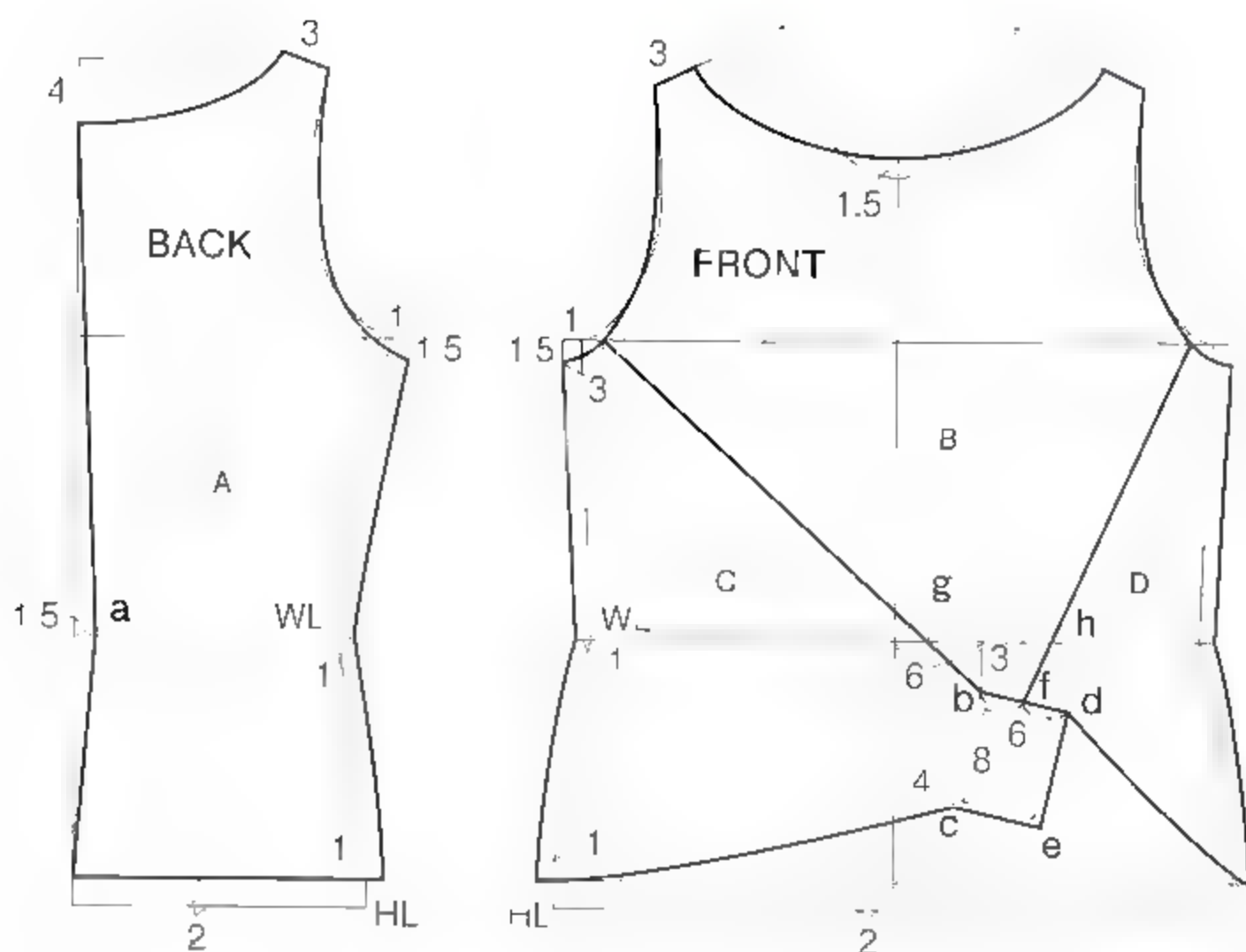


58ページ“抜け穴B”

抜け穴をアシンメトリーにつけたら、モダンな感じになった。

脇の縫い目はなくして、

1枚の布で腰を包むようにデザインした。

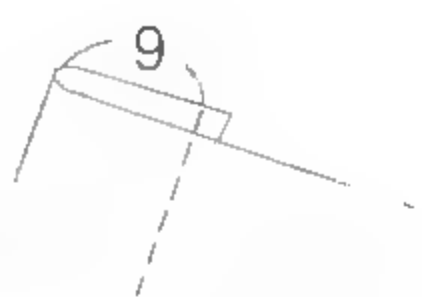


① 前後スローパ のヒップラインから上をかく。後ろ身頃の作図をする。前身頃は左右かき、それぞれA B C Dとする。抜け穴の作図をする。

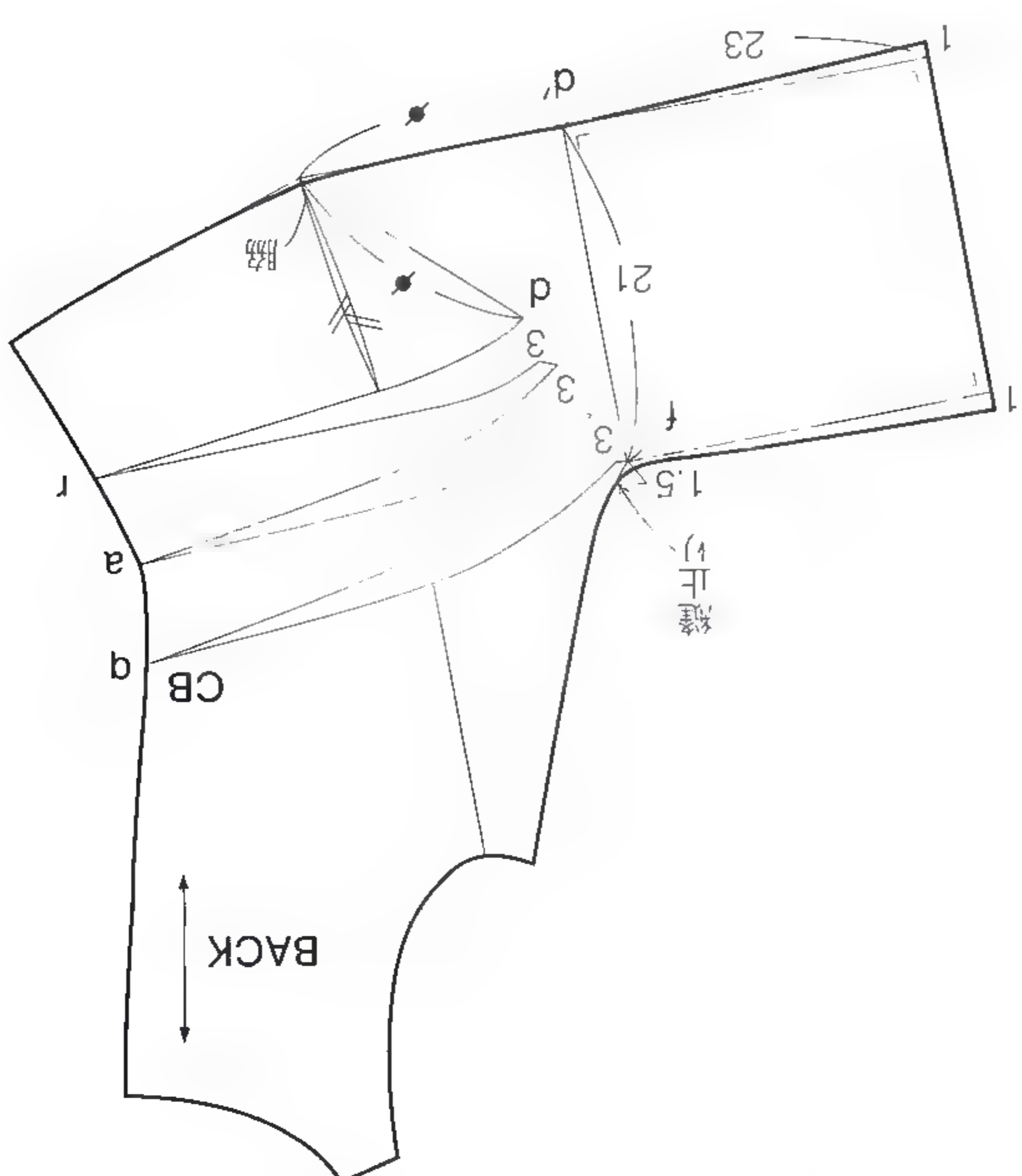
② Bに切開き線を入れる。



⑨ 右身頃を切り開く。縫止りをかく。スリッパをかけて抜け穴

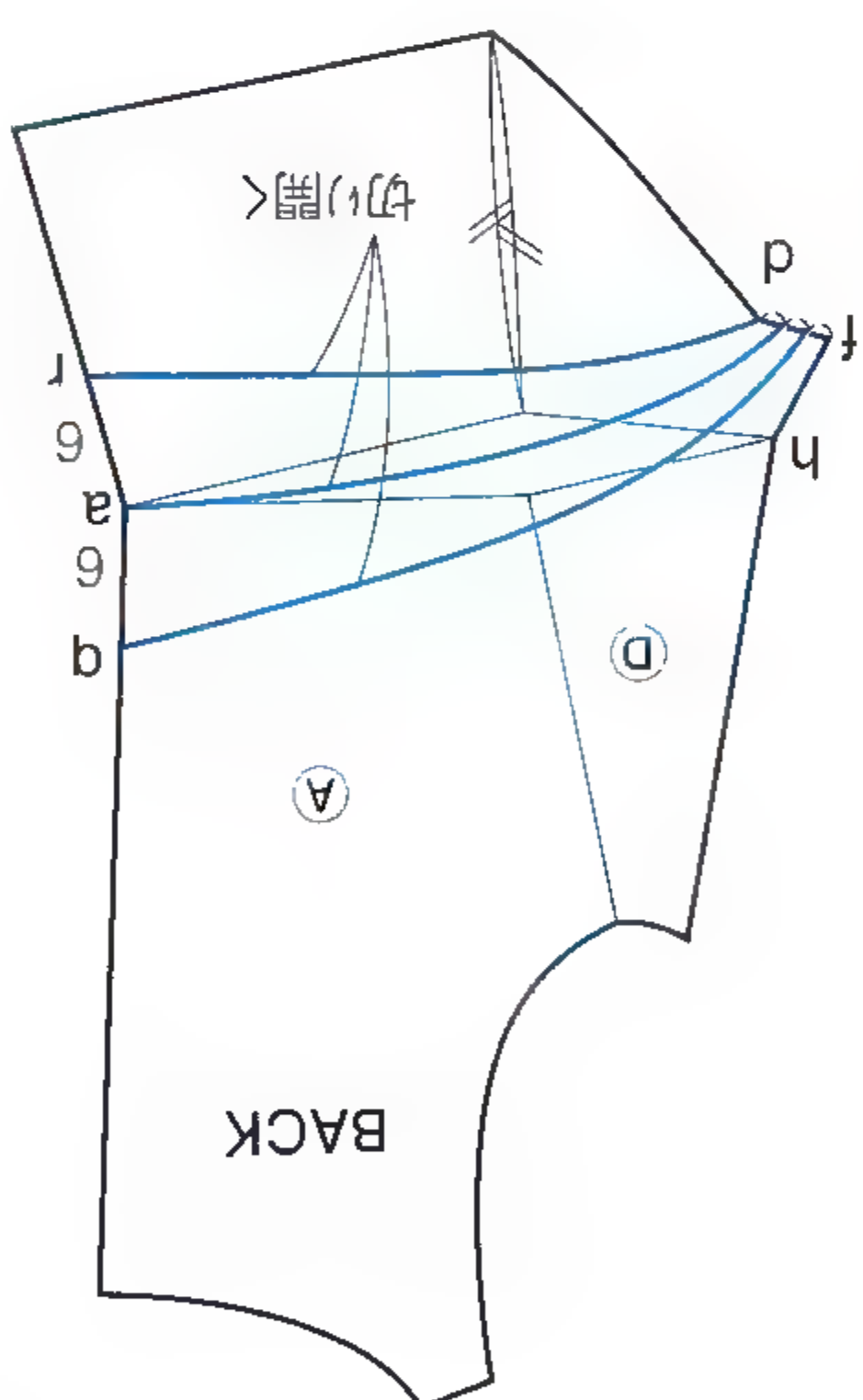


＜仕上り線をか＞。

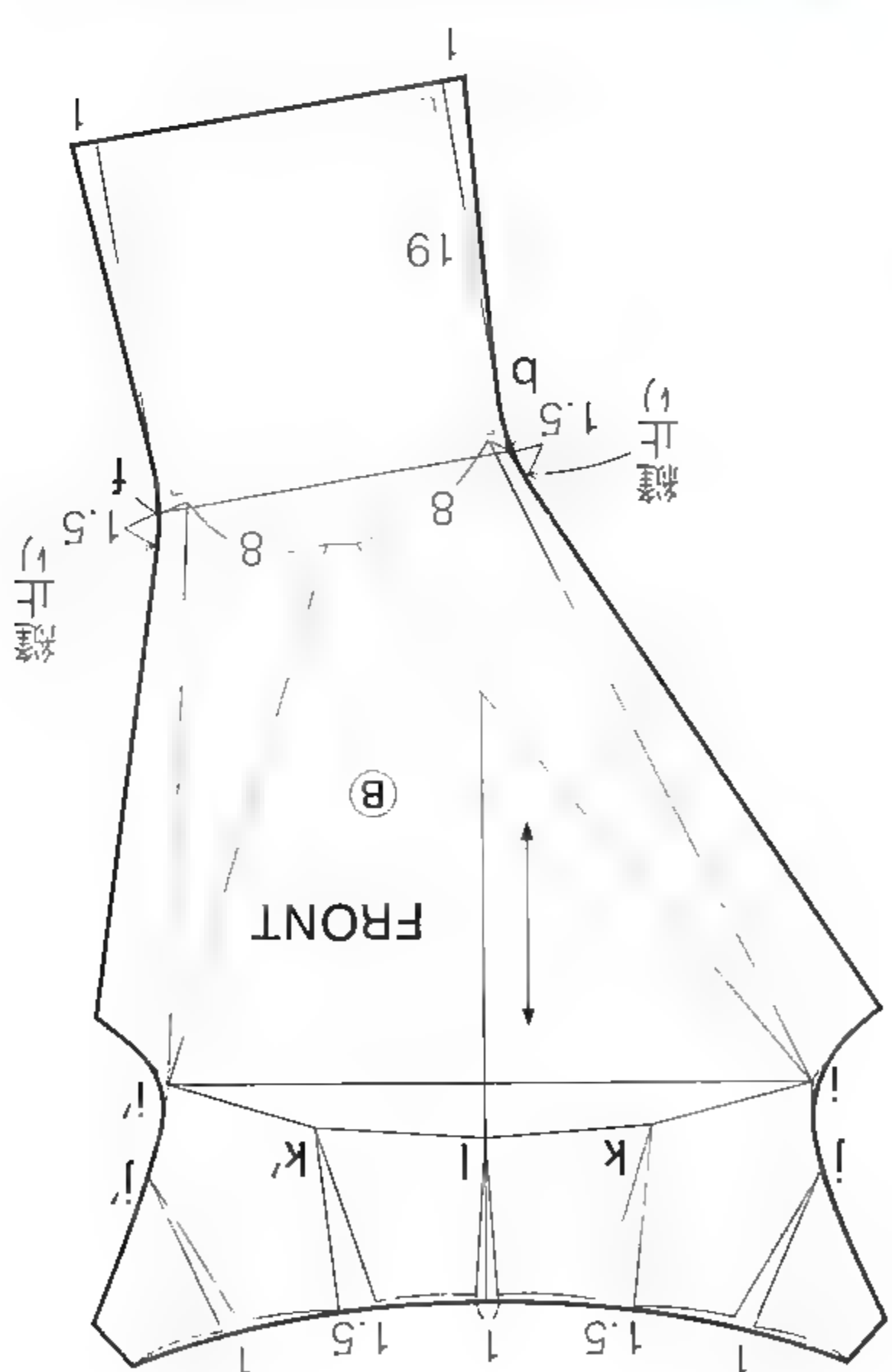


③ 右身頃の作図をする。ウエストラインで切り離し、脇を合わせる。aとgで上下の身頃を合わせる。切

○ 手鏡をかく。

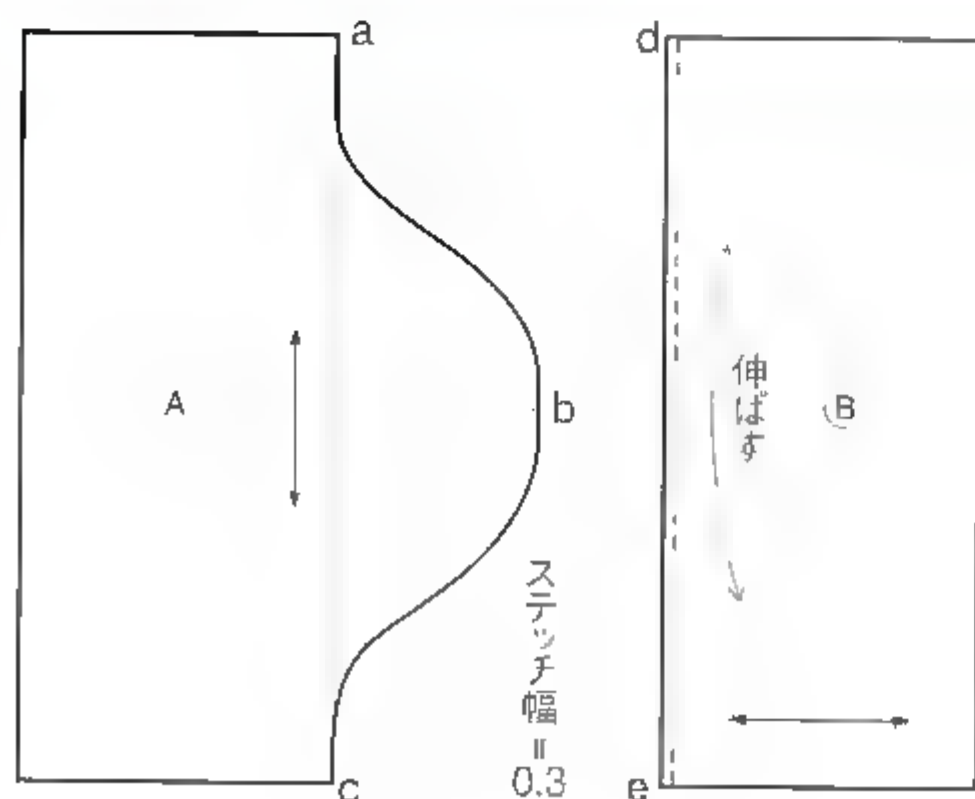


かき、つながらいよく仕上げる。



直線と曲線

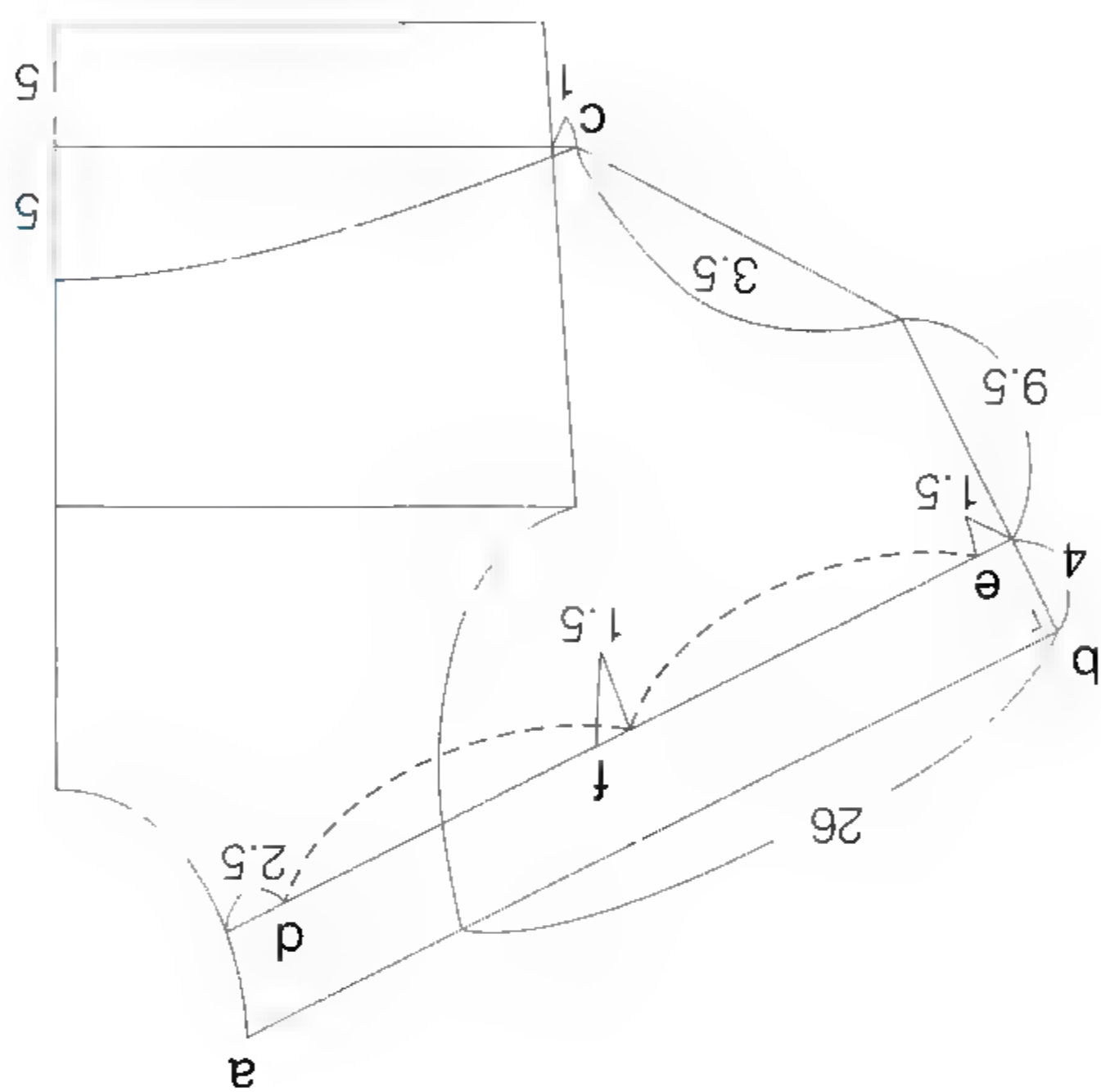
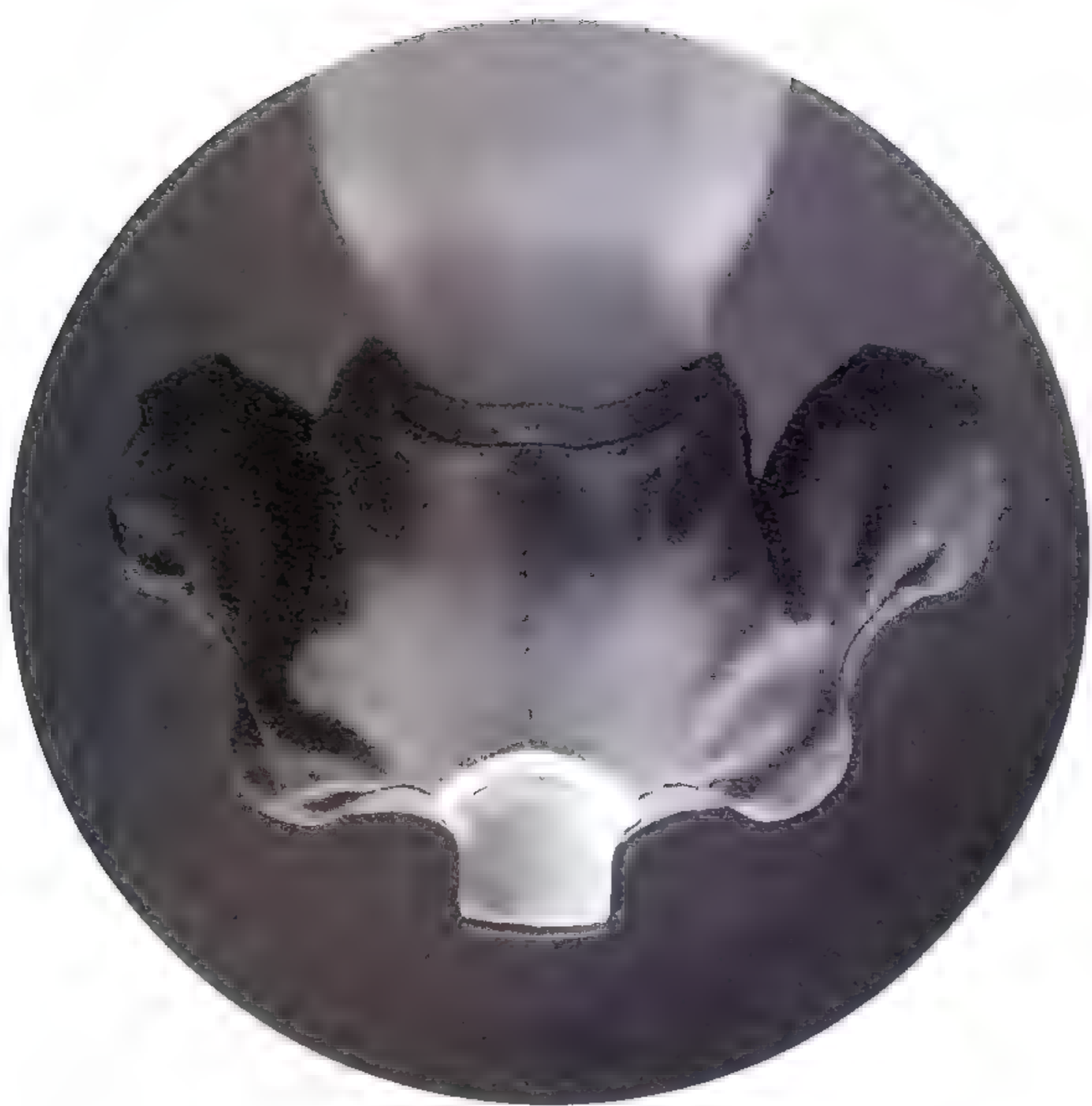
伸縮素材で直線と曲線を縫い合わせると
布に生命が吹き込まれたようで、今にも動きそう。
足して2で割るような、予測できるものとは違う
不思議な立体ができる。



曲線を㊸とし、a,b,cをかく。直線を㊸としd,eをかく。
a~b~cの寸法になるまでd~eを伸ばして縫い合
わせる。このとき㊸を下にしたほうが縫いやすい。
縫い代は㊸側に片返す。㊸を上にしてステッチをかけ
る。ステッチをかけることで、伸ばして縫った状態を
キープすることができる。

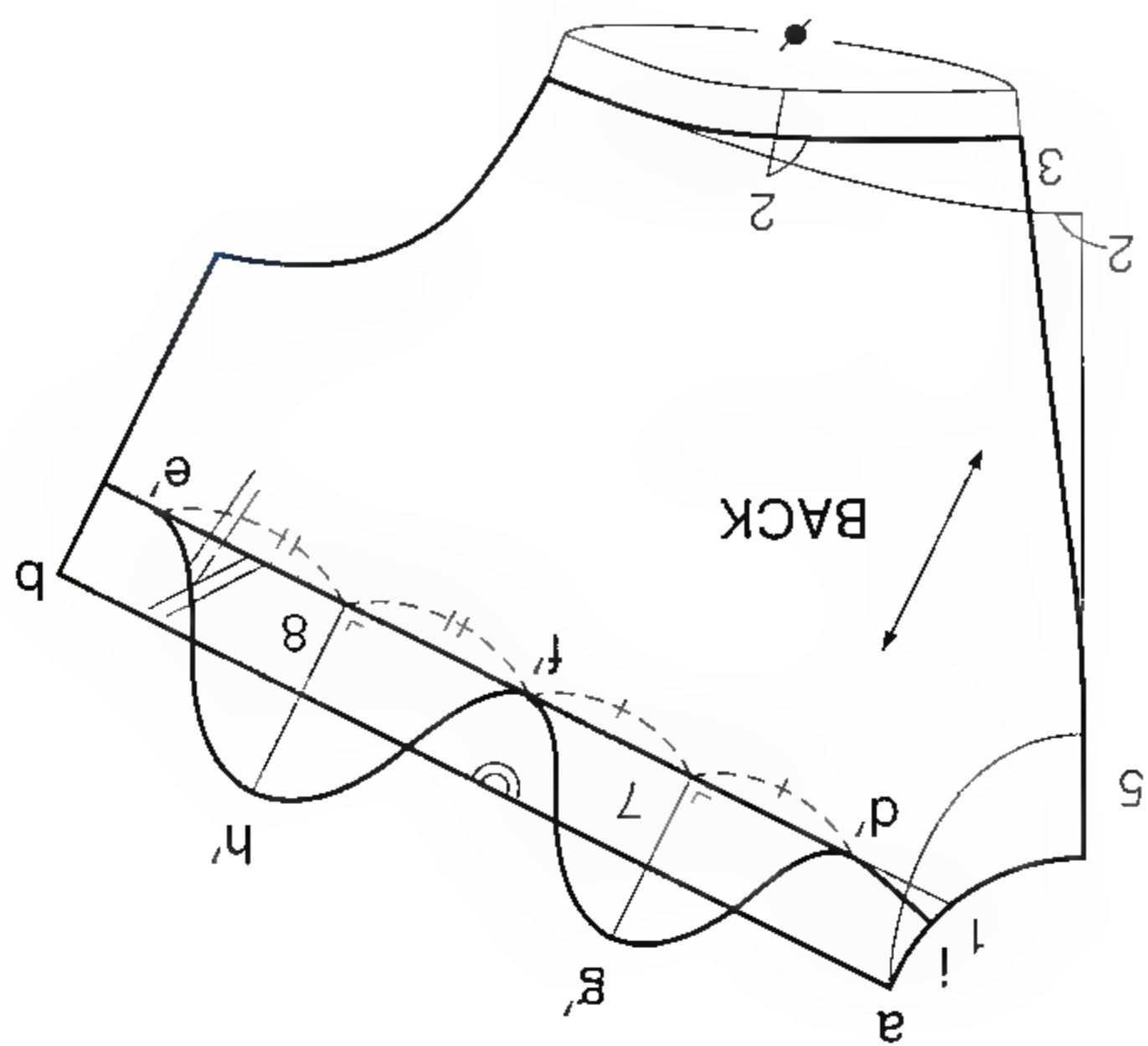
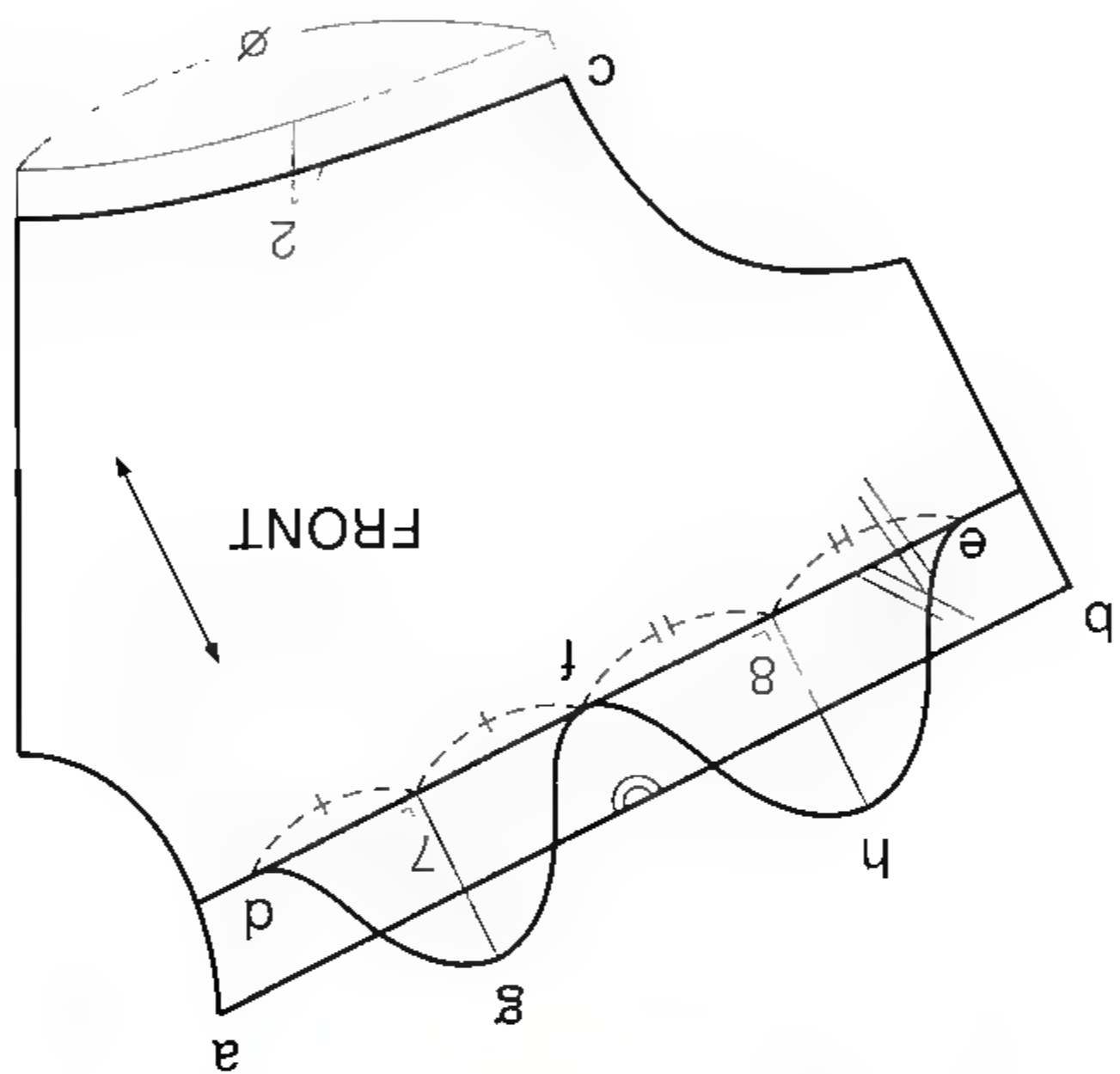
60ページ“直線と曲線A”

さくだの背中のこぶのような、大きなカーブを袖につけた。
袖が印象的に見えるように、身頃は小さくまとめた。



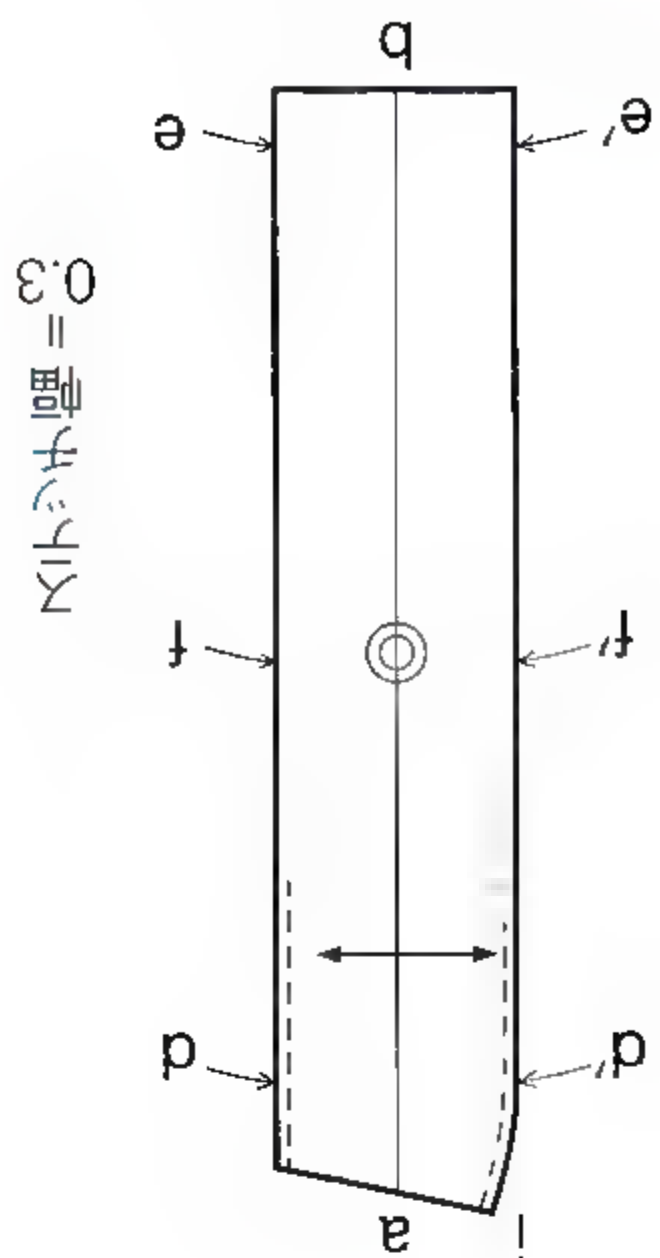
① 前スローパーのウエストから上をかく。前身頃の作図をする。

② 肩の切替え線上に直線と曲線をかき、裾布をかく。

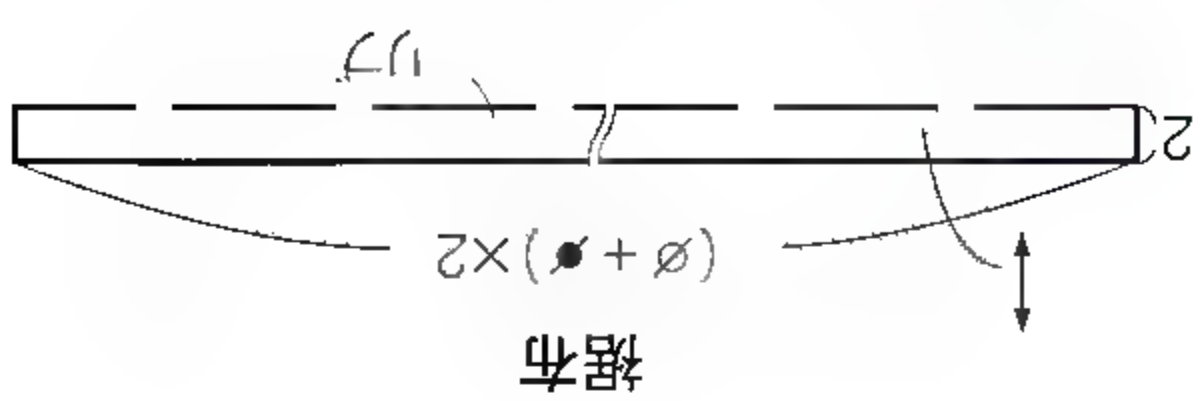


③ ①を反転して、後ろ身頃の作図をする。肩の切替え線上に直線と曲線をかき、裾布をかく。

④ 前後の肩を突き合わせる。

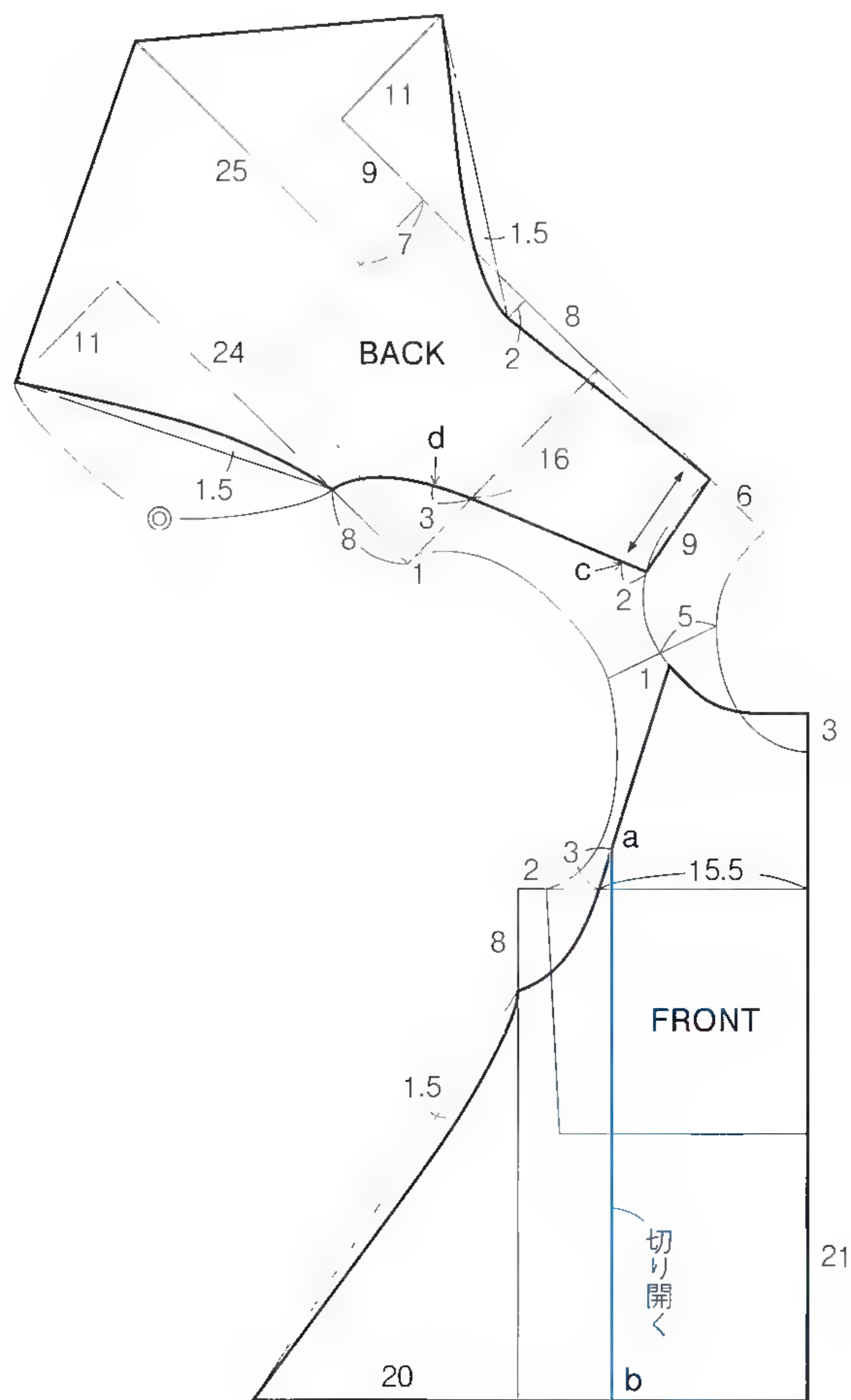


⑤ 裾布の作図をする。

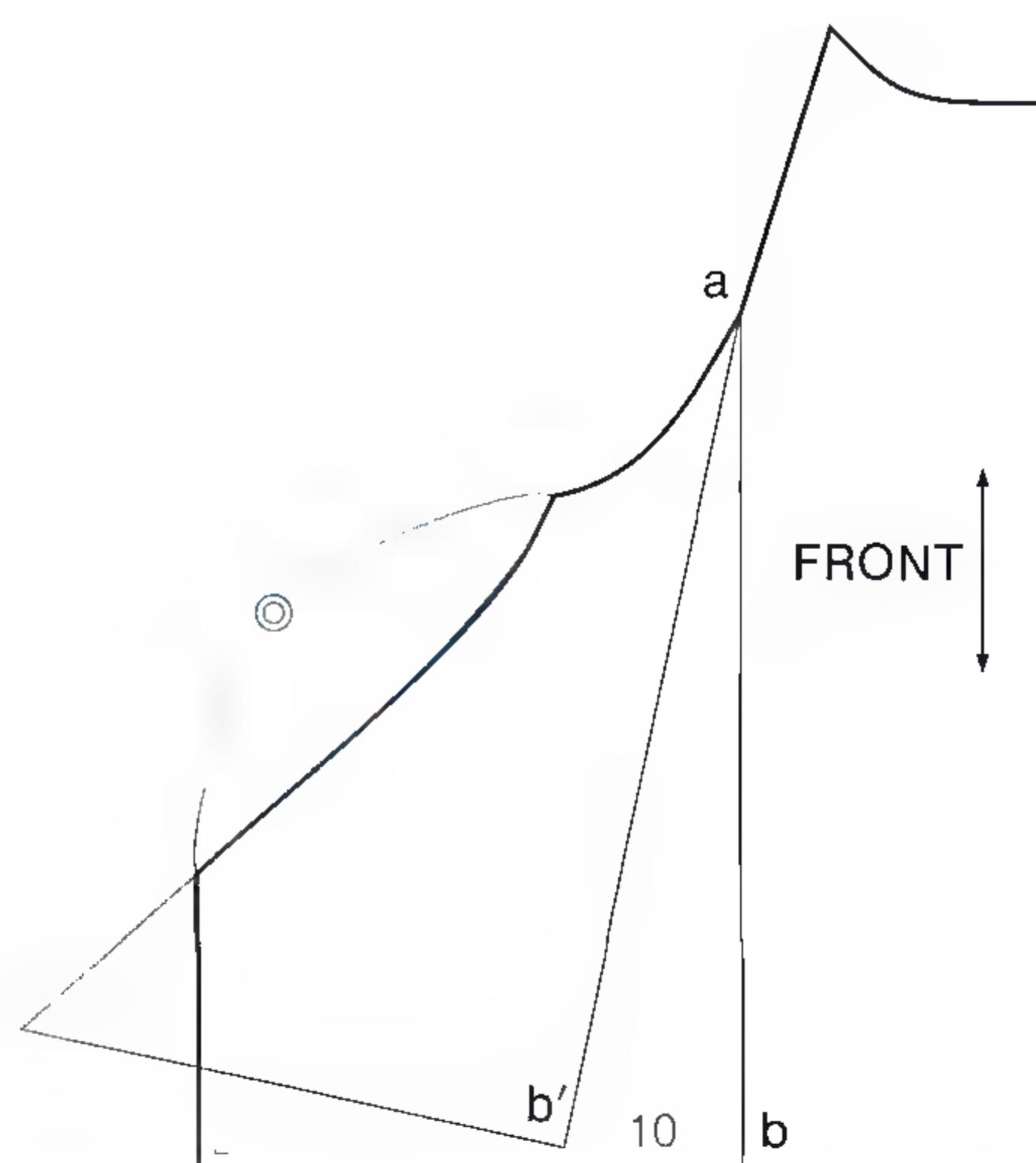


61ページ“直線と曲線B”

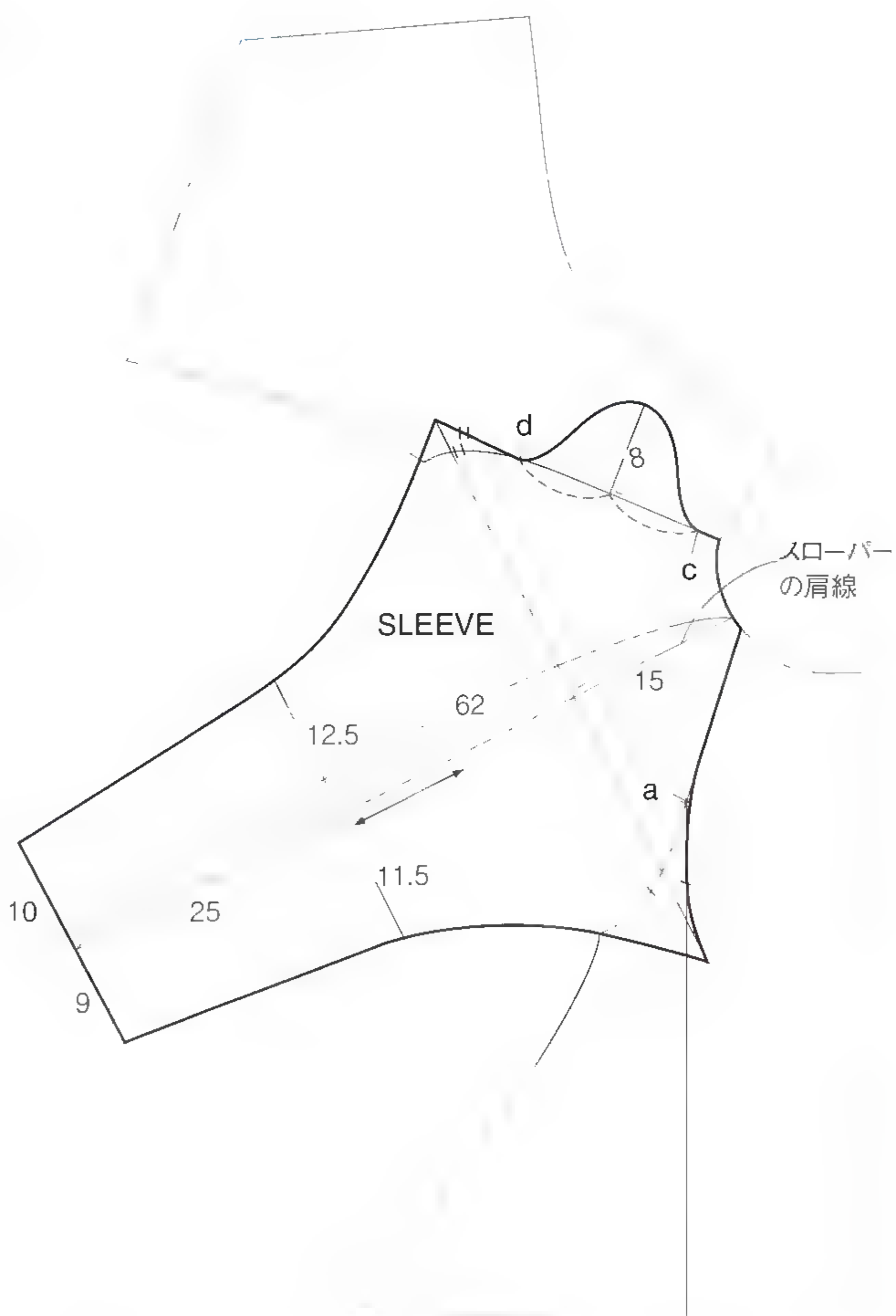
“直線と曲線”を肩甲骨のところにしたら、
天使の羽が生えたような背中美人の服になった。



① 前後スローパーを肩で合わせてかく。前後身頃の作図をする。前身頃に切開き線を入れる。



② 前身頃を切り開く。仕上り線をつながりよくかく。



③ ①の作図の上に袖の作図をする。後ろのラグラン線に曲線をかく。仕上り線をつながりよくかく。



62ページ“カンガルー”

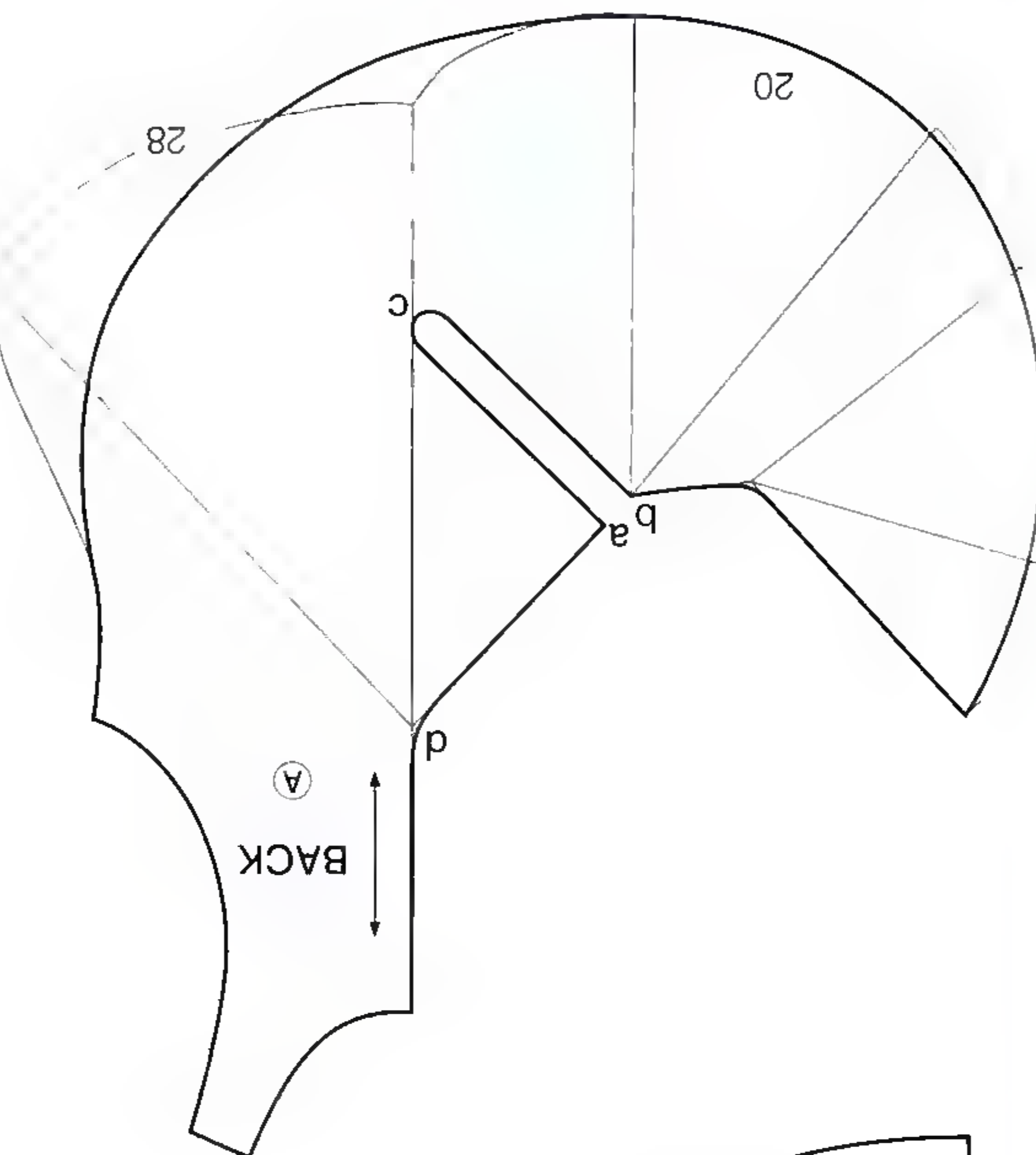
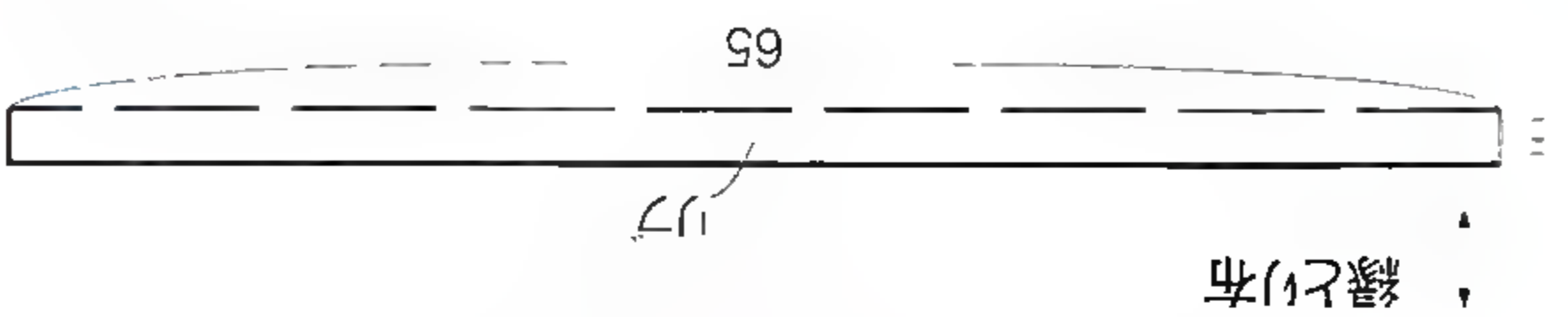
カンガルーみたいな、大きなまあるい袋がついているトップス。

前中心についているひもを縮めると、袋がもっとまあるく膨らんでくる。

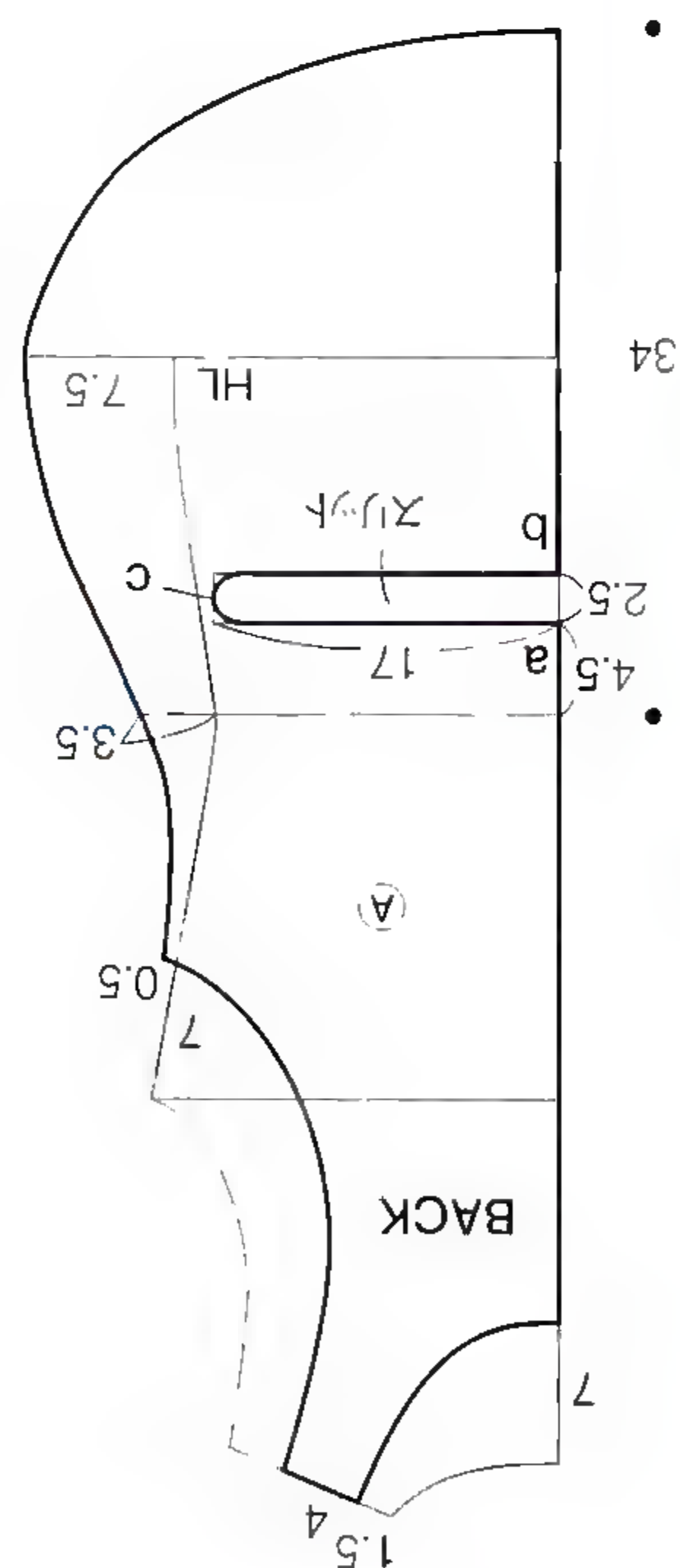
後ろのスリットから、くぐり抜けるようにして頭を出す



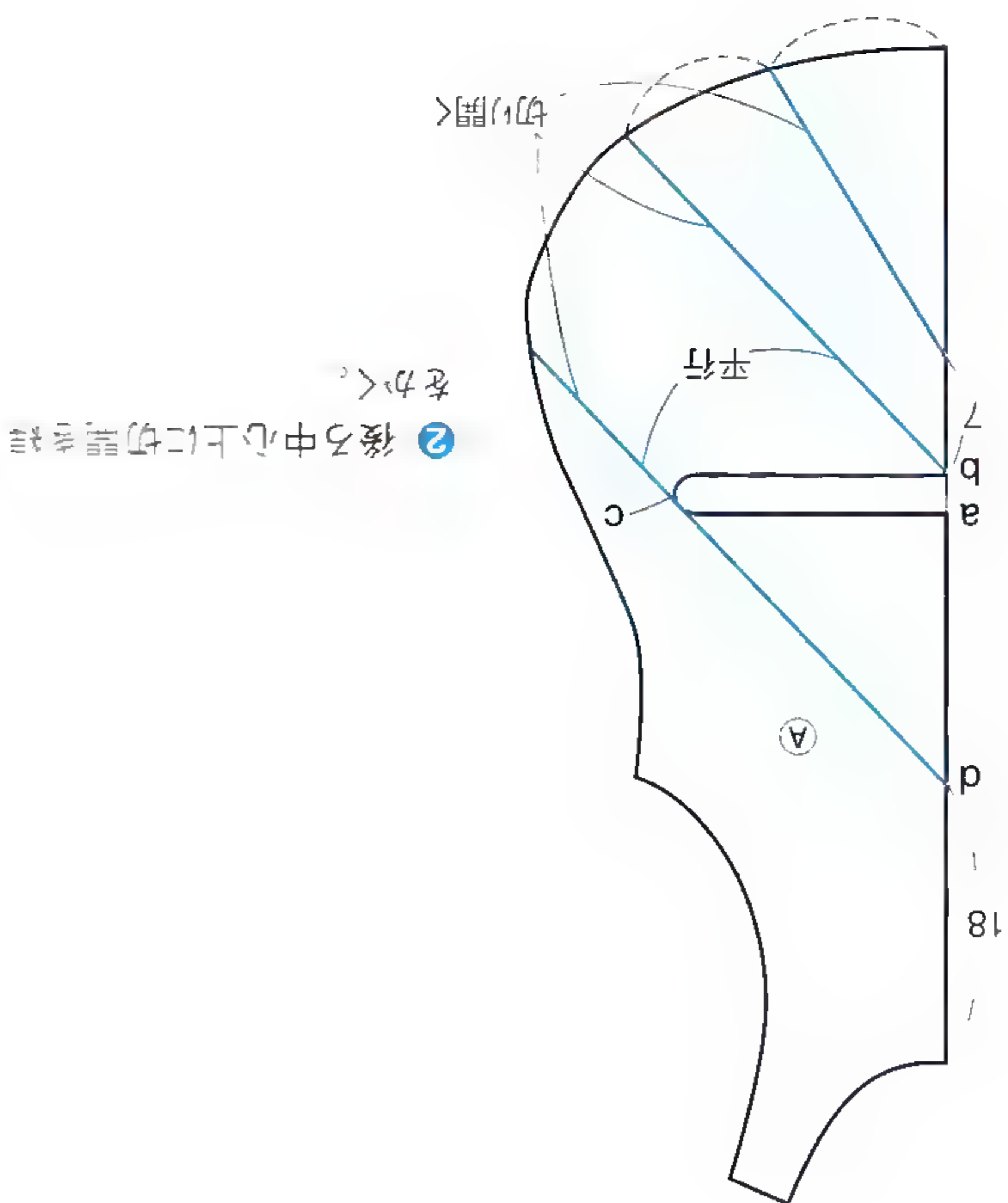
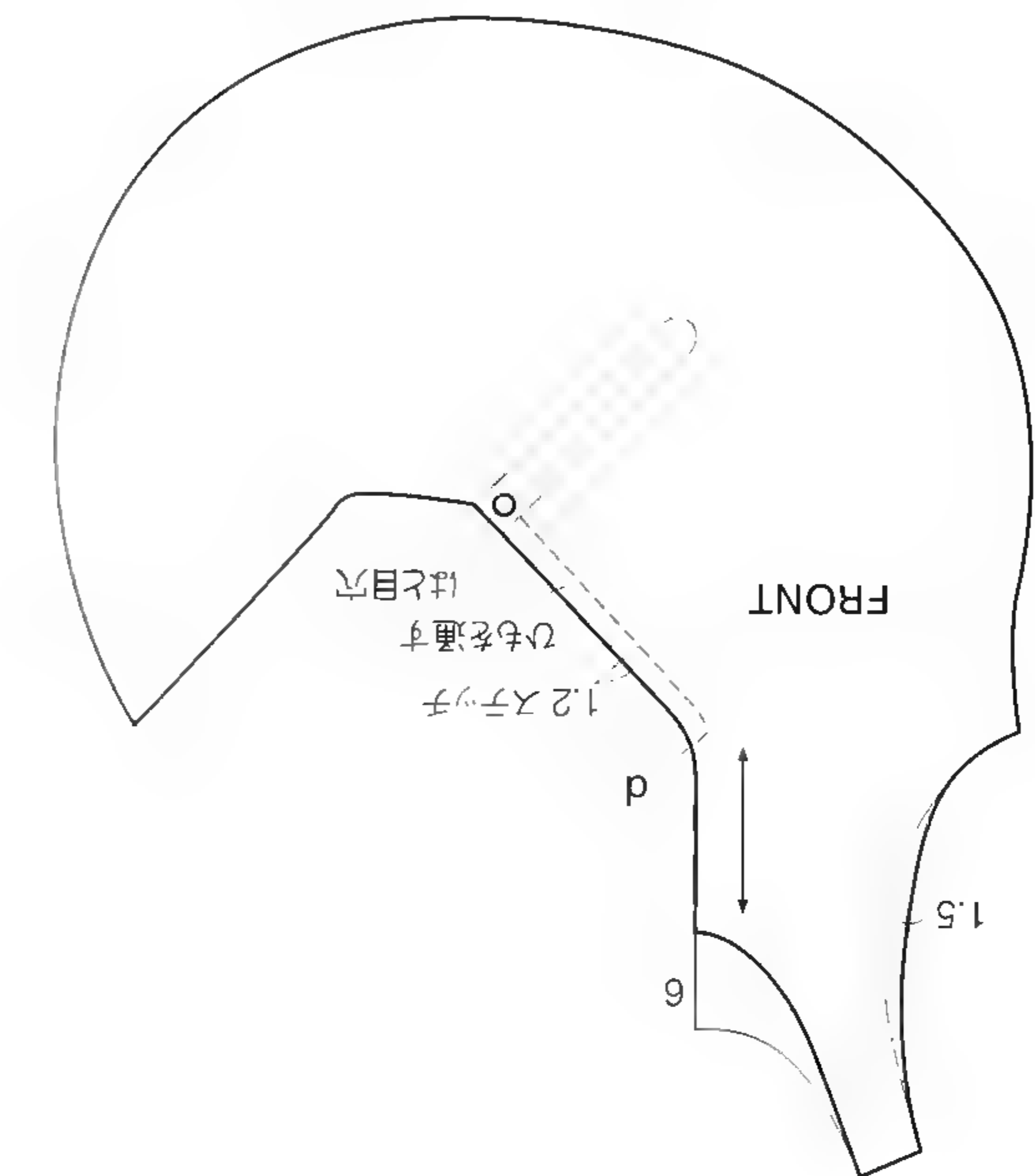
③ 後ろ身頃の切開き線を切り開き、仕上り線をつながりよくか
緑とリ布の作図をする。緑とリ布はa~c~bにつける。



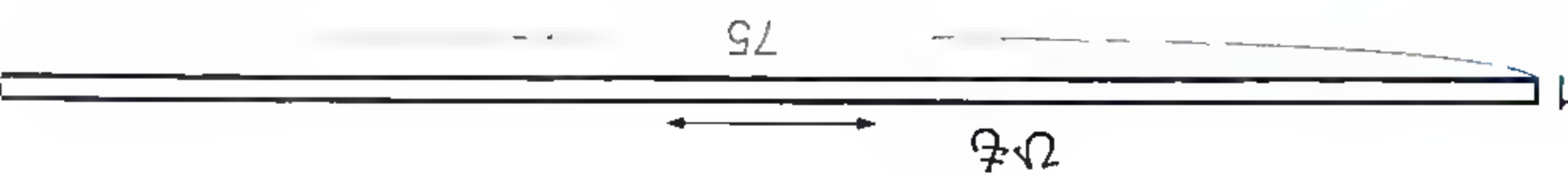
① 後ろスローパーのヒップ
ラインから上をかく。後ろ
身頃の作図をする。後ろに
スリットをかく。



④ 後ろ身頃を反転して、前身頃の作図をする。ひもを通すこ
のスリット線をかき、仕上り線をつながりよくかく。



⑤ ひもの作図をする。



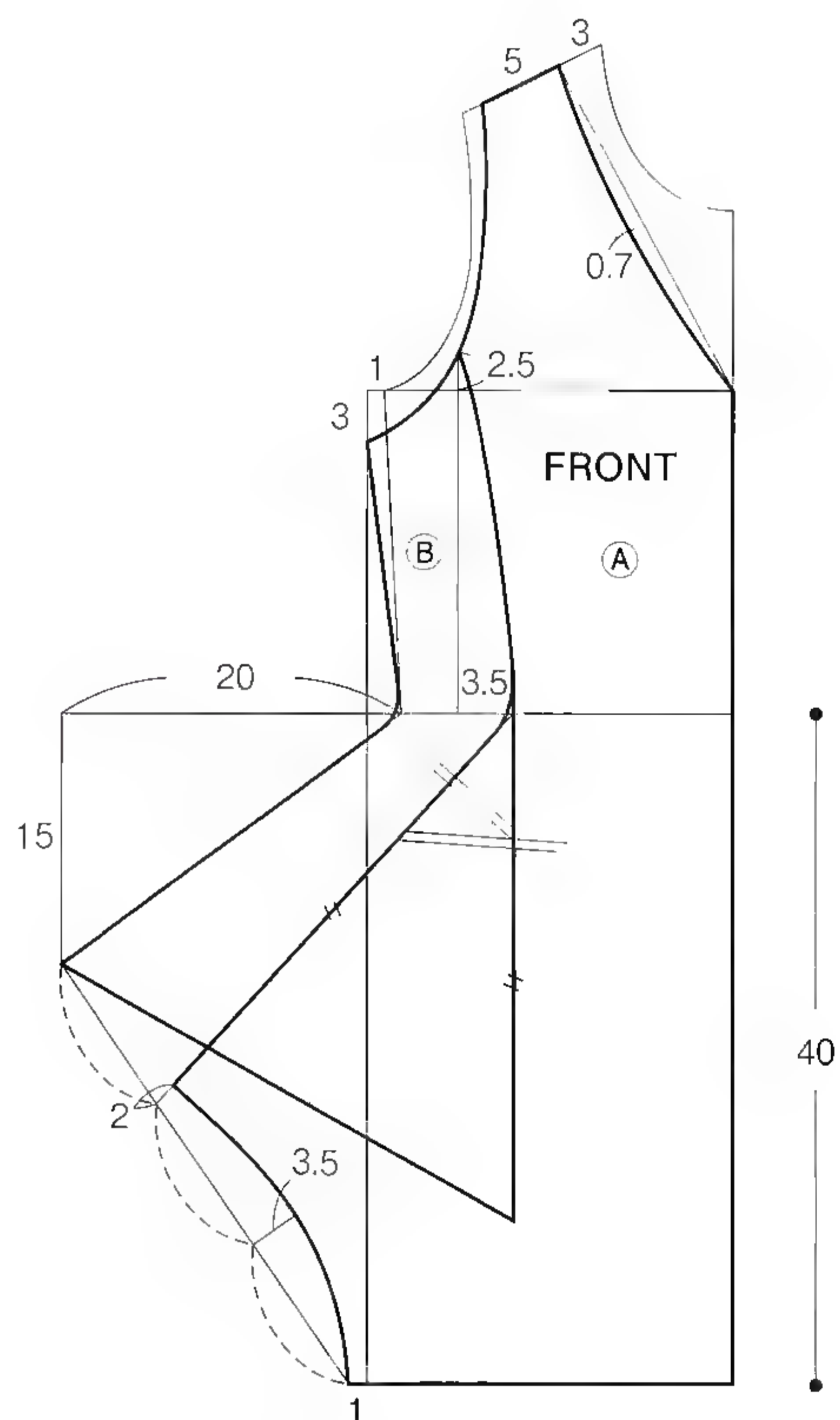




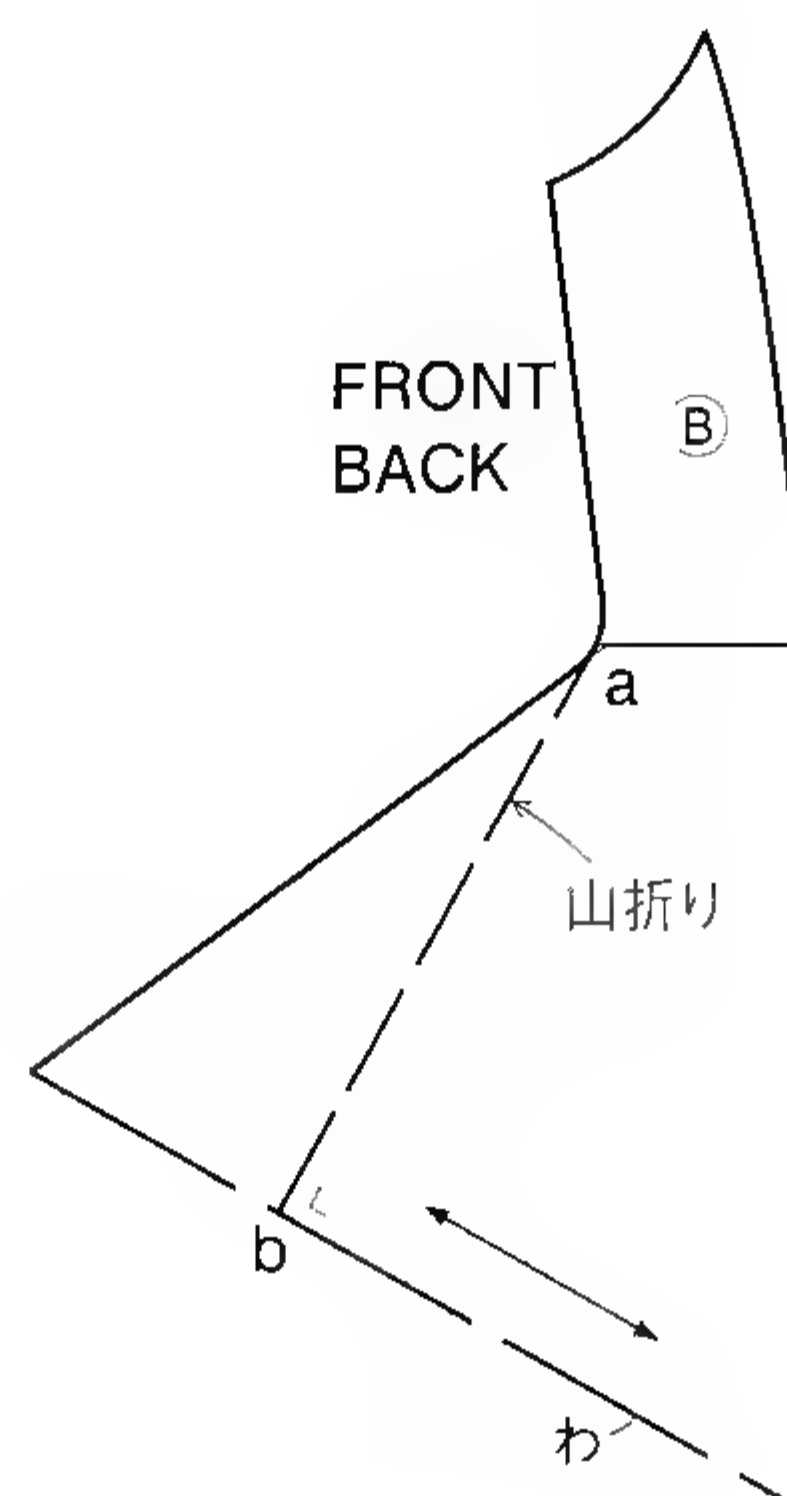
64ページ“えい”

水族館で人気者のえい。

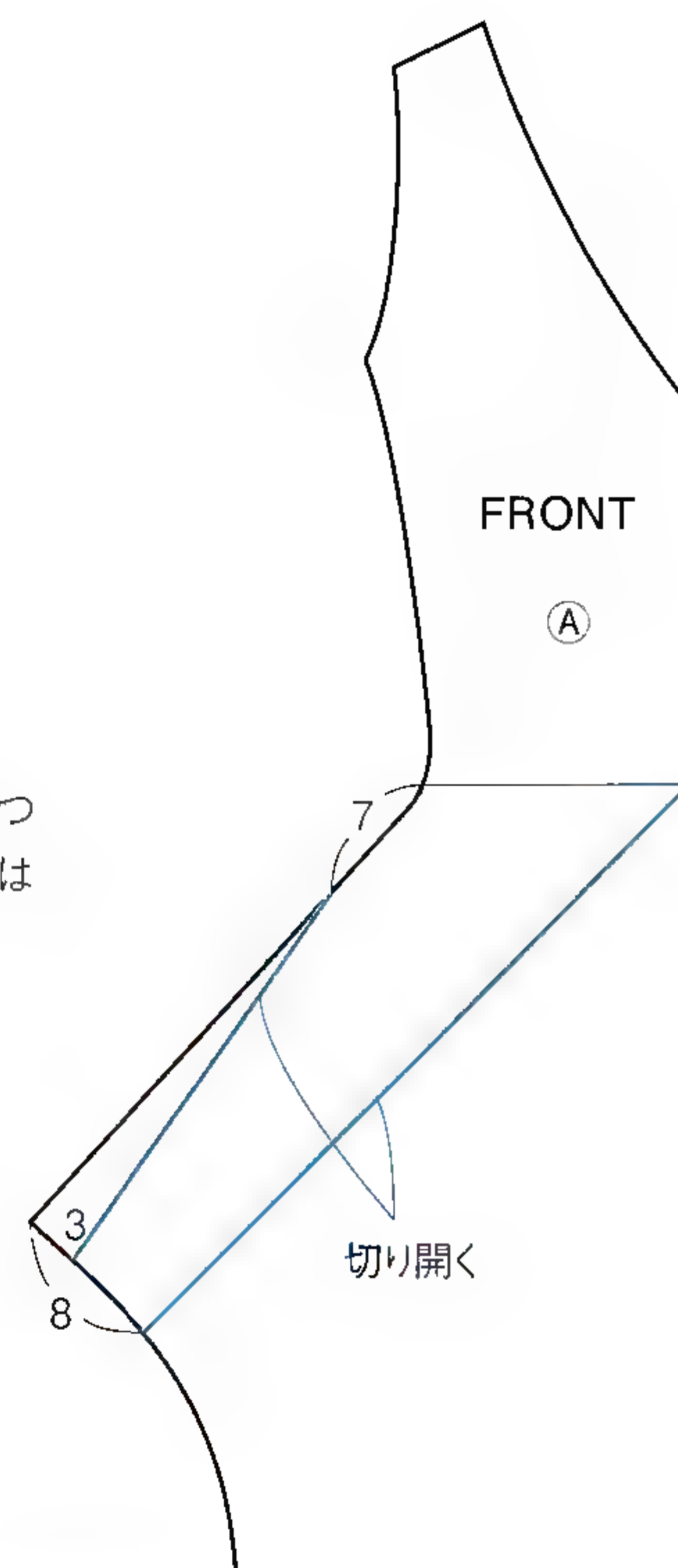
ひれを大きく動かして向かってくる姿は圧巻だけど、
おなかを見せてターンするとき、
ちらっと見せる恥ずかしそうな顔がなんともかわいい。
広がったスカートと横からの扁平なシルエットに
水族館のえいを思い出した。



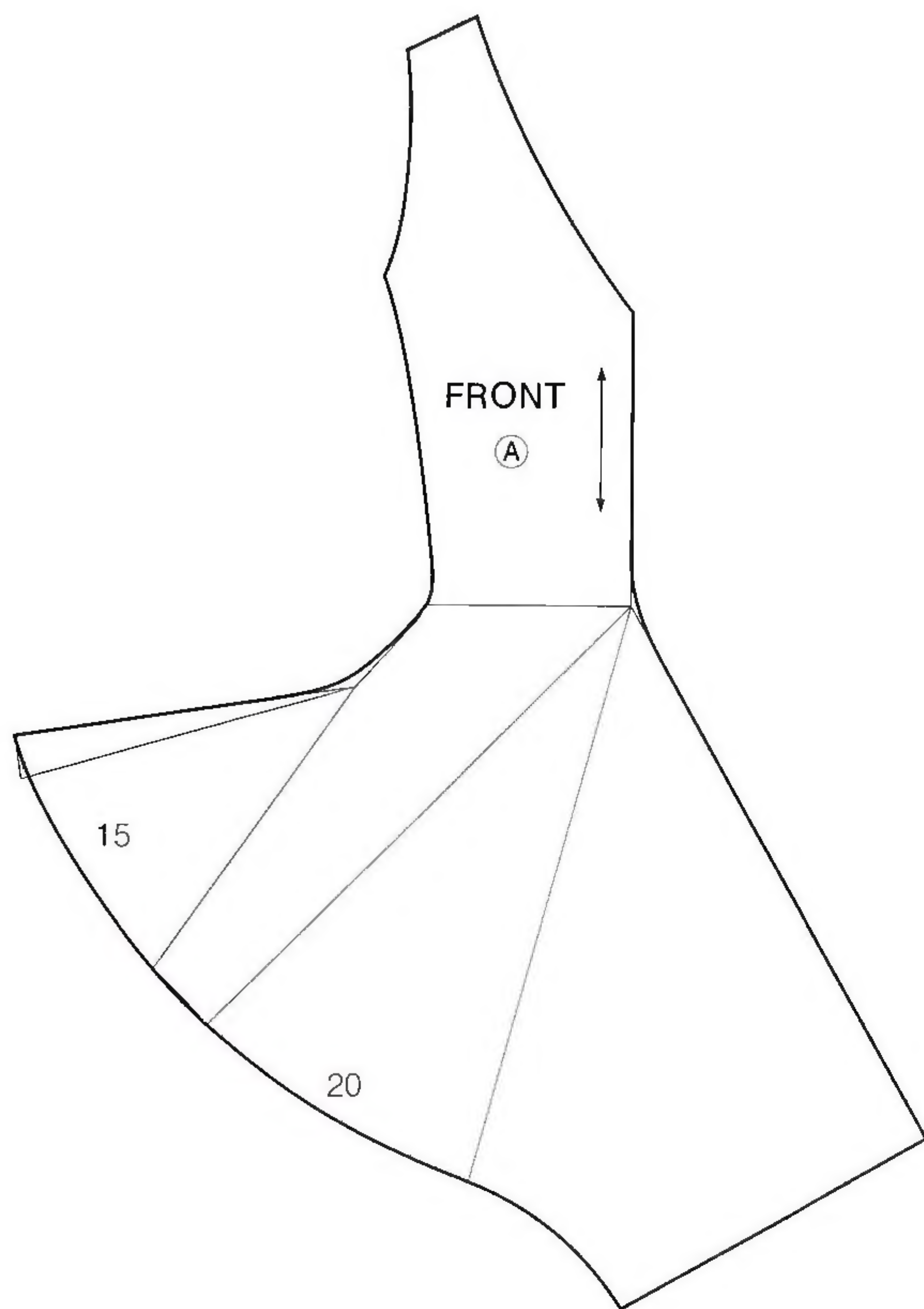
① 前スローパーのウエストから上をかく。前身頃の作図をする。パネルラインをかく。脇で広がったラインをさらに交差させて、ドレープのあるスカートの作図をする。



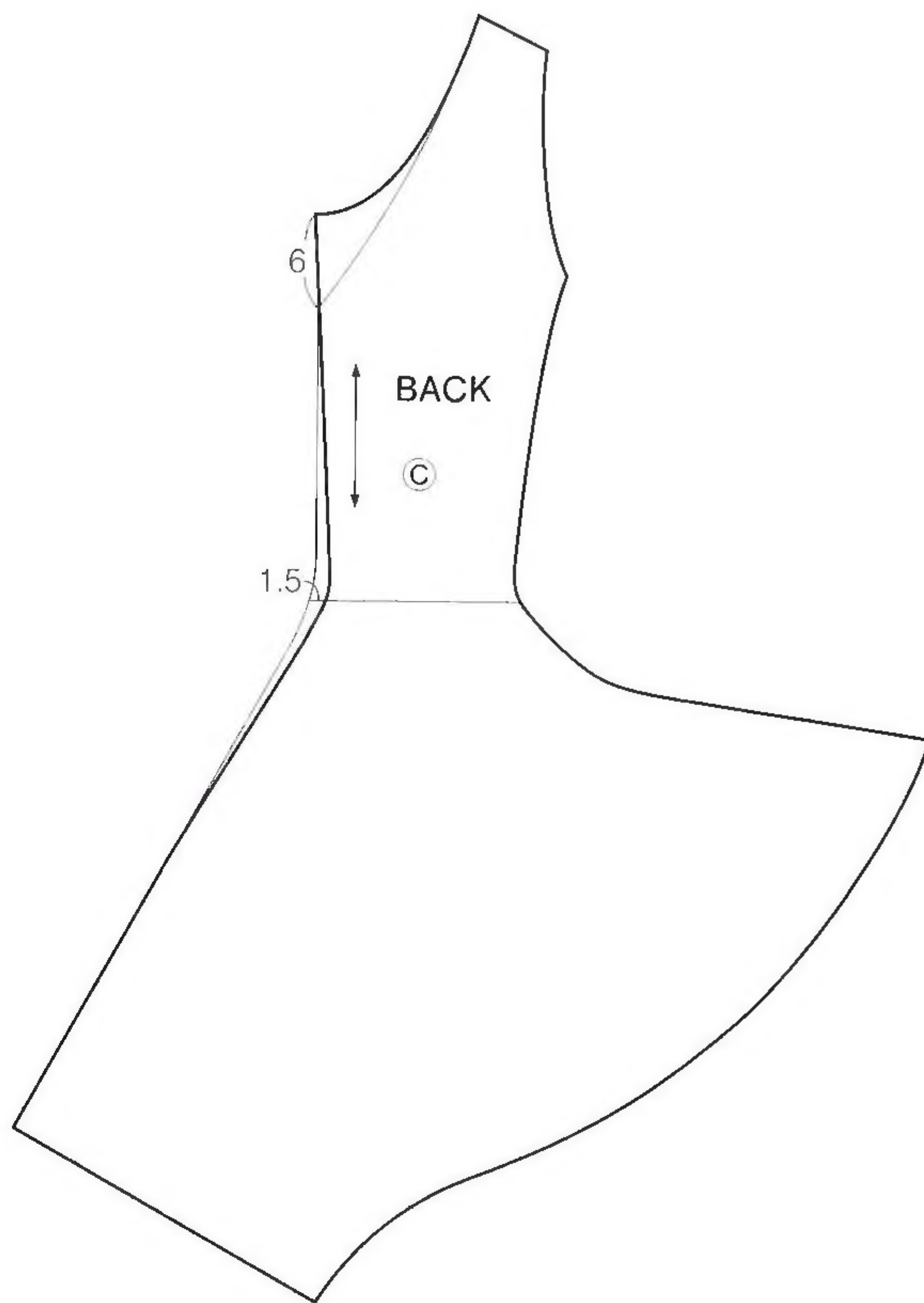
② 脇側は、裾でわ裁ちにし、前後つながったパターンにする。a～bは山折りにし、脇を立体的にする。



③ 前中心側の身頃に切開き線进行かく。



④ 前中心側の身頃の切開き線を切り開く。仕上り線をつなぎよくかく。



⑤ 前中心側の身頃を反転して、後ろ身頃を作図する。ウエストラインで1.5cm絞る。後ろ中心で衿ぐりを6cm上げる。仕上り線をつなぎよくかく。

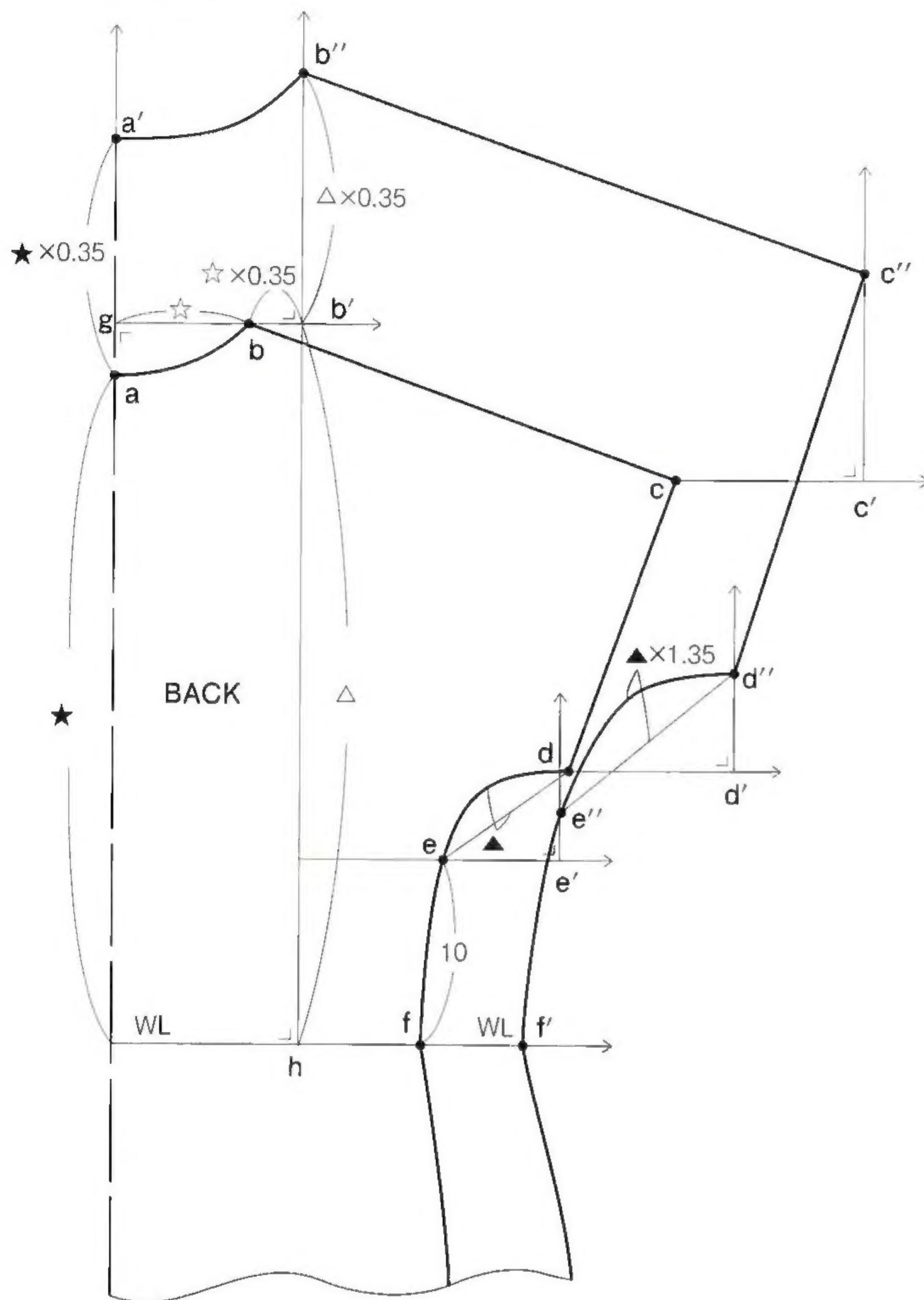


パターンの拡大、縮小のしかた

パターンの拡大、縮小はコピー機でできるが、計算してする方法もある。

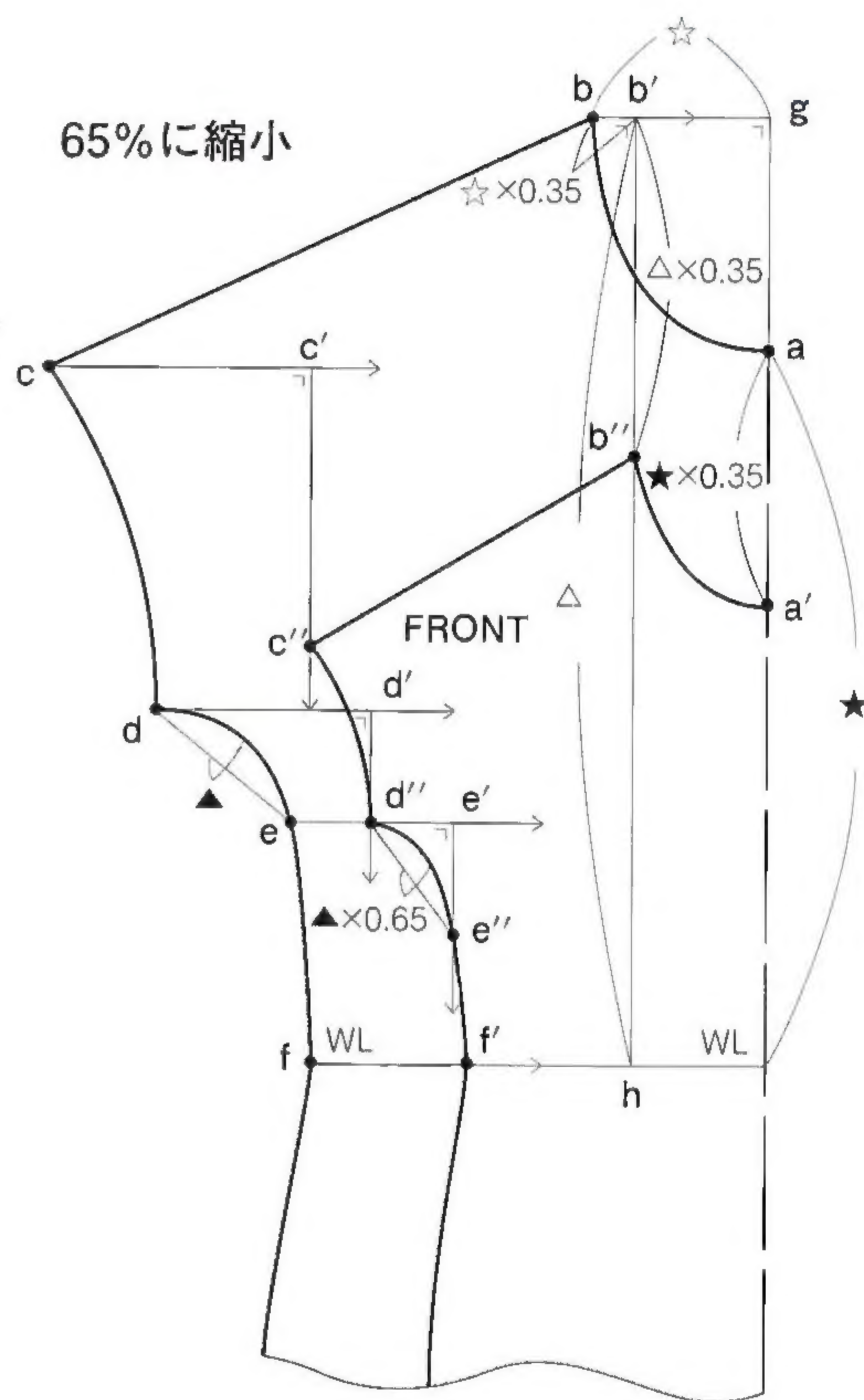
8ページの“似たものどうしA”のパターンを135%に拡大、65パーセントに縮小してみる。

135%に拡大



① 後ろ身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。後ろ中心を基準として、横を135%に拡大する。後ろ中心上にbから直角にgをかく。gからbを通り水平線をかく。g～bを☆寸法とする。bから(☆×0.35)寸法をとりb'とする。同様に後ろ中心からcまでの長さの35%をcから水平にとりc'とする。同様にd'、e'、f'をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準として縦を135%に拡大する。後ろ中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから(★×0.35)寸法をとりa'とする。ウエストライン上にb'から直角にhをとる。hからb'を通り垂直線をかく。b'～hを△寸法とする。b'から(△×0.35)寸法をとりb''とする。同様にc''、d''、e''をとる。ウエストから下は下に拡大する。袖ぐりのカーブのかき方は、d～eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d''～e''を結び(▲×1.35)寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐりもかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

65%に縮小



② 前身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。前中心を基準として、横を65%に縮小する。前中心上にbから直角にgをかく。b～gを結ぶ。b～gを☆寸法とする。bから(☆×0.35)寸法をとりb'とする。同様にc'、d'、e'、f'をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準にして縦を65%に縮小する。前中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから(★×0.35)寸法をとりa'とする。ウエストライン上にb'から直角にhをとる。b'～hを結ぶ。b'～hを△寸法とする。b'から(△×0.35)寸法をとりb''とする。同様にc''、d''、e''をとる。ウエストから下は下に縮小する。袖ぐりのカーブのかき方は、d～eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d''～e''を結び(▲×0.65)寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐり、袖口もかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

完成パターン

